

別冊

藤沢市市政運営の総合指針2020

—郷土愛あふれる藤沢をめざして—

事業集

<平成29年度～平成32年度>
(平成31年度版)

藤 沢 市

はじめに

- 1 藤沢市の現状と見通し
- 2 藤沢市の特性

これまでの市政運営等を踏まえた、本市の現状と見通し、特性を確認

第1章 基本方針

- 1 策定の背景と意義
- 2 構成と期間
- 3 長期的な視点
 - (1) めざす都市像
 - (2) 基本目標

長期的な課題、視点に基づき、歴史、価値等を踏まえた都市の姿、長期的政策目標を展望

第2章 重点方針

- 1 取組の考え方
- 2 まちづくりテーマ
- 3 重点施策
- 4 重点施策実現に向けた財政見通し
- 5 評価
- 6 重点施策の実現に向けた重点事業

長期的な視点を踏まえた重要性、緊急性の高い課題に対して、重点的に取り組む施策等を展開

別冊 事業集

- 1 重点事業
- 2 地域づくり

別冊 資料集

- 1 藤沢市を取り巻く社会情勢
- 2 基本方針・重点方針等に関する現状
- 3 個別計画一覧

目 次

1	重点施策の実現に向けた重点事業	1
2	施策・事業の体系	2
3	事業概要	6
(1)	体系別事業数	6
(2)	体系別事業費見通し	7
(3)	款別事業費見通し	8
(4)	性質別事業費見通し	9
4	重点事業等	10
	体系別事業一覧	11
(1)	まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」	15
(2)	まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する	27
(3)	まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	42
(4)	まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる	59
(5)	まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める	91
5	地域づくり	117
	○六会地区まちづくり事業	118
	○片瀬地区地域まちづくり事業	121
	○明治地区まちづくり事業	124
	○御所見地区地域まちづくり事業	126
	○遠藤まちづくり推進事業	128
	○長後地域活性化事業	130
	○辻堂地区地域まちづくり事業	132
	○善行地区まちづくり事業	134
	○湘南大庭地域まちづくり事業	135
	○湘南台地域まちづくり事業	137
	○鶴沼地区まちづくり事業	139
	○藤沢地区まちづくり事業	140
	○村岡いきいきまちづくり事業	142

1 重点施策の実現に向けた重点事業

重点施策の実現を図るための個別の取組を「重点事業」として、別冊に示します。

重点事業

重点事業は、まちづくりテーマと重点施策の実現を図ることを目的として、指針の期間において重点的に取り組む事業となります。経常的、継続的に実施する事業と異なり、事業費、人的コストの重点的な投入や事業の組織横断的な検討実施等により取り組みます。

2 施策・事業の体系

5つのまちづくりテーマごとにそれぞれの重点施策と重点事業を体系化しています。

まちづくりテーマ1 安全で安心な暮らしを築く

1 災害対策の充実

- 11 防災設備等整備事業費
- 21 危機管理対策事業費
- 31 建築物等防災対策事業費
- 51 橋りょう改修費
- 61 橋りょう架替事業費
- 71 一色川改修費

2 危機管理対策の推進

- 11 大規模震災等対策強化事業費

3 防犯・交通安全対策の充実

- 11 街頭防犯カメラ設置推進事業費
- 21 商店街経営基盤支援事業費（街路灯LED化・防犯カメラ）
- 31 自転車駐車場整備費

まちづくりテーマ2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する

1 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

- 11 オリンピック開催準備関係費
- 21 （公財）藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費
（オリンピック・パラリンピック関連事業費分）
- 31 ビーチバレー大会開催関係費
- 41 都市親善費

2 オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（レガシー）の創出

- 11 シティプロモーション関係費
- 21 誘客宣伝事業費
- 31 湘南藤沢フィルム・コミッション事業費
- 41 藤澤浮世絵館運営管理費
- 51 （公財）藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費
（文化プログラム等事業費分）
- 61 文化行事費

- 71 アートスペース運営管理費
- 81 江の島地区周辺整備事業費
- 91 観光施設整備費
- 92 公衆便所整備費（江の島周辺公衆便所整備）

まちづくりテーマ3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる

1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

- 11 児童支援体制充実事業費
- 21 校務支援システム構築事業費（小学校）
- 22 校務支援システム構築事業費（中学校）
- 23 校務支援システム構築事業費（特別支援学校）
- 31 教育情報機器関係費
- 41 教育情報化推進事業費

2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

- 11 法人立保育所等施設整備助成事業費
- 21 市立保育所整備費（辻堂保育園再整備事業）
- 31 法人立保育所運営費等助成事業費
- 41 放課後児童クラブ整備事業費
- 51 小児医療助成費

3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

- 11 子どもの生活支援事業費
- 21 子ども・若者育成支援事業費
- 31 就労支援事業費（ユースワークふじさわ）
- 41 奨学金給付事業費
- 51 子育て関係事務費（（仮称）子どもの貧困対策実施計画の策定）

まちづくりテーマ4 健康で豊かな長寿社会をつくる

1 多様な主体による支援の充実

- 11 藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費
- 21 生活困窮者自立支援事業費
- 31 地域生活支援事業費（相談支援事業）
- 41 介護人材育成支援事業費
- 51 成年後見制度等推進事業費（中核機関の設置）
- 61 包括的支援体制推進事業費（コミュニティソーシャルワーカーの配置の充実）

2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

- 11 健康づくり推進事業費
- 21 がん検診事業費
- 31 公園改修費

3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

- 11 市民活動支援施設運営管理費
- 21 公益的市民活動助成事業費
- 31 市民協働推進関係費
- 41 地域の縁側等地域づくり活動支援事業費
- 51 六会地区まちづくり事業費
- 61 片瀬地区地域まちづくり事業費
- 71 明治地区まちづくり事業費
- 81 御所見地区地域まちづくり事業費
- 91 遠藤まちづくり推進事業費
- 101 長後地域活性化事業費
- 111 辻堂地区地域まちづくり事業費
- 121 善行地区まちづくり事業費
- 131 湘南大庭地域まちづくり事業費
- 141 湘南台地域まちづくり事業費
- 151 鵠沼地区まちづくり事業費
- 161 藤沢地区まちづくり事業費
- 171 村岡いきいきまちづくり事業費

まちづくりテーマ5 都市の機能と活力を高める

1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

- 11 庁舎等整備費
- 31 善行市民センター改築事業費
- 41 辻堂市民センター改築事業費
- 51 一般廃棄物中間処理施設整備事業費
- 61 鵠南小学校改築事業費
- 71 六会中学校屋内運動場改築事業費
- 81 公共施設再整備関係費
- 111 藤沢駅周辺地区再整備事業費
- 121 健康と文化の森整備事業費
- 131 長後地区整備事業費
- 141 市道新設改良費（藤沢 652 号線）
- 151 市道新設改良費（バリアフリー事業）
- 161 村岡公民館改築事業費

- 171 市民会館整備費

2 誰もが移動しやすい交通体系の構築

- 11 総合交通体系推進業務費

3 自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進

- 11 健康の森保全再生整備事業費
- 21 自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略推進事業）
- 31 地球温暖化対策関係事業費

4 市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備

- 11 住宅政策推進費
- 21 空き家対策関係費
- 31 新産業創出事業費
- 41 ロボット産業推進事業費
- 51 地域密着型商業まちづくり推進事業費
- 61 担い手育成支援事業費
- 71 藤沢ものづくりブランド応援事業費

3 事業概要

まちづくりテーマ等の別で集計した事業数、事業費見通しは次のとおりです。

(1) 体系別事業数

まちづくりテーマごとの重点事業数については次のとおりです。

表1 重点事業数一覧

まちづくりテーマ	重点事業数
1 安全で安心な暮らしを築く	10
2 「2020年」に向けてまちの魅力を創出する	14
3 笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる	16
4 健康で豊かな長寿社会をつくる	26
5 都市の機能と活力を高める	25
合計	91

※ 重点事業には予算を伴わないものも含まれています。

※ 現在、一般会計事業のみを重点事業としていますが、重点施策、重点事業の強化を図るため、特別会計事業についても、今後の行財政改革の取組効果等を踏まえながら、毎年度の見直しの中で調整していきます。

(2) 体系別事業費見通し

まちづくりテーマ別の年度ごとの事業費見通しは、次のとおりです。

表 1 体系別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	1,095,602	959,697	1,152,682	1,665,236	4,873,217
2 「2020年」に向けてまち の魅力を創出する	347,243	496,986	664,471	1,648,435	3,157,135
3 笑顔と元気あふれる子どもた ちを育てる	2,149,726	2,350,993	3,892,919	3,181,917	11,575,555
4 健康で豊かな長寿社会をつく る	600,235	657,920	818,003	802,684	2,878,842
5 都市の機能と活力を高める	19,042,579	5,754,683	8,311,048	7,668,444	40,776,754
合 計	23,235,385	10,220,279	14,839,123	14,966,716	63,261,503

表 2 体系別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

まちづくりテーマ	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	期間合計
1 安全で安心な暮らしを築く	434,319	342,348	320,985	644,487	1,742,139
2 「2020年」に向けてまち の魅力を創出する	322,903	370,599	422,724	1,256,509	2,372,735
3 笑顔と元気あふれる子どもた ちを育てる	1,787,325	1,819,256	2,925,333	2,811,303	9,343,217
4 健康で豊かな長寿社会をつく る	423,952	481,035	453,510	468,406	1,826,903
5 都市の機能と活力を高める	1,417,414	744,135	1,016,596	1,687,816	4,865,961
合 計	4,385,913	3,757,373	5,139,148	6,868,521	20,150,955

(3) 款別事業費見通し

事務事業（予算事業）の区分である款をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

表 3 款別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	期間合計
総務費	15,766,181	1,107,757	5,307,554	2,729,776	24,911,268
環境保全費	26,717	19,733	13,087	16,713	76,250
民生費	2,261,501	2,455,847	3,452,915	2,742,385	10,912,648
衛生費	125,020	358,033	1,135,700	927,447	2,546,200
労働費	1,849,931	2,572,032	17,041	17,041	4,456,045
農林水産業費	24,240	22,190	25,161	25,161	96,752
商工費	178,317	192,819	340,419	198,582	910,137
土木費	2,571,937	2,624,324	2,753,443	5,333,090	13,282,794
消防費	14,637	25,318	11,406	17,851	69,212
教育費	416,904	842,226	1,782,397	2,958,670	6,000,197
計	23,235,385	10,220,279	14,839,123	14,966,716	63,261,503

表 4 款別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	期間合計
総務費	1,025,685	204,200	654,457	310,631	2,194,973
環境保全費	16,286	11,269	9,594	12,713	49,862
民生費	1,794,402	1,810,709	2,366,213	2,248,152	8,219,476
衛生費	109,873	98,586	112,401	259,588	580,448
労働費	23,197	66,302	17,041	17,041	123,581
農林水産業費	1,340	1,090	1,001	1,001	4,432
商工費	171,728	153,995	166,794	173,527	666,044
土木費	858,775	980,373	773,169	2,208,115	4,820,432
消防費	1,020	7,827	8,406	14,751	32,004
教育費	383,607	423,022	1,030,072	1,623,002	3,459,703
計	4,385,913	3,757,373	5,139,148	6,868,521	20,150,955

(4) 性質別事業費見通し

事業の性質をもとに区分した年度ごとの事業費は、次のとおりです。

消費的経費とは、支出効果はその年度限り又は極めて短期間に終わるもので、後年度に形を残さない性質の経費です。人件費、福祉の給付金、道路や施設の維持補修費などが該当します。

投資的経費とは、支出の効果が、施設等として長期間にわたる性質の経費で、普通建設事業費などが該当します。

表 5 性質別事業費見通し（事業費ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	期間合計
消費的経費	5,189,450	6,128,626	5,055,181	5,061,458	21,434,715
投資的経費	18,045,935	4,091,653	9,783,942	9,905,258	41,826,788
合計	23,235,385	10,220,279	14,839,123	14,966,716	63,261,503

表 6 性質別事業費見通し（一般財源ベース）

（単位：千円）

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	期間合計
消費的経費	2,680,517	2,798,910	3,899,244	4,338,536	13,717,207
投資的経費	1,705,396	958,463	1,239,904	2,529,985	6,433,748
合計	4,385,913	3,757,373	5,139,148	6,868,521	20,150,955

4 重点事業等

重点事業について、予算事業名（事務事業名）ごとに示します。
事業の説明は平成31年度の予算事業に関する内容を記載しています。

- ※ 事業費については、平成29、30、31年度は予算額、平成32年度は事業見積額です。
- ※ 「[事業費（事務事業中の重点事業分)]」中、金額が0となっているものは事業経費のないことを、空欄となっているものは今後事業費を積算することを表しています。
- ※ 地域づくりに関する事業は、重点事業等と地域づくりの項目に記載しています。

藤沢市市政運営の総合指針 2020 体系別事業一覧

体系コード 事務事業名 課名 頁

まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」

1 災害対策の充実

11	防災設備等整備事業費	防災政策課	15
21	危機管理対策事業費	危機管理課	16
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	17
51	橋りょう改修費	道路維持課	19
61	橋りょう架替事業費	道路維持課	20
71	一色川改修費	河川水路課	21

2 危機管理対策の推進

11	大規模震災等対策強化事業費	警防課	22
----	---------------	-----	----

3 防犯・交通安全対策の充実

11	街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	23
21	商店街経営基盤支援事業費（街路灯LED化・防犯カメラ）	産業労働課	25
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	26

まちづくりテーマ2 「『2020年』に向けてまちの魅力を創出する」

1 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

11	オリンピック開催準備関係費	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室	27
21	（公財）藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費（オリンピック・パラリンピック関連事業費分）	スポーツ推進課	28
31	ビーチバレー大会開催関係費	スポーツ推進課	29
41	都市親善費	人権男女共同平和課	30

2 オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（レガシー）の創出

11	シティプロモーション関係費	観光シティプロモーション課	31
21	誘客宣伝事業費	観光シティプロモーション課	32
31	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費	観光シティプロモーション課	34
41	藤澤浮世絵館運営管理費	郷土歴史課	35
51	（公財）藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費（文化プログラム等事業費分）	文化芸術課	36
61	文化行事費	文化芸術課	37
71	アーツスペース運営管理費	文化芸術課	38
81	江の島地区周辺整備事業費	江の島地区周辺整備担当	39
91	観光施設整備費	観光シティプロモーション課	40
92	公衆便所整備費（江の島周辺公衆便所整備）	環境総務課	41

まちづくりテーマ3 「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

11	児童支援体制充実事業費	学務保健課	42
21	校務支援システム構築事業費（小学校）	教育総務課	43
22	校務支援システム構築事業費（中学校）	教育総務課	43
23	校務支援システム構築事業費（特別支援学校）	教育総務課	43
31	教育情報機器関係費	教育総務課	44
41	教育情報化推進事業費	教育総務課	45

2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

11	法人立保育所等施設整備助成事業費	子育て企画課	46
21	市立保育所整備費（辻堂保育園再整備事業）	子育て企画課／保育課	47
31	法人立保育所運営費等助成事業費	保育課	48
41	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	50
51	小児医療助成費	子育て給付課	51

3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

11	子どもの生活支援事業費	子ども家庭課	53
21	子ども・若者育成支援事業費	青少年課	54
31	就労支援事業費(ユースワークふじさわ)	産業労働課	55
41	奨学金給付事業費	教育総務課	56
51	子育て関係事務費（（仮称）子どもの貧困対策実施計画の策定）	子育て企画課	57

まちづくりテーマ4 「健康で豊かな長寿社会をつくる」

1 多様な主体による支援の充実

11	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費	地域包括ケアシステム推進室	59
21	生活困窮者自立支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	60
31	地域生活支援事業費（相談支援事業）	障がい福祉課	62
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	64
51	成年後見制度等推進事業費（中核機関の設置）	地域包括ケアシステム推進室	66
61	包括的支援体制推進事業費 （コミュニティソーシャルワーカーの配置の充実）	地域包括ケアシステム推進室	68

2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

11	健康づくり推進事業費	健康増進課	70
21	がん検診事業費	健康増進課	71
31	公園改修費	公園課	72

3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

11	市民活動支援施設運営管理費	市民自治推進課	73
21	公益的市民活動助成事業費	市民自治推進課	74
31	市民協働推進関係費	市民自治推進課	75
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	76
51	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	77
61	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	78
71	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	79
81	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	80
91	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	81
101	長後地域活性化事業費	長後市民センター	82
111	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	83
121	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	84
131	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	85
141	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	86
151	鵠沼地区まちづくり事業費	鵠沼市民センター	87
161	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	88
171	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	89

まちづくりテーマ5 「都市の機能と活力を高める」

1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

11	庁舎等整備費	管財課	91
31	善行市民センター改築事業費	市民自治推進課／善行市民センター	92
41	辻堂市民センター改築事業費	市民自治推進課	93
51	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	94
61	鵠南小学校改築事業費	学校施設課	95
71	六会中学校屋内運動場改築事業費	学校施設課	96
81	公共施設再整備関係費	企画政策課	97
111	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	98
121	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	99
131	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	100
141	市道新設改良費（藤沢652号線）	道路整備課	101
151	市道新設改良費（バリアフリー事業）	道路整備課	101

体系コード	事務事業名	課名	頁
161	村岡公民館改築事業費	村岡公民館	102
171	市民会館整備費	文化芸術課	103
2 誰もが移動しやすい交通体系の構築			
11	総合交通体系推進業務費	都市計画課	104
3 自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
11	健康の森保全再生整備事業費	西北部総合整備事務所	106
21	自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略推進事業）	みどり保全課	107
31	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	108
4 市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
11	住宅政策推進費	住宅政策課	109
21	空き家対策関係費	住宅政策課	110
31	新産業創出事業費	産業労働課	111
41	ロボット産業推進事業費	産業労働課	112
51	地域密着型商業まちづくり推進事業費	産業労働課	114
61	担い手育成支援事業費	農業水産課	115
71	藤沢ものづくりブランド応援事業費	産業労働課	116

総務費

事業名	防災設備等整備事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05			防災政策課		
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
区分	事業費	重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	268,342	35,623	21,716	72,300	6,524	132,179
平成30年度	228,782	38,360	19,616	59,100	3,000	108,706
対前年度	39,560	△ 2,737	2,100	13,200	3,524	23,473
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				35,623
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				21,716
	(地方債)	防災施設整備事業債				72,300
	(その他)	防災ラジオ売払収入				2,000
	(その他)	災害対応型自動販売機設置協力金				4,524

【事業概要】

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材、防災ラジオ、津波避難施設、ふじさわ防災ナビ等の整備や充実・強化を推進する。

1. 防災備蓄資機材等の整備・充実 175,735 千円
 - ・おかゆ、長期保存食（ビスケット）、粉ミルク、簡易トイレ処理袋、毛布等の購入費 59,991 千円
 - ・防災拠点管理業務委託料 1,760 千円
 - ・花ノ木公園耐震性飲料用貯水槽設置工事費等 113,984 千円

2. 防災ラジオの市民頒布 7,992 千円

災害時等に緊急割込放送を自動受信できる防災ラジオ1,000台の購入及び頒布

3. 津波避難対策の充実・強化 23,965 千円
 - ・津波避難ビル設置用簡易トイレ処理袋等の購入費 2,470 千円
 - ・津波避難施設整備事業費補助金 10,000 千円
 - ・下藤が谷ポンプ場の敷地を活用した津波避難施設実施設計業務委託料 11,495 千円

4. ふじさわ防災ナビの普及・充実 2,823 千円
 - ・市民配布用の冊子「みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編」の増刷 940 千円
 - ・スマートフォンアプリ「ふじさわ街歩きナビ」の保守管理業務委託料 1,883 千円

5. 防災対策の充実・強化 57,827 千円
 - ・危険ブロック塀等安全対策工事費補助金 6,600 千円
 - ・洪水ハザードマップの改訂に向けた河川測量及び流出解析業務委託料 51,227 千円

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
260,665	228,782	268,342	277,913	1,035,702	

総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 07	危機管理課				
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	7,674		1,558			6,116
平成30年度	6,564		2,187			4,377
対前年度	1,110		△ 629			1,739
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				1,558

【事業概要】

本市に想定されている災害に対し被害を最小限に留め、安全で安心なまちづくりを推進するため、指定緊急避難場所等への表示看板の設置や海拔表示公共小型看板の更新等の各種対策を実施する。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地として、危機対応能力の向上や関係機関との連携強化を図るため、オリンピック開催に向けた危機管理対策訓練を実施する。

- (新) 1. 指定緊急避難場所等表示看板の設置 3,644 千円
 災害時の迅速かつ円滑な避難対策の推進にあたり、市内の公共施設等を災害種別ごとの指定緊急避難場所及び指定避難所に順次指定することに伴い、指定緊急避難場所等について、災害発生時のみならず、日常的に周知・啓発を行うため、指定する施設の入口等に避難場所等であることを示す蓄光型の表示看板の設置を行う。
 ・平成31年度設置予定数 36カ所
2. 海拔表示公共小型看板の更新 1,034 千円
 津波避難対策の一環として、平成23年度に東京電力パワーグリッド(株)所有の電柱に設置した、海拔及び津波注意喚起を表示した公共小型看板(市内1,000カ所)について、経年劣化に伴い、平成29年度から計画的に更新を行っており、平成31年度も順次更新を行う。
 ・平成31年度更新予定数 200カ所
- (新) 3. オリンピック開催に向けた危機管理対策訓練の実施 2,996 千円
 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催地として、災害、テロ等への備えを充実させ、危機事案への対応能力の向上と関係機関の連携強化を目的とした危機管理対策訓練を実施する。



指定緊急避難場所等表示看板(イメージ)



海拔表示公共小型看板(イメージ)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
4,556	6,564	7,674	4,678	23,472	

土木費

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03	建築指導課				
指針体系コード	1-1-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	50,045	17,530	11,449			21,066
平成30年度	63,041	19,250	14,054			29,737
対前年度	△ 12,996	△ 1,720	△ 2,605			△ 8,671
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				17,530
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				8,249
	(県支出金)	沿道建築物耐震化支援事業費補助金				3,200

<拡充事業> 耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修工事等補助制度の創設

【施策等を必要とする背景】

建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正及び藤沢市耐震改修促進計画の改定に伴い、緊急輸送道路沿道建築物の所有者に耐震診断を義務付け、その結果に応じて耐震改修を行うよう努めるものとした。本市の緊急輸送道路沿道建築物補助制度の対象が耐震診断のみであることから、耐震改修工事等補助制度を創設し、緊急輸送道路等避難路の閉塞対策をより一層進める。

【提案に至るまでの経緯】

建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正に伴い、平成28年に藤沢市耐震改修促進計画を改定し、耐震診断を義務付ける道路を位置付け、倒壊した場合に当該道路を閉塞するおそれのある旧耐震建築物の所有者を対象に、耐震診断に要する費用の一部を補助している。

平成25年1月 改正建築物の耐震改修の促進に関する法律施行

平成28年 4月 藤沢市耐震改修促進計画改定

平成28年 7月 藤沢市耐震診断義務対象沿道建築物耐震診断補助制度創設

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市耐震改修促進計画】

- ・藤沢市耐震改修促進計画において建築物の耐震化を促進するための施策に位置付け
地域の防災上の観点から重要な路線については、重点的に耐震化を促進する

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、地震によって倒壊し、道路を閉塞するおそれがある緊急輸送道路沿道建築物の耐震化が図られ、防災上の観点から重要な路線を確保することができる。

2. 将来にわたる費用

補助制度の概要は次のとおり

- ・耐震改修設計（補助率2/3、補助上限 1,400,000円（木造100,000円））
- ・耐震改修工事（補助率2/3、補助上限 20,000,000円（木造1,350,000円）かつ次の区分に応じて算出した額の2/3）
 - 住宅 33,500円×床面積
 - マンション 49,300円×床面積
 - 非住宅建築物 50,300円×床面積
- ・除却（補助率2/3、補助上限 10,000,000円かつ次の区分に応じて算出した額の2/3）
 - 木造建築物 9,000円×床面積
 - 非木造建築物 25,000円×床面積

平成31年度は補助制度の創設及び周知を行い、補助制度を利用する旨の登録をした緊急輸送道路沿道建築物について、翌年度以降に予算措置を図るものとする。

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成32年度 21,400千円

平成33年度以降 42,800千円/年

【事業概要】

災害対策を充実するため、建築物の耐震性能の把握と向上を図るとともに、藤沢市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、住宅耐震化に向け個別通知等による普及啓発に取り組む。

昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組構法2階建て木造住宅（以下「対象住宅」という。）の所有者及び非木造の分譲マンションの管理組合、耐震診断が義務化された緊急輸送道路沿道建築物所有者を対象に、既存建築物の耐震化促進事業を行う。

- | | |
|--|-----------|
| 1. 木造住宅耐震診断補助 | 3,000 千円 |
| 対象住宅の所有者を対象に、耐震診断に要する費用の1/2を補助する。 | |
| ・一般診断（補助上限 60,000円） | 50 件 |
| 2. 木造住宅耐震改修工事補助 | 28,500 千円 |
| 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅の耐震改修工事を行う所有者を対象に、耐震改修工事に要する費用の1/2を補助する。さらに、木造住宅耐震診断補助を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、診断における自己負担分の追加補助を行う。 | |
| ・耐震改修工事（補助上限 900,000円） | 30 件 |
| ・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円） | 25 件 |
| 3. 木造住宅耐震シェルター・ベッド設置補助 | 200 千円 |
| 耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅に耐震シェルター・ベッドの設置を行う所有者を対象に、設置に要する費用の1/2を補助する。 | |
| ・耐震シェルター・ベッド設置（補助上限 200,000円） | 1 件 |
| 4. 分譲マンション耐震診断補助 | 1,800 千円 |
| 昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1/2を補助する。 | |
| ・予備診断（補助上限 150,000円） | 2 件 |
| ・本診断（補助上限 1,500,000円） | 1 件 |
| 5. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震診断補助 | 16,000 千円 |
| 耐震改修促進計画に基づき、耐震診断が義務付けられた緊急輸送道路沿道の旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）所有者を対象に、診断に要する費用の一部を補助する。 | |
| ・本診断（補助率 5/6） | 6 件 |
| 6. 耐震アドバイザー講師謝礼 | 200 千円 |
| 分譲マンションの耐震化促進に向けた合意形成を図るため、管理組合等に対し専門家の立場からサポートするアドバイザー（建築士等）を派遣する。 | |
| ・講師謝礼（20,000円/回） | 10 回 |
| 7. 建築物等防災対策事務経費 | 345 千円 |

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
45,004	63,041	50,045	120,765	278,855	

土木費

事業名	橋りょう改修費					
予算科目	款 9 項 2 目 5 細目 01 説明 02			道路維持課		
指針体系コード	1-1-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	470,305	140,800		241,900		87,605
平成30年度	341,575	109,549		118,200		113,826
対前年度	128,730	31,251		123,700		△ 26,221
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				140,800
	(地方債)	橋りょう整備事業債				241,900

【事業概要】

大地震発生時の避難路確保を図るため、境川に架かる新屋敷橋の耐震化工事及び弁天橋の耐震化設計委託を実施する。また、橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、定期点検等の委託及び支承交換等維持補修工事を実施する。

1. 委託料 74,085 千円
 弁天橋耐震化設計委託
 長寿命化修繕計画に基づく橋りょう定期点検委託等
2. 工事請負費 396,220 千円
 新屋敷橋耐震化工事
 橋りょう長寿命化修繕計画に基づく高欄・支承交換及び塗装塗替等維持補修工事
 (弁天橋、湘南台歩道橋、城下橋、川名橋、大庭大橋、竜昇橋、鐘淵橋等)

新屋敷橋（境川）【耐震化工事】



城下橋（引地川）【支承交換工事】



川名橋（柏尾川）【伸縮装置交換等工事】



弁天橋（境川）【高欄・橋面改修工事等】



(この事業は平成30年度12月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
346,364	341,575	470,305	474,395	1,632,639	

土木費

事業名	橋りょう架替事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 6 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	175,757		156,070		1,639	18,048
平成30年度	171,277		156,895		0	14,382
対前年度	4,480		△ 825		1,639	3,666
特定財源の内訳	(県支出金)	蓼川橋りょう架替事業費負担金				156,070
	(その他)	境橋撤去事業負担金				1,639

【事業概要】

水害対策を図るために神奈川県が実施する河川改修事業にあわせて、蓼川の蓼中橋、蓼中人道橋の架替事業及び境橋の撤去を行う。

1. 蓼中橋架替事業 170,654 千円
 平成31年度は左岸側の橋台と護岸の築造及び上部工製作工事等を実施する。

<継続費> 蓼中橋架替工事（左岸下部工） (単位：千円)

年割額	平成30年度	平成31年度	合計
	62,285	45,150	107,435

<継続費> 蓼中橋架替工事（左岸護岸工） (単位：千円)

年割額	平成31年度	平成32年度	合計
	92,026	62,734	154,760

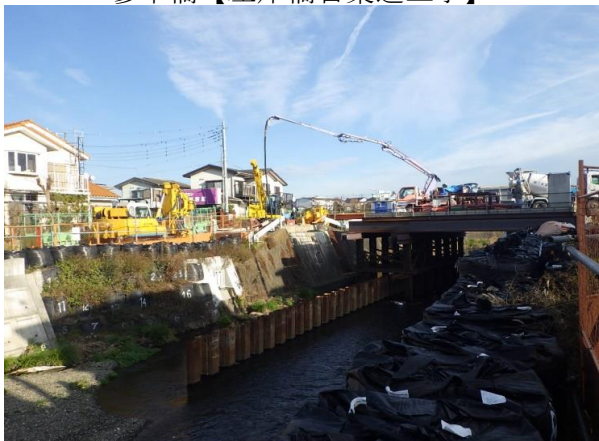
<継続費> 蓼中橋架替工事（鋼上部製作架設工） (単位：千円)

年割額	平成31年度	平成32年度	合計
	33,478	43,159	76,637

2. 境橋撤去事業 3,278 千円
 県の河川改修工事に先だち、新境橋上流に位置する境橋上部工の撤去を実施する。

3. 橋りょう架替事務経費 1,825 千円

蓼中橋【左岸橋台築造工事】



境橋【撤去工事】



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
200,858	171,277	175,757	180,173	728,065	

土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			河川水路課		
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	131,851	10,000		98,000		23,851
平成30年度	44,481	8,000		15,900		20,581
対前年度	87,370	2,000		82,100		3,270
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				10,000
	(地方債)	河川改修事業債				98,000

【事業概要】

一色川流域の浸水被害を軽減し、流域住民の安全・安心を確保するため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、河川改修事業を行う。

護岸工事に先立ち、引地川合流点にある稲荷山橋の架替工事に着手し、引き続き、改修事業に必要な事業用地の取得及び補償等を実施する。

- 1. 委託料 10,585 千円
 - 一色川左岸土質調査委託
 - 一色川護岸健全化対策予備設計委託 L = 120m
 - 一色川改修工事に伴う建物等調査再算定委託

- 2. 工事請負費 79,000 千円

稲荷山橋架替工事（左岸下部工・護岸工）

<継続費> 稲荷山橋架替工事（左岸下部工・護岸工） （単位：千円）

年割額	平成31年度	平成32年度	合計
	79,000	12,000	91,000

- 3. 公有財産購入費及び補償金 40,000 千円

事業用地取得費
事業用地取得に伴う補償

- 4. 一色川改修事務経費 2,266 千円

【案内図】



(この事業は平成30年度9月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
100,924	44,481	131,851	78,668	355,924	

消防費

事業名	大規模震災等対策強化事業費					
予算科目	款 10 項 1 目 3 細目 01 説明 06				警防課	
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	危機管理対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	11,406	0	0	3,000		8,406
平成30年度	25,318	2,693	4,498	10,300		7,827
対前年度	△ 13,912	△ 2,693	△ 4,498	△ 7,300		579
特定財源の内訳	(地方債)	消防施設整備事業債				3,000

【事業概要】

近年中に発生が懸念されている大規模地震や台風及び集中豪雨等による風水害、また大規模イベントにおけるテロ等の特殊災害への対策を強化するため、災害対応資機材の整備等を行う。

1. 災害対応資機材の整備 2,481 千円
 大規模地震における建物倒壊や土砂災害現場での崩壊危険物の安定化を図り、活動隊員の安全を確保するため、資機材を整備する。
 ・レスキューサポート 1セット
2. 災害対応資機材の更新等 8,925 千円
 ・浸水害対応救助ボート（FRP製ボート） 5艇 3,438 千円
 ・特殊災害対応資機材の更新（化学防護服、検知資機材等） 4,161 千円
 ・特殊災害対応資機材の点検 1,326 千円



【レスキューサポート】



【FRP製ボート】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
14,637	25,318	11,406	17,851	69,212	

環境保全費

事業名	街頭防犯カメラ設置推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 05	防犯交通安全課				
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	9,380		788			8,592
平成30年度	9,516		1,747			7,769
対前年度	△ 136		△ 959			823
特定財源の内訳	(県支出金)	地域防犯力強化支援事業補助金				788

< 拡充事業 > 自治会・町内会が設置した防犯カメラへの修繕費補助

【施策等を必要とする背景】

平成16年度から自治会・町内会による防犯カメラ設置費の補助を行い、防犯カメラの設置を推進しているが、設置後の修繕等に係る費用は自治会・町内会の負担となっていることから、設置が困難な自治会・町内会があること、また、既に設置した自治会・町内会からも設置後の修繕費等維持管理費の補助についての要望が寄せられていることから、防犯カメラの設置推進にあたり補助対象を拡大する。

【提案に至るまでの経緯】

自治会・町内会の費用負担を減らし、多くの自治会・町内会が設置しやすい環境を整える必要があるため、設置費に加えて修繕費補助を行う。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

平成28年度に実施した「カイゼンふじさわ」での意見及び自治会・町内会からの要望。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市市政運営の総合指針2020の重点事業として位置付けられている「安全で安心な暮らしを築く」の更なる推進。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

より多くの自治会・町内会が防犯カメラを設置することが期待されることから、更なる犯罪抑止効果及び市民の体感治安の向上が図られる。

2. 将来にわたる費用

自治会・町内会の費用負担の軽減が図られることから、平成32年度以降は修繕実績をもとに調整し、今後も継続して補助を実施する。

【事業概要】

市が設置する街頭防犯カメラの設置費、自治会・町内会が設置する防犯カメラの設置費の補助を行っており、平成31年度から新たに自治会・町内会が設置した防犯カメラの修繕にかかる費用を補助する。

1. 街頭防犯カメラ設置等 1,111 千円
 辻堂駅南口 1 台
 ・ 防犯カメラ設置費 990 千円
 ・ 防犯カメラ維持管理費 121 千円



辻堂駅南口 設置箇所イメージ

2. 自治会・町内会による防犯カメラ設置費補助 7,269 千円
 自治会・町内会が設置する防犯カメラ 23 台について設置費の一部を補助する。
 ・ 補助率：設置費の 4 分の 3、又は 1 台当たり 375 千円の低い額を補助

(単位：千円)

自治会・町内会名	地区	区分	台数	補助金額
今田北自治会	湘南台	新規	2	750
クリオレジダンス湘南辻堂自治会	明治	新規	1	243
亀井野住宅自治会	善行	更新	2	484
ニコニコ自治会	鵠沼	更新	2	453
鵠沼藤が谷会	鵠沼	新規	2	412
鵠南みどり会	鵠沼	新規	1	375
川名自治会	村岡	新規	2	750
片瀬山1丁目自治会	片瀬	更新	1	375
片瀬山2丁目自治会	片瀬	更新	1	375
片瀬山3丁目自治会	片瀬	更新	5	1,698
片瀬山4丁目自治会	片瀬	更新	3	979
片瀬山5丁目自治会	片瀬	更新	1	375
合計			23	7,269

- (括) 3. 自治会・町内会が設置した防犯カメラへの修繕費補助 1,000 千円
 ・ 補助対象：防犯カメラ本体及び周辺機器
 ・ 補助率：修繕費用の 4 分の 3
 ・ 補助限度額：200 千円
 ・ 申請：1 団体につき年 2 回とする。ただし 1 回目の申請で補助限度額となった場合は年 1 回とする。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
17,366	9,516	9,380	12,713	48,975	

商工費

事業名	商店街経営基盤支援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 02			産業労働課		
指針体系コード	1-3-21		まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く		
区分	事業費		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実		
	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	39,503					39,503
平成30年度	34,154					34,154
対前年度	5,349					5,349

【事業概要】

地域コミュニティの核として市民生活を支える商店街を維持するため、商店街団体の共同施設の運営や維持管理、新設及び修繕など基盤整備事業等に対する助成を行い、商店街経営基盤の安定を図る。

1. 商店街駐車場運営事業補助金 11,118 千円
 消費者の利便性の向上と快適な買物空間の創出及び違法駐車減少のため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置した顧客用駐車場の運営費の一部を助成する。
 - ・提携駐車場に対する助成 10,623 千円
 14カ所 遊行通り4丁目商店街振興組合 他12商店街
 - ・借上駐車場に対する助成 495 千円
 1カ所 片瀬竜の口商店街振興組合

2. 商店街街路灯電灯料補助金 12,110 千円
 商店街の活性化及び安全・安心なまちづくりを推進するため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置及び管理する街路灯の電灯料に対し、補助対象電灯料を全額助成する。
 - ・街路灯 2,708灯 本町白旗商店街振興組合 他33商店街

- (拡) 3. 商店街共同施設設置事業補助金 14,612 千円
 商店街の環境を改善し、活性化を図るため、共同施設の設置または改修、修繕を実施する商店街団体に対し、その設置費用または改修、修繕費用の一部を助成する。
 また新たに、これまで対象外であった防犯カメラの修繕についても、その修繕費用の一部を助成する。
- ・街路灯設置等 弥勒寺商店会 他1商店街 13,612 千円
 - ・防犯カメラ修繕 1,000 千円

4. ショッピングモール事業補助金 1,663 千円
 安全・快適な買い物空間の創出のため、壁面線後退に伴う歩道の整備に対し、その費用を全額助成する。
 - ・長後商店街協同組合

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
13,294	10,647	1,000		24,941	

土木費

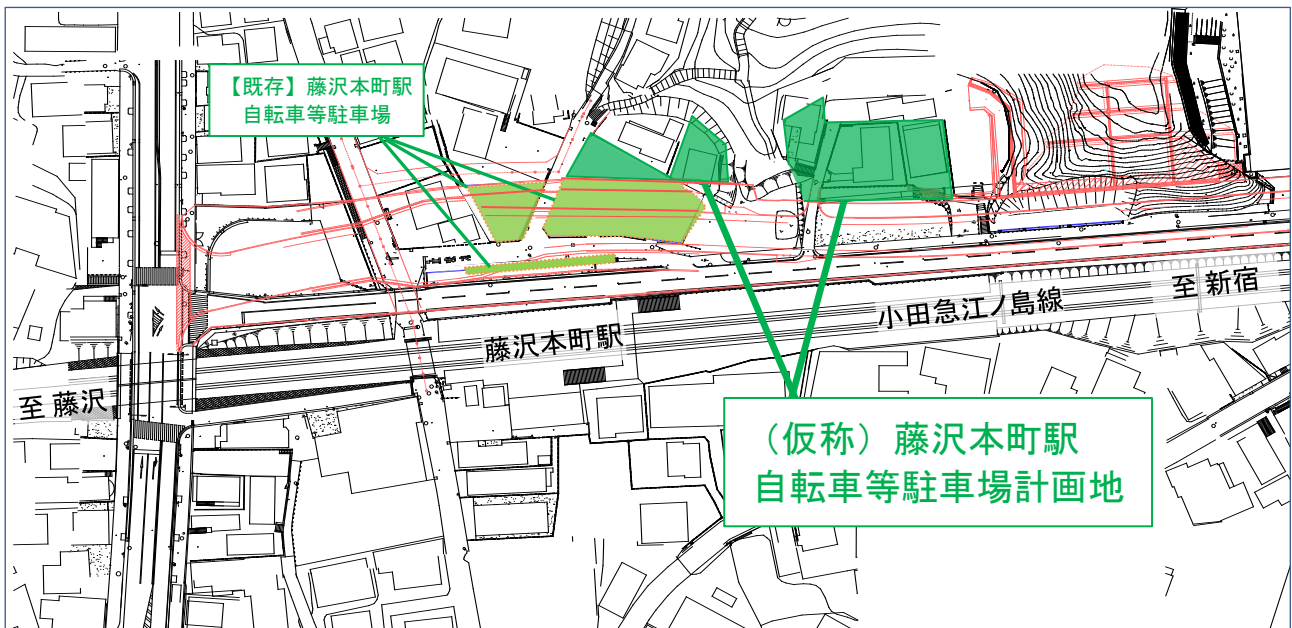
事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02	道路河川総務課				
指針体系コード	1-3-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	26,922			12,800		14,122
平成30年度	58,496			34,000		24,496
対前年度	△ 31,574			△ 21,200		△ 10,374
特定財源の内訳	(地方債)	自転車駐車場整備事業債				12,800

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保や自転車等の利用者の利便性の向上を図るため、自転車等駐車場の整備を進めるとともに、民間自転車等駐車場の新設に対する補助を行う。

1. 委託料 18,341 千円
 (仮称) 藤沢本町駅自転車等駐車場詳細設計委託
 (仮称) 藤沢本町駅自転車等駐車場整備に伴う家屋調査委託
2. 施設修繕費 1,211 千円
 藤沢本町駅第3自転車等駐車場移設に伴う修繕
3. 補助金 7,290 千円
 藤沢駅北口民間自転車等駐車場の新設費用に対する補助
4. 自転車駐車場整備事務経費 80 千円

(仮称) 藤沢本町駅自転車等駐車場位置図



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
27,318	58,496	26,922	498,080	610,816	

教育費

事業名	オリンピック開催準備関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 04 説明 01		東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
指針体系コード	2-1-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	116,601		15,605			100,996
平成30年度	74,984		13,565			61,419
対前年度	41,617		2,040			39,577
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				14,000
	(県支出金)	市町村スポーツ施策推進補助金				1,605

【事業概要】

東京2020大会に向けたより一層の気運醸成を図るため、東京2020大会及びセーリング競技のPRをこれまで以上に充実させるとともに、市民が喜びや感動を分かち合うためのさまざまな事業の実施及び準備に取り組む。また、市民参加型のオリンピック・パラリンピックの実現に向け、都市ボランティアをはじめとするボランティア活動の環境整備や、「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」による情報発信を行い、市民参加の機会を引き続き推進する。

- (括) 1. 気運を高める取組 52,750 千円
 - (1) カウントダウンイベントの開催やPRグッズの作製・配布などを通じて気運の盛り上げを図るほか、大画面による競技中継等を行うライブサイトの事業実施計画書を新たに作成する。 35,149 千円
 - (2) セーリング競技の普及啓発を図るため、出張陸上体験会、クルーザーによる国際レース等の観戦、プールでセーリング体験等を実施する。 7,601 千円
 - (3) 江の島で開催されるセーリングワールドカップシリーズが、地域活性化、ボランティアの実践活動、競技の普及に資するよう、「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会実行委員会」へ負担金を支出する。 10,000 千円

- (括) 2. ボランティアに関する取組 31,950 千円
 - (1) ボランティア活動を推進するためのwebサイトの運用、ボランティア気運を高めるための講座等を行うほか、都市ボランティアの募集及び研修、藤沢市独自ボランティアの企画・運営などを行う。 25,018 千円
 - (2) 市民参加型のオリンピック・パラリンピックを推進するため、「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」のPR及び団員の拡大、情報発信・イベント実施等を含めた運営業務を行う。 6,932 千円
 - (3) 都市ボランティアのユニフォーム購入費【債務負担行為の設定】 (38,170千円)

- 3. その他事務経費 31,901 千円



(藤沢ビッグウェーブ団員1万人突破記念イベント)



(セーリングワールドカップシリーズでのボランティア活動の様子)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
35,438	74,984	116,601	434,020	661,043	

教育費

事業名	(公財)藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 03 説明 01			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-21	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	44,353		6,000			38,353
平成30年度	42,945		6,500			36,445
対前年度	1,408		△ 500			1,908
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				6,000

【事業概要】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機とした、セーリング競技に関する体験会や障がい者スポーツに関連する各種事業を展開することで、両大会に対する市民の興味・関心を高めるとともに、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。

また、健康寿命日本一を目指し、市民が「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」健康で豊かなスポーツライフが過ごせるよう各種事業を開催する。

1. スポーツ事業業務委託 44,353 千円

(1) 東京2020オリンピック競技大会関連業務

- ・ふじさわセーリングフェスタ開催をはじめとする各種イベントの開催
- ・ビーチバレー中学生県大会及び全国大会の開催

(2) 東京2020パラリンピック競技大会関連業務

- ・藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会と連携したふじさわボッチャ競技大会をはじめとする各種イベントの開催
- ・障がい者スポーツを推進するための支援協力者の育成

(3) 藤沢市健康増進関連業務

- ・「おはよう！キュンとするまち。藤沢ラジオ体操2019」の開催
- ・健康、体力づくりに関連する各種イベントの開催

(4) 藤沢市スポーツ推進計画関連業務

- ・ビーチレクリエーションゾーン管理運営
- ・子どもの体力テスト事業
- ・藤沢市駅伝競走大会開催
- ・スポーツ施設マップ作成



<参考写真>
(藤沢市駅伝競走大会)



<参考写真>
(ふじさわセーリングフェスタ2018)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
1,201	16,375	16,896	16,896	51,368	

教育費

事業名	ビーチバレー大会開催関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 06			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	11,000				3,000	8,000
平成30年度	11,000				3,000	8,000
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	スポーツ拠点づくり推進事業助成金				3,000

【事業概要】

広く市民を対象として、「観るスポーツ」の機会を提供するため、ビーチバレー発祥の地である鶴沼海岸ビーチバレーコートにおいて「第33回ビーチバレージャパン」を開催する。

また、湘南の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の推進及びビーチバレー競技人口の底辺拡大を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運を高めるために、中学生を対象としたビーチバレー県大会と、その上位チームに加え全国の予選を勝ち抜いた中学生を対象とした全国大会を同会場にて開催する。

- 第33回ビーチバレージャパン（開催負担金） 6,000 千円
開催月：8月（3日間）（予定）
主 管：ビーチバレージャパン実行委員会
- 第13回神奈川県中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 1,000 千円
開催月：8月（1日間）（予定）
主 管：神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 第10回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 4,000 千円
開催月：8月（2日間）（予定）
主 管：湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会実行委員会



<参考写真>
(第32回ビーチバレージャパン)



<参考写真>
(第9回湘南藤沢カップ
全国中学生ビーチバレー大会)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
11,000	11,000	11,000	11,000	44,000	

総務費

事業名	都市親善費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 細目 10 説明 01	人権男女共同平和課				
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	22,137				22,137	
平成30年度	27,491				27,491	
対前年度	△ 5,354				△ 5,354	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				22,137

【事業概要】

姉妹友好都市を中心とした海外等諸都市との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解の推進を図るため、都市親善交流を行う。

1. 姉妹友好都市等との親善事業 9,410 千円
 姉妹友好都市をはじめとする諸都市との親善交流を目的とした事業を、藤沢市都市親善委員会に委託して実施する。
 (1) マイアミビーチ市との交流
 (2) 昆明市との交流
 (3) ウィンザー市との交流
 (4) 保寧市との交流
 ・青少年訪問団受入 7月(予定)
 (5) セーリングワールドカップシリーズ江の島大会への姉妹友好都市招待事業
 江の島における東京2020大会セーリング競技の開催を国内外に向け発信する目的で、姉妹友好都市の方々を招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。
2. ふじさわ国際交流フェスティバルの開催 881 千円
 外国人市民との交流や異文化への理解を深めるための事業を、ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会へ委託して実施する。
 ・開催時期：10月(予定)
3. 聶耳記念碑保存会への助成 250 千円
4. 事務経費 11,596 千円
 ・都市親善推進員報酬 9,224 千円
 ・パート賃金 661 千円
 ・報償費、旅費、通訳・翻訳料等 1,711 千円



ふじさわ国際交流フェスティバルの様子



藤沢市保寧市青少年交流の様子

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
4,156	3,181	5,660	5,660	18,657	

商工費

事業名	シティプロモーション関係費					
予算科目	款 8 項 2 目 5 細目 01 説明 01	観光シティプロモーション課				
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	18,293		1,332			16,961
平成30年度	14,396		1,143			13,253
対前年度	3,897		189			3,708
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				1,332

【事業概要】

「ふじさわシティプロモーション推進方針」の改定に合わせ、「キュンとするまち。藤沢」のキャッチフレーズのもと、平成26年度から進めている取組を踏襲するとともに、市民をはじめ企業（団体等）を巻き込んだ「市民参加型」のプロモーションを展開する。

また、東京2020大会に向け露出が増加するこの時期をシティプロモーションの好機と捉え、ブランド力向上につながる取組を推進する。

1. シティプロモーション推進事業 8,384 千円
 - ・ふじさわシティプロモーション推進業務委託 8,000 千円
市民自らが伝道者として、まちの魅力を発信する等の行動（アクション）を促す取組を行う。
 - ・市民アンケート調査の実施 384 千円
藤沢への愛着度や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため市民アンケート調査を行う。
2. ふじさわファンクラブ事務局運営業務委託 2,000 千円
藤沢を応援するコミュニティである「ふじさわファンクラブ」の自発的活動の支援を行う。
3. 公式キャラクター運営業務委託 1,500 千円
公式マスコットキャラクター（ふじキュン♡）を活用したプロモーションを行う。
- (新) 4. メディアプロモーションブックの制作 2,000 千円
テレビ放映や雑誌等への掲載を促し、藤沢の魅力を広範に発信することを目的として、
5. シティプロモーション関係事務経費 4,409 千円
 - ・パート賃金 1,508 千円
 - ・講師謝礼 180 千円
 - ・旅費 332 千円
 - ・その他（啓発品、消耗品、Wi-Fi回線使用料等） 2,389 千円



（「ふじさわファンクラブ」イベントの様子）



（シビックプライドランキング2018）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
14,926	14,396	18,293	18,293	65,908	

商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-21		まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する		
区分	事業費	重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	51,819		2,698		19,345	29,776
平成30年度	44,028		2,791		16,541	24,696
対前年度	7,791		△ 93		2,804	5,080
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				2,698
	(その他)	江の島岩屋使用料				12,593
	(その他)	片瀬東浜駐車場使用料				6,752

<拡充事業> 外国人観光客誘致対策事業の実施

【施策等を必要とする背景】

国内外からの更なる誘客を図るため、これまで実施してきた台湾やタイなどアジアへ向けた観光誘客に加え、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、欧米などを加えた幅広い国・地域からの誘客が必要となっている。

【提案に至るまでの経緯】

多言語メニュー支援サイト「FUJISAWA Foodies」を平成27年度に構築したが、利用者数を継続的に増やすためには、登録店舗や利用客にとって魅力あるサイトへの磨き上げが不可欠である。

サイトのカスタマイズ等を実施し、利便性を向上させ、更なる外国人観光客の誘致を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市観光振興計画において、藤沢らしさが光る選ばれる観光都市の実現に向け、「外国人観光客誘致の推進」として位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機として今後ますます増加することが見込まれる外国人観光客に対し、受入環境の整備を図り、満足度を向上させることにより、本市の更なる観光振興及び地域経済の活性化につながる。

2. 将来にわたる費用

サイトの保守・更新費用が必要経費として継続的に生じる。

【事業概要】

国内外から広く観光客を誘客するため、県外での観光キャラバンによるキャンペーン、海外旅行博への参加などによる外国人観光客誘致対策事業の実施、観光ホームページによる情報発信、メディアを活用した観光情報の提供、民間団体等が実施するイベントへの参画等により、誘客宣伝事業を行う。

1. 観光宣伝事業委託	45,922 千円
<主な事業>	
・観光キャラバン事業	3,260 千円
・メディアによる観光宣伝事業	1,479 千円
・観光ホームページによる宣伝事業	1,429 千円
・松本市交流事業	218 千円
・北部地域観光ウォークラリー	75 千円
・北部観光振興事業	275 千円
・旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業	11,738 千円
・江の島イラストマップの作成	1,488 千円
・外国語版江の島イラストマップの作成	1,924 千円
(拡) 　　・外国人観光客誘致対策事業	15,291 千円
・宝探し事業（エノシマトレジャー）	3,660 千円
・江の島・相模湾観光振興事業	108 千円
・観光親善大使関連事業	712 千円
2. 海と山との市民交歓会開催委託 姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施	891 千円
3. 地域観光振興事業補助金 8月に開催される遊行寺薪能事業への助成	500 千円
4. 新春藤沢・江の島歴史散歩事業補助金 1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成	530 千円
5. 全日本ライフセービング選手権大会補助金 10月に片瀬海岸西浜で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成	300 千円
6. サイクルチャレンジカップ藤沢事業補助金 市内北部地域で開催されるサイクルロードレース大会への助成	2,000 千円
7. 誘客宣伝事業事務経費 パート賃金、講師謝礼、特別旅費	1,676 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
44,157	44,028	51,819	51,819	191,823	

商工費

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 04	観光シティプロモーション課				
指針体系コード	2-2-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	26,236		0			26,236
平成30年度	25,759		418			25,341
対前年度	477		△ 418			895

【事業概要】

本市を舞台とする国内外の映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影や映像作品の誘致及び市内全域における撮影環境の調整を行い、メディアを通して観光地藤沢としての情報を発信するほか、撮影隊の来藤による直接的・間接的な経済効果を図る。

1. 湘南藤沢フィルム・コミッション事業負担金 26,236 千円
- ・ロケハン（ロケ地探し）への協力（ロケ地情報の提供・写真提供など）
 - ・撮影許可申請の案内
 - ・ロケの立ち会い
 - ・食事や宿泊施設の紹介及び調整
 - ・市民エキストラ、支援施設の募集及び手配
 - ・市民向けフォーラムの開催
 - ・制作宣伝部とのPR企画・実施協力
 - ・ロケ地マップ作成
 - ・デジタルスタンプラリーの実施



(映画「笑顔の向こうに」撮影風景)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
23,729	25,759	26,236	26,236	101,960	

教育費

事業名	藤澤浮世絵館運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 08 説明 02			郷土歴史課		
指針体系コード	2-2-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	64,830				1,200	63,630
平成30年度	64,233				1,450	62,783
対前年度	597				△ 250	847
特定財源の内訳	(その他)	浮世絵館関連グッズ売上収入				1,200

【事業概要】

本市所蔵の浮世絵をはじめとする郷土歴史及び文化に関する資料を展示公開することにより市民の郷土への愛着を育み、文化の向上に寄与するため藤澤浮世絵館の運営管理を行う。

また、開館3周年を迎えることを契機とし、さらに藤沢市の歴史や文化を発信していくため周知拡大を図る。

1. 藤澤浮世絵館の管理運営 64,373 千円
 - ・非常勤職員、パート職員賃金等 13,028 千円
 - ・講演会、資料調査等講師謝礼 570 千円
 - ・展示用消耗品、備品購入費、修繕費 4,080 千円
 - ・印刷製本費（展示ガイド・ポスター・チラシ作成等） 5,692 千円
 - ・マット加工、浮世絵修復等手数料、翻訳料、運搬料 5,306 千円
 - ・ココテラス湘南賃借料、共益費、光熱水費 33,667 千円
 - ・その他経費（パソコン賃借料、清掃委託料等） 2,030 千円

- (拡) 2. 藤澤浮世絵館開館3周年記念事業 457 千円
 開館3周年を記念し、江の島詣や大山詣りといった、藤沢の歴史に関する企画展示や講演会を開催する。
 - ・講演会講師謝礼 100 千円
 - ・展示用消耗品費 60 千円
 - ・印刷製本費（展示用パネル作成等） 297 千円



＜参考写真＞
(学芸員による見どころ解説)



＜参考写真＞
(学芸員によるミニ講座)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
60,787	64,233	64,830	64,756	254,606	

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-51	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	132,311					132,311
平成30年度	134,763					134,763
対前年度	△ 2,452					△ 2,452

【事業概要】

文化芸術創造の活性化及び市民文化の支援・育成を図るため、公益財団法人藤沢市みらい創造財団に対し補助を行う。

1. (公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化振興事業補助金 132,311 千円
 ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現を図るため、芸術鑑賞事業や体験発表事業等を実施する。
 - ・音楽、演劇等を鑑賞する機会の提供
 演奏会形式によるオペラ「湖上の美人」の公演
 藤沢にゆかりのある音楽家たちによる演奏会等の音楽事業
 落語鑑賞会等の演劇事業
 - ・芸術文化の創造の機会の提供
 学校訪問事業、演劇ワークショップ等
 - ・芸術文化の普及
 ロビーコンサート、ワンコインコンサート等
 - ・地域における芸術文化及び伝統文化の継承
 藤沢市展 日程：6月4日～6月23日
 会場：藤沢市民ギャラリー
 ふじさわ合唱祭、市民短歌大会等



<参考写真> (藤原歌劇団招聘公演「椿姫」) ©(公財)藤沢市みらい創造財団



<参考写真> (平成30年度第68回藤沢市展風景)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
78,496	61,771	54,700	88,496	283,463	

教育費

事業名	文化行事費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 03			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-61	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	7,730				1,242	6,488
平成30年度	8,488				0	8,488
対前年度	△ 758				1,242	△ 2,000
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				1,242

【事業概要】

魅力あふれる文化芸術創造のため、文化芸術の鑑賞機会の充実を図り、将来の本市の文化芸術を担う人材を育成するための事業を実施する。また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムとして位置づける文化芸術事業の実施主体となる団体に対して補助を行うことにより、大会開催に向けて気運の醸成を図る。

1. 文化団体への補助金の交付 3,720 千円
 - ・ 郷土芸術文化推進事業補助金 3,420 千円
藤沢市文化団体連合会が実施する、児童生徒を対象とした伝統文化の体験事業「ワクワク体験ひろば」や、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムの取組の一つとして実施する、外国人観光客等を対象とした日本の伝統文化を紹介する「おもてなし」等の事業に対する補助を行う。
 - ・ 市民シアター第九演奏会事業補助金 300 千円
「市民シアター第九を唱う会」が毎年公募により組織し実施しているイルミネーション湘南台2019の点灯式における第九演奏に対する補助を行う。

2. 「こころの劇場」招待事業（輸送等経費） 2,655 千円
市内小学校35校の6年生等を対象に、優れた演劇に触れるきっかけを与え、豊かな感性と創造性を育むことを目的とした、ミュージカル「こころの劇場」への招待事業を行う。
日程：1月21日、22日（予定）
会場：市民会館大ホール
招待児童数：約4,000人

3. セイジ・オザワ松本フェスティバル事業 1,242 千円
松本市で行われる「セイジ・オザワ松本フェスティバル」のオーケストラコンサートを生中継で観る、スクリーンコンサートを湘南台文化センターにて行う。

4. 藤沢市文化芸術振興計画の進行管理 113 千円
本市の文化芸術振興計画について、学識経験者、文化団体関係者等により進行管理を行う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
5,797	8,488	7,730	7,925	29,940	

教育費

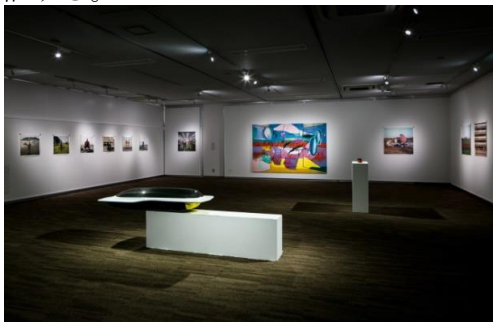
事業名	アートスペース運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-71	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	73,816				1,749	72,067
平成30年度	67,516				1,004	66,512
対前年度	6,300				745	5,555
特定財源の内訳	(その他)	アートスペース使用料				465
	(その他)	アートスペース有料展覧会観覧料				600
	(その他)	アートスペース関連グッズ売上収入				684

【事業概要】

藤沢市アートスペースの運営管理を行い、藤沢にゆかりのある作家や若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表の支援を行うとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに位置づける文化芸術事業として、アートスペースを活用した企画展及びワークショップを開催する。

1. 報酬、賃金 13,562 千円
非常勤職員月額報酬、パート職員賃金等
2. 施設管理、運営管理 36,764 千円
建物賃借料、共益費、光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等
- (括) 3. 事業運営費 23,490 千円
 - ・若手芸術家の創作活動及び展示・発表等の支援
藤沢市や湘南地域で活動する若手芸術家や、全国からの公募により選出した芸術家による公開制作や制作作品の展示・発表を行う。
 - ・身近な美術鑑賞の機会の提供
藤沢ゆかりの作家や湘南地域で活動する若手芸術家を中心に、絵画、彫刻、写真等の幅広い分野の展覧会や本市所蔵の美術作品の企画展を開催する。
 - ・美術作品の展示・発表の場の提供
個展及びグループ展が開催できるよう展示ルームを貸し出し、地域で活動する作家やグループの作品発表の場を提供する。
 - ・美術学習の場の提供
子ども向けを中心としたワークショップや各世代で楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。
 - ・藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに位置づける事業の開催
姉妹都市の芸術家と本市の若手芸術家がコラボレーションした交流企画展を開催する。



<参考写真>
平成30年度企画展Ⅱ
「Scholar」



<参考写真>
平成30年度ワークショップ
「とびだすクリスマスカードを作ろう！」

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
66,752	67,516	73,816	73,816	281,900	

土木費

事業名	江の島地区周辺整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 10 説明 01	江の島地区周辺整備担当				
指針体系コード	2-2-81	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	16,435		0			16,435
平成30年度	21,229		6,145			15,084
対前年度	△ 4,794		△ 6,145			1,351

【事業概要】

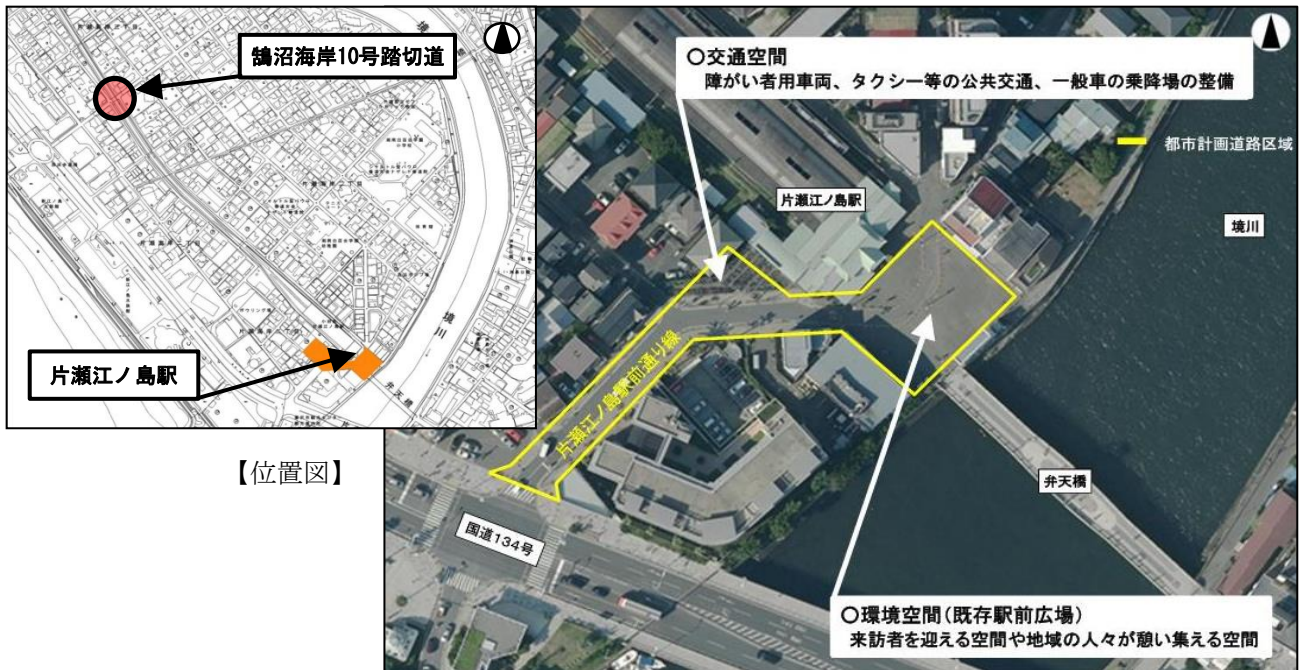
片瀬・江の島周辺における回遊性の向上及び交通機能の強化を図るため、片瀬江ノ島駅駅前広場の整備を進める。

また、周辺道路の交通安全対策の一つとして、鵜沼海岸10号踏切道改良に向けた調査設計を行う。

1. 賃借料
道路用地（交通空間の一部） 1,610 千円

2. 負担金 12,962 千円
鵜沼海岸10号踏切道改良に向けた調査設計負担金
・期間 2018年10月26日から2019年7月31日まで
・内容 測量、移設物件調査、改良計画の検討、概算工事費の算出等

3. 江の島地区周辺整備事業事務経費 1,863 千円



(2の事業は平成30年度9月補正で債務負担行為を設定)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
804	21,229	16,435	849,518	887,986	

商工費

事業名	観光施設整備費					
予算科目	款 8 項 2 目 4 細目 01 説明 02			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-91	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
区分	事業費	重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	148,916		20,568	88,600	39,748	
平成30年度	16,849		5,615	5,000	6,234	
対前年度	132,067		14,953	83,600	33,514	
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				20,568
	(地方債)	観光施設整備債				88,600
	(その他)	江の島サムエル・コッキング苑使用料				28,811
	(その他)	江の島岩屋使用料				9,437
	(その他)	観光案内サイン整備事業寄付金				1,500

【事業概要】

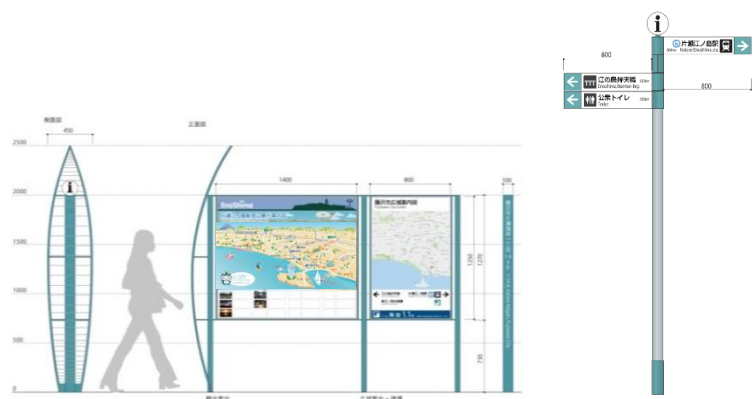
本市を訪れる多くの観光客の受入体制の整備を図るため、江の島中津宮広場常設公衆トイレ整備工事を行う。

また、円滑に観光地を回遊してもらうため、観光案内サインの整備工事を行う。

なお、観光案内サイン整備事業の実施にあたり、市内外から幅広い支援・協力を募るため、クラウドファンディングを活用する。

1. 江の島中津宮広場常設公衆トイレ整備事業 80,986 千円
観光客の受入体制を充実させるため、江の島中津宮広場の公衆トイレの整備を行う。

2. 観光案内サイン整備事業 67,930 千円
国内外から本市を訪れる多くの観光客に対し円滑に観光地を回遊してもらうため、統一感のある観光案内サインの整備を行う。
クラウドファンディングの開始時期については、設置予定個所が明確になった時点から約2カ月間実施する。



【観光案内サイン整備事業】

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
	16,849	148,916		165,765	

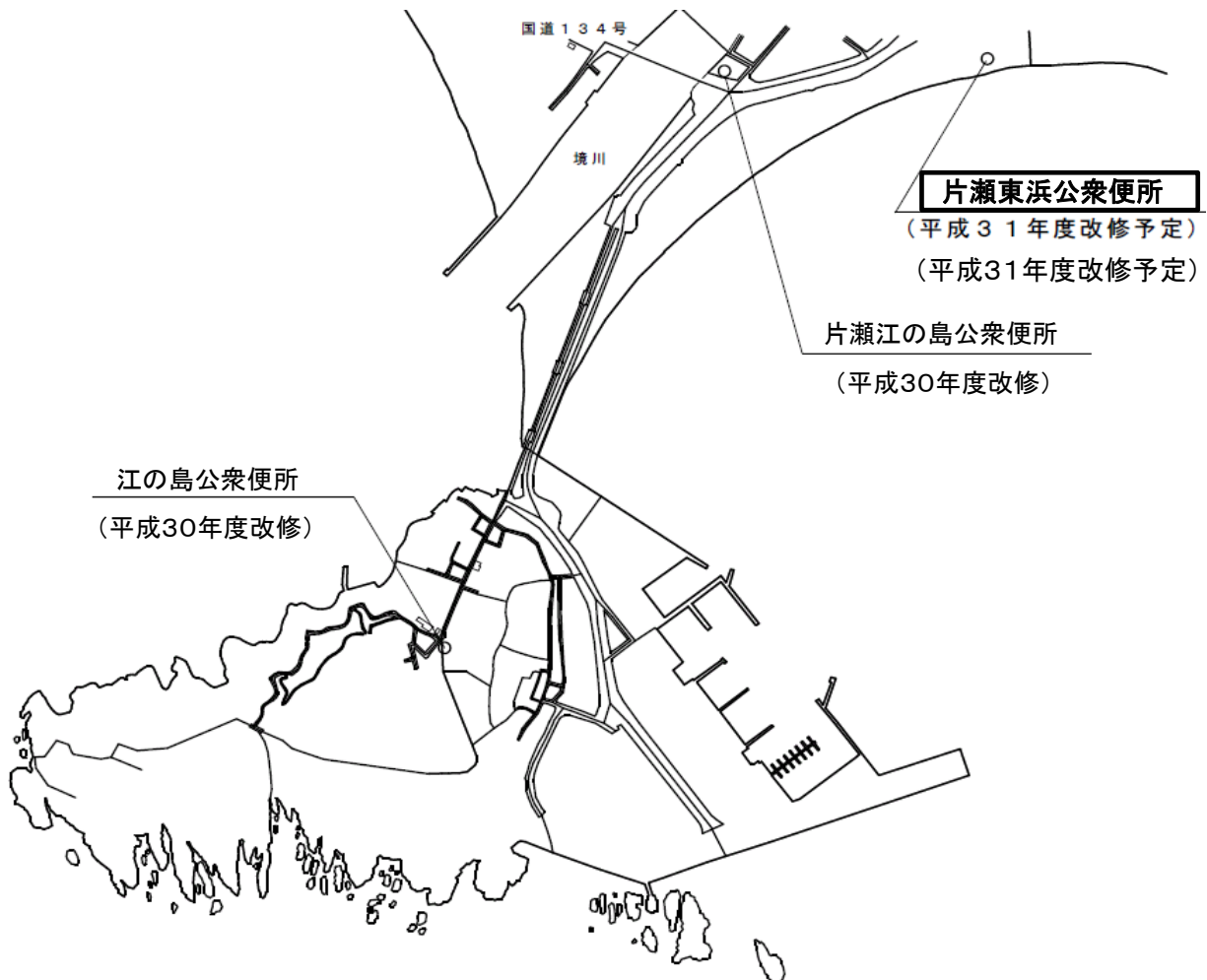
衛生費

事業名	公衆便所整備費					
予算科目	款 5 項 1 目 3 細目 03 説明 01			環境総務課		
指針体系コード	2-2-92	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	51,539	41,000		0		10,539
平成30年度	67,177	40,200		20,100		6,877
対前年度	△ 15,638	800		△ 20,100		3,662
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				41,000

【事業概要】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、利用者の利便性と公衆衛生の向上を図るとともに、誰もが安全に安心して公衆便所を使用できるようにするため、老朽化対策及び便器の洋式化等の整備を行う。

1. 工事請負費 51,495 千円
 片瀬東浜公衆便所改修工事
 ・便器の洋式化、段差の解消、天井・床の修復及び落書き防止塗装等
2. その他事務経費 44 千円
 公衆便所改修工事における図面印刷にかかる経費



(改修対象公衆便所位置図)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
	67,177	51,539	0	118,716	

教育費

事業名	児童支援体制充実事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 13	学務保健課				
指針体系コード	3-1-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	31,380					31,380
平成30年度	25,777					25,777
対前年度	5,603					5,603

【事業概要】

全教職員があらゆる教育活動を通して組織的、効果的に児童支援に取り組み、一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細かな教育を推進するにあたり、小学校全35校に児童支援の中心的役割を持つ「児童支援担当教諭」を配置するために、担当教諭が受け持つ授業の一部を担う市費講師を配置し、児童支援担当教諭の活動時間を確保する。

- | | |
|--------------------------|-----------|
| 1. 市費講師 | 31,380 千円 |
| 任用人数 | 28人 |
| (経費内訳) | |
| ・賃金 | 29,812 千円 |
| (市費講師の1人当たりの授業時間数 週12時間) | |
| ・交通費 | 1,568 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
17,957	25,777	31,380	31,380	106,494	

教育費

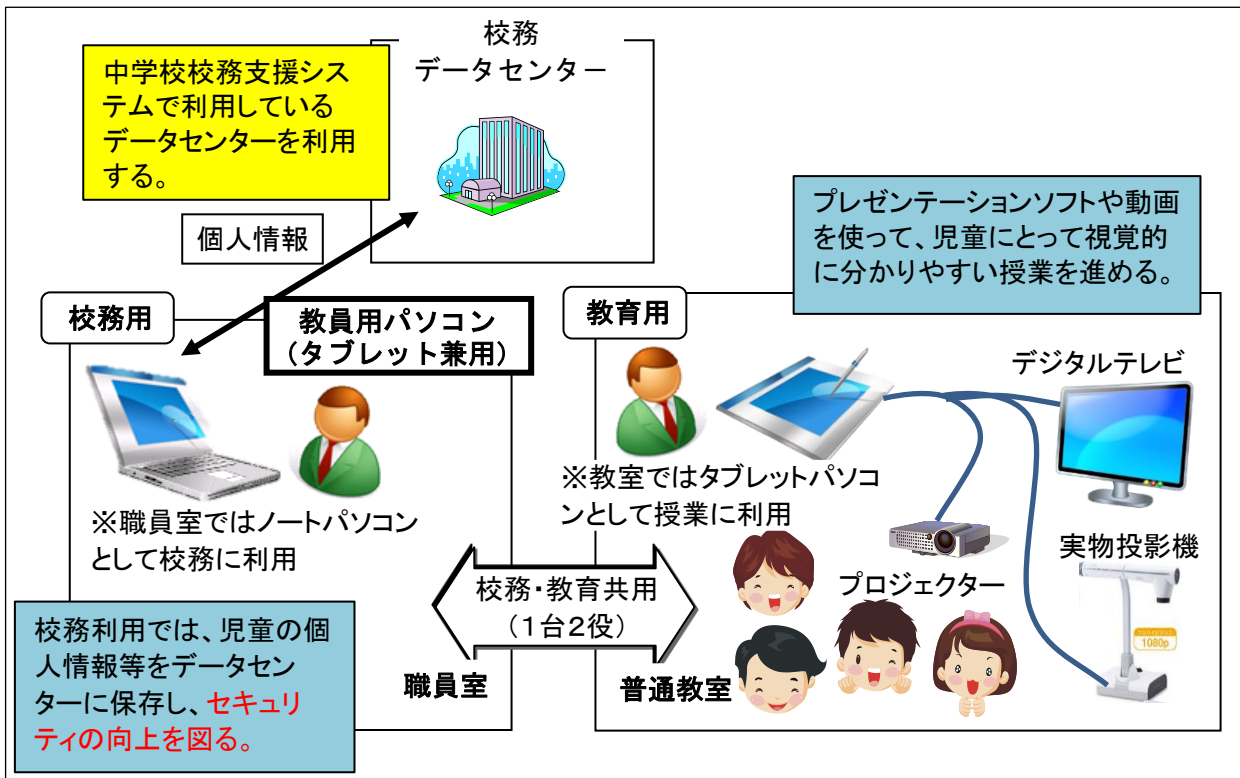
事業名	校務支援システム構築事業費（小・中・特別支援学校）					
予算科目	款 1 1 項 2・3・4 目 1 細目 03 説明 01			教育総務課		
指針体系コード	3-1-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
	3-1-22	重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
	3-1-23					
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	211,159					211,159
平成30年度	205,580					205,580
対前年度	5,579					5,579

【事業概要】

小・中・特別支援学校において、成績処理や教材作成など校務を適切かつ効率的に行うため、教職員一人ひとりが個々で使用するパソコンを整備する。

なお、小学校においてはセキュリティを確保した上で、授業でも活用できるよう、タブレット兼用のパソコンを整備する。

- 校務用パソコン等賃貸借 161,153 千円
 - ・小学校分 126,684 千円
 - ・中学校分 32,244 千円
 - ・特別支援学校分 2,225 千円
- 校務用パソコンサポート業務委託 2,486 千円
校務用パソコンを円滑に活用できるようヘルプデスク等の業務委託を行う。
- 校務支援システム使用料等 47,520 千円
中学校において成績処理や名簿管理、保健情報管理等をシステムで行い、校務の効率化を図る。



小学校教職員校務用パソコン運用イメージ図

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

	平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
小学校	85,856	110,515	126,684	126,860	449,915	
中学校			82,250	57,353	139,603	H31年度から重点事業
特別支援学校			2,225	3,868	6,093	
計	85,856	110,515	211,159	188,081	595,611	

教育費

事業名	教育情報機器関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 04	教育総務課				
指針体系コード	3-1-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	417,136					417,136
平成30年度	297,710					297,710
対前年度	119,426					119,426

【事業概要】

新学習指導要領の実施を見据え、文部科学省が公表している「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針について」に基づき、段階的にICT機器の整備を行う。

また、文部科学省が整備水準とする「3クラスに1クラス分程度」の学習用端末を先行して整備するため、小・中学校にパイロット校を新たに設定し、ICT機器を活用した指導方法の検証を行う。

1. 学習用端末等整備事業費 257,997 千円

学習で使用するためのICT機器環境の整備を行う。

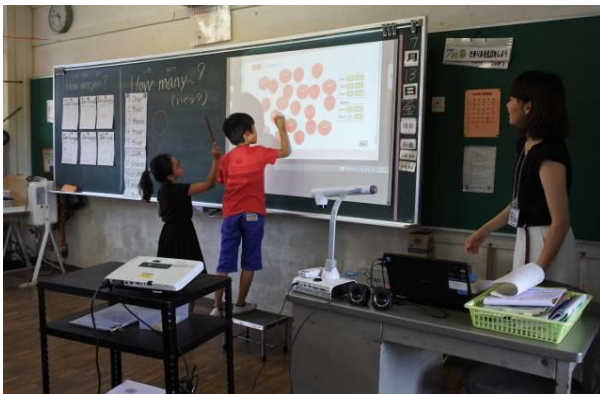
- ・ネットワーク管理費 13,428 千円
- ・既存端末等整備費 129,955 千円
- ・新規端末及び無線LAN等整備費 114,614 千円

2. ICT機器活用サポート業務委託 21,743 千円

ICT機器の活用をサポートするICT支援員の派遣や、様々な契約により導入された機器の故障等へ対応するための窓口を担うヘルプデスク業務を行う。

3. ICT周辺機器等整備事業費 137,396 千円

プロジェクターや実物投影機等の整備を行うとともに、既存機器等の修理対応を行う。



(ICT機器を活用した授業)



(タブレット端末の実用例)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
		417,136	376,568	793,704	H31年度から重点事業

教育費

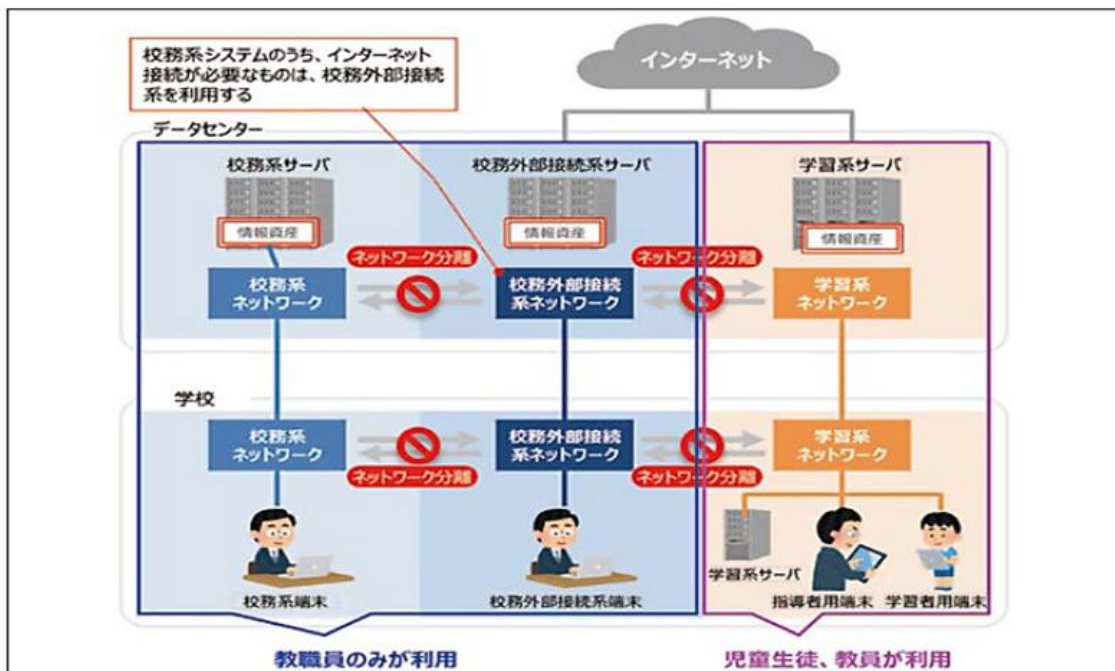
事業名	教育情報化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10	教育総務課				
指針体系コード	3-1-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	37,089					37,089
平成30年度	14,249					14,249
対前年度	22,840					22,840

【事業概要】

学校ICT機器が円滑に利用できるよう、学校ネットワーク基盤を充実させるとともに、文部科学省が公表している「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に則したネットワーク分離等により、学校における情報セキュリティ対策を行う。

また、平成30年度から導入した学校グループウェアを効果的に活用し、働き方改革の一助となるよう、校務の効率化を図る。

1. 学校ネットワーク構築事業 26,430 千円
学校におけるネットワーク基盤を充実させるとともに、情報セキュリティ対策の強化を行う。
2. 学校グループウェア 7,248 千円
学校グループウェアを活用し、学校内、学校間、学校と教育委員会の情報連携を円滑にし、校務の効率化を推進する。
3. パイロット校2校（石川小・小糸小）校内LAN整備賃貸借 3,383 千円
4. 先進ICT整備研究旅費 28 千円



ネットワーク分離イメージ図

(文部科学省：「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」ハンドブックから引用)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
		37,089	125,293	162,382	H31年度から重点事業

民生費

事業名	法人立保育所等施設整備助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 08			子育て企画課		
指針体系コード	3-2-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	662,933		411,356			251,577
平成30年度	212,836		181,264			31,572
対前年度	450,097		230,092			220,005
特定財源の内訳	(県支出金)	安心こども交付金事業費補助金				411,356

【事業概要】

法人立認可保育所における保育環境の向上を図るとともに、増加する保育需要に対応するため、施設の再整備及び新設にかかる経費を助成する。

1. 法人立認可保育所の再整備 612,285 千円
 - (1) 白旗保育園 308,008 千円
 昭和48年の建築から46年が経過し、敷地内で園舎の建て替えを行う。
 - ・設置運営法人 社会福祉法人 二葉福社会
 - ・所在地 藤沢2-5-1
 - ・定員 105人（建て替え後、120人に増員予定）
 - ・整備期間 平成31年4月～平成32年3月
 - (2) 五反田保育園分園 304,277 千円
 現園舎隣接地に新たな園舎を建築するとともに、定員拡大を図ることにより、本園への移行を進める。
 - ・設置運営法人 社会福祉法人 湘南杉の子福社会
 - ・所在地 石川3-30-12
 - ・定員 97人（建て替え後、120人に増員予定）
 - ・整備期間 平成31年5月～12月
2. 法人立認可保育所の新設 50,496 千円
 - (1) (仮称) 辻堂げんきっず保育園 25,248 千円
 認可保育所公募（西南地区）において選定され、平成32年4月の開所に向けて整備を行う。
 - ・設置運営法人 社会福祉法人 みらい
 - ・所在地 羽鳥1丁目1866番3、1866番7（地番）
 - ・定員 64人
 - ・整備期間 平成31年12月～平成32年2月
 - (2) (仮称) 藤沢ひばり保育園 25,248 千円
 県立藤沢高校跡地を売却する際に設置が必須とされていた認可保育所として、平成32年4月の開所に向けて整備を行う。
 - ・設置運営法人 社会福祉法人 ひばり
 - ・所在地 本町4丁目1471番1（地番） 他
 - ・定員 90人
 - ・整備期間 平成31年10月～12月
3. 保育所等設置運営者選考委員会委員報酬 152 千円
 公募の審査選定を行う保育所等設置運営委員会の専門委員に対する報酬

(この事業は平成30年度6月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
87,277	212,836	662,933		963,046	

民生費

事業名	市立保育所整備費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 03			子育て企画課・保育課		
指針体系コード	3-2-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	15,988					15,988
平成30年度	2,918					2,918
対前年度	13,070					13,070

【事業概要】

老朽化した善行保育園・善行乳児保育園の再整備に向け、建設予定地の敷地測量及び再整備に係る事業者選定を行う。

また、平成31年8月末に竣工予定の辻堂保育園新園舎へ移転等を行うとともに、しぶやがはら保育園旧園舎の有効活用に向けた検討を行うため敷地測量を行う。

1. 善行保育園・善行乳児保育園等再整備事業 5,295 千円
(内訳)

- ・建設予定地の測量業務委託料 5,181千円
- ・再整備に係る事業者選定審査委員会委員報酬 114千円

＜事業スケジュール（予定）＞

- 平成31年度 測量委託、事業者選定
- 平成32年度 基本・実施設計、埋蔵文化財調査
- 平成33年度 建設工事
- 平成34年度中 新園舎への移転・供用開始

2. 辻堂保育園新園舎への移転等に係る費用 9,943 千円

＜事業スケジュール（予定）＞

- 平成31年8月 竣工・引渡し
- 平成31年9月 新園舎への移転・供用開始

3. しぶやがはら保育園旧園舎の測量業務委託 750 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
19,076		9,943		29,019	

民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 05			保育課		
指針体系コード	3-2-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
区分	事業費	重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	2,021,550	124,793	131,822		89,659	1,675,276
平成30年度	1,802,689	74,592	101,462		88,838	1,537,797
対前年度	218,861	50,201	30,360		821	137,479
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				56,510
	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				68,283
	(県支出金)	民間保育所運営費補助金				14,469
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				56,510
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				25,241
	(県支出金)	保育緊急対策事業費補助金				32,556
	(県支出金)	保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金				3,046
	(その他)	法人立保育所建物賃貸料収入				89,463
	(その他)	法人立保育所用地賃貸料収入				196
<p><拡充事業> ①保育士確保に向けた保育士個人への支援の導入 ②保育士確保に向けた法人立認可保育所に対する支援の充実</p> <p>【施策等を必要とする背景】 近年、保育士不足が全国的に顕著であり、本市においても保育士不足の状況が続いている。 平成30年4月の保育施設入所選考にあたっては、保育士不足の理由により、入所児童の受け入れを制限する事態が生じるまでとなり、保育士の確保が急務となっている。</p> <p>【提案に至るまでの経緯】 平成28年 4月 保育士等確保事業補助金を新設 平成29年 4月 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設 平成30年10月 現在は働いていない保育士資格保有者（潜在保育士）の復職に向けた、公立保育所での保育体験事業を実施</p> <p>【将来にわたる効果及び費用】 保育士の安定的な確保により、待機児童解消の一翼を担う。また、保育の質の確保も期待できる。</p>						

【事業概要】

法人立認可保育所の保育内容の向上及び施設運営の安定を図るため、設置者の社会福祉法人等に対し、保育所の運営費等を助成する。

併せて、保育士確保に向けた様々な取組を実施する。

- (新) 1. 保育士の円滑な就職・復職に向けた支援 4,701 千円
 藤沢市で保育士として働くことの魅力を発信するとともに、保育士養成校との連携を強化することで、継続的な人材確保を図るための事業を行う。
 また、奨学金を利用して保育士資格を取得した保育士への返済金の補助や、潜在保育士の保育体験に係る検査費用等の助成を行う。
- ・保育士募集案内用リーフレットの作成 476 千円
 - ・県外保育士養成校の訪問 175 千円
 - ・市内法人立認可保育所に就職した保育士に対する奨学金返済補助事業 4,000 千円
 - ・潜在保育士の公立保育所における保育体験に係る費用の助成 50 千円
 (各種検査費用、交通費等)
- (拡) 2. 市内法人立認可保育所が行う保育士確保に向けた取組への支援 82,305 千円
 市内法人立認可保育所を運営する法人に対し、人材確保及び離職防止に係る費用を助成する。
- ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 61,992 千円
 (対象保育士の要件の拡充)
 - ・保育士等確保事業補助金 20,313 千円
 (1施設あたりの補助額の拡充)
3. 法人立保育所運営等業務委託 1,605,445 千円
 市内法人立認可保育所に対する人件費、安定した施設運営を図るための管理費、及び一時預かりなどの特別保育の実施に要する費用
4. 法人立保育所特別経常費補助金 52,484 千円
 施設及び設備整備のため、独立行政法人福祉医療機構又は神奈川県社会福祉協議会から資金を借り入れた法人に対して、償還元金の一部を助成する。
5. 法人立保育所の設置運営に係る経費の補助 161,764 千円
 民有地や建物を賃借して、法人立認可保育所を設置運営する法人に対し、その経費の一部を助成する。
- ・社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金 12,945 千円
 - ・分園設置運営補助金 17,500 千円
 - ・保育所建物設置賃借料補助金 131,319 千円
6. 湘南C-X内保育所建物賃借料等、UR都市機構内保育所土地賃借料 102,475 千円
7. 市外民間保育所扶助費 8,600 千円
 市外の法人立認可保育所等に在園する本市在住児童の保育に要する費用
8. その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費等 3,776 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
1,824,398	1,802,689	2,021,550	2,164,831	7,813,468	

民生費

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	242,010	55,362	27,140	96,800	24,439	38,269
平成30年度	115,997	36,255	26,613	10,900	3,689	38,540
対前年度	126,013	19,107	527	85,900	20,750	△ 271
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				17,733
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				37,629
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				17,733
	(県支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				9,407
	(地方債)	放課後児童クラブ整備事業債				96,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				24,439

【事業概要】

藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、設置運営事業者の公募を行うとともに、（公財）藤沢市みらい創造財団等と連携して放課後児童クラブを整備する。

また、天神小学校区の放課後児童クラブを含む複合施設の整備を行う。

1. 放課後児童クラブの整備 234,851 千円
 藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき3カ所の新設を行うとともに、建て替え2カ所、移転1カ所及び改修等2カ所の整備を行う。

小学校区	整備手法	備考
天神	放課後児童クラブ・障がい児者一時預かり施設等整備	新設
秋葉台	既存クラブと同一敷地内に整備	新設
明治	辻堂保育園との複合化	新設
	同一敷地内での建て替え	麦の子児童クラブ
羽鳥	同一敷地内での建て替え	第2小羊児童クラブ
新林	既存施設を賃借し、改修移転	つばめ児童クラブ
長後	隣接地購入による拡張整備	さくらんぼ児童クラブ
本町	施設の改修	さくら児童クラブ

2. 移転クラブの旧施設の原状回復 7,100 千円

3. 放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会委員報酬 59 千円
 平成32年4月開所に向け放課後児童クラブ設置運営事業者の審査選定を行うため、学識経験者に対し選考委員会委員報酬を支払う。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
77,525	115,997	242,010		435,532	

民生費

事業名	小児医療助成費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 05 説明 01			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,796,455		233,910		139	1,562,406
平成30年度	1,622,825		233,625		120	1,389,080
対前年度	173,630		285		19	173,326
特定財源の内訳	(県支出金)	小児医療費助成事業費補助金				233,910
	(その他)	高額療養費還付金				114
	(その他)	第三者行為損害賠償金				25

<拡充事業> 通院に係る医療費の助成対象を中学校3年生まで拡大

【施策等を必要とする背景】

小児の医療費に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てができる環境づくりの更なる推進を図るため、平成31年4月から通院に係る医療費の対象年齢を、現行の小学校6年生から中学校3年生まで拡大する。

【提案に至るまでの経緯】

対象年齢の拡大については、平成29年4月に策定された藤沢市市政運営の総合指針2020における重点事業の一つとして位置づけ、持続可能な制度となるよう必要な財源確保等について整理しながら検討を行った。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

条例改正案に対する市民意見公募（パブリックコメント）を実施した。

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市市政運営の総合指針2020】

- ・藤沢市市政運営の総合指針2020における重点施策の一つに、子どもの健やかな成長に向けた支援の充実が示されており、小児医療助成費が重点事業として位置づけられている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、小児の保健の向上と福祉の増進が図られるとともに、子育て世帯の保護者の経済的負担が軽減される。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政的負担見込額は次のとおり

平成32年度以降 約250,300千円（扶助費：241,356千円 役務費ほか：8,944千円）

【事業概要】

小児の健康増進と医療費に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、中学校3年生までの児童の入通院に係る医療費を助成する。なお、中学生についてのみ児童手当と同基準の所得制限を設ける。

1. 中学生

210,241 千円

(拡) (1) 医療助成費（所得制限あり）

201,130 千円

対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。

受診件数見込み 91,071件

(拡) (2) 審査支払手数料

5,844 千円

小児医療証取扱分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金への審査支払手数料

受診件数見込み 91,071件

(括) (3) 事業事務経費 旅費、需用費、委託料、賃借料	3,267 千円
2. 小学生以下	1,586,214 千円
(1) 医療助成費 (所得制限なし)	1,533,346 千円
未就学児分 814,763千円	受診件数見込み 487,596件
小学生分 718,583千円	受診件数見込み 332,076件
(2) 審査支払手数料 件数見込み 812,938件	52,165 千円
(3) 事業事務経費 旅費、需用費	703 千円

[事業費 (事務事業中の重点事業分)]

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
	43,448	210,241	250,303	503,992	

民生費

事業名	子どもの生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 03 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード	3-3-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	9,508		0			9,508
平成30年度	8,124		4,264			3,860
対前年度	1,384		△ 4,264			5,648

【事業概要】

経済的に困難を抱え、養育環境に課題がある家庭の子どもに、夕方から夜までの時間を安心して過ごすことができる場を提供し、基本的な生活習慣の習得、学習習慣の定着、食事の提供等の支援を行うことで、子どもの豊かな人間性や社会性を育む事業を実施する。

1. 子どもの生活支援事業業務委託 9,508 千円
 ≪実施場所≫ 市内2カ所
 ≪実施日数≫ 月12日以上（平日の夜間等に実施）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
8,124	8,124	9,508	8,276	34,032	

民生費

事業名	子ども・若者育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 06 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-3-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	11,385		676			10,709
平成30年度	11,320		800			10,520
対前年度	65		△ 124			189
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				676

【事業概要】

ニート・ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者とその家族を対象に、きめ細かな相談により若者一人ひとりと向き合い、それぞれの状況に応じた自立を支援する事業を実施する。

また、学校教育相談センター等と連携し、中学校卒業後の進路未決定者等について相談等の引き継ぎを行い、切れ目ない支援を実施することで、社会的自立を支援する。

1. 若者サポート事業業務委託 11,385 千円

困難を有する若者や家族からの相談に対して専門スタッフがきめ細かな面談（カウンセリング）を行い、個々の状況に応じた自立に向けて、ユースワークふじさわや関係機関等と連携を図りながら継続的に支援を実施する。

(1) 対象者

市内在住・在勤・在学の概ね15歳から30歳代までの若者とその家族

(2) 支援内容

- ・専門スタッフによる電話・来所・電子メールによる相談、地域出張相談
- ・自立に向けた具体的な個別支援計画の作成
- ・福祉、保健・医療、就労的自立支援等の個別機関・団体等への引き継ぎ及び同行支援
- ・学校教育相談センターや各学校との連携による切れ目ない支援

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
11,666	11,320	11,385	11,385	45,756	

労働費

事業名	就労支援事業費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02			産業労働課		
指針体系コード	3-3-31		まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる		
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	28,532					28,532
平成30年度	22,683					22,683
対前年度	5,849					5,849

【事業概要】

就労支援事業として、困難を有する若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」及び求職者や勤労者を対象とした就労支援・資格取得講座を実施する。また、地域の雇用状況の改善を図るため、求職者を対象として、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

1. 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 17,041 千円
 ニート、ひきこもり等の就労に困難を有する若者の自立に向け、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加、就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。また、その保護者を対象に講演会や相談を実施する。
 - (1) 対象者
市内に在住・在勤・在学の概ね15歳から39歳の若者とその家族
 - (2) 支援内容
 - ①各種相談
・専門スタッフによる相談 ・個別継続支援
 - ②就労準備応援
・社会参加プログラム（コミュニケーションワークショップ、生活・金銭管理講座等）
・就労準備セミナー、職業訓練プログラム（職業適性検査、マナー講座等）
 - ③就労応援
・就労支援プログラム（パソコン教室、職業人セミナー等）
・社会体験（ボランティア体験）、就労体験
 - ④就労後応援・家族応援
・電話・来所・Eメールによる相談・定着支援
・家族交流会や講演会の実施

2. 就労支援・資格取得講座 11,202 千円
 少子高齢化や女性の社会進出など社会情勢にあわせて、就労支援セミナー、資格取得講座及び中高年や女性向けの講座並びに就労支援に向けた事業などを実施する。（藤沢公民館・労働会館等複合施設指定管理者実施事業）

3. 湘南合同就職面接会 289 千円
 藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
16,884	16,884	17,041	17,041	67,850	

教育費

事業名	奨学金給付事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 14			教育総務課		
指針体系コード	3-3-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	5,837				5,520	317
平成30年度	3,403				3,060	343
対前年度	2,434				2,460	△ 26
特定財源の内訳	(その他)	教育応援基金繰入金				5,520

【事業概要】

意欲と能力のある高校生等が、経済的理由により進学を断念することなく、大学等での修学の機会が得られるよう、給付型奨学金制度を実施する。

また、これまでの奨学生の枠に加え、進学先を「医学部・歯学部」に限定した新たな奨学生の枠を設ける。

- (拡) 1. 奨学金の給付 5,520 千円
 平成29年度、30年度に選考した奨学生に対し、授業料相当の学費奨学資金を給付するとともに、面談等により入学後のアフターフォローを行う。
 また、新たな奨学生を募集し、入学金相当の入学準備奨学資金を給付する。
2. 奨学金給付審査委員会委員報酬 148 千円
 奨学生の選考等に関する審査を行う奨学金給付審査委員会委員に対して、日額報酬を支払う。
3. 奨学金関係事務経費 169 千円
 奨学金給付事業に必要な事務用品等

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
963	3,403	5,837	8,759	18,962	

民生費

事業名	子育て関係事務費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 02 説明 04	子育て企画課				
指針体系コード	3-3-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	14,920	0				14,920
平成30年度	13,424	2,250				11,174
対前年度	1,496	△ 2,250				3,746

<拡充事業> 藤沢市子ども・子育て支援事業に関する実施計画の策定

【施策等を必要とする背景】

子ども・子育て支援法第61条第1項の規定に基づき、平成26年度末に策定した現行の藤沢市子ども・子育て支援事業計画が平成31年度末で終期を迎えることから、平成32年度を始期とする新たな5年間の第二期「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の策定が必要である。

また、平成26年1月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行され、本市においても子どもの貧困対策は喫緊の課題であり、子どもが抱える困難の解消を図り、すべての子どもたちが夢と希望をもって成長するために、「（仮称）藤沢市子どもの貧困対策実施計画」の策定が必要である。

【提案に至るまでの経緯】

平成30年9月 「（仮称）藤沢市子どもの貧困対策実施計画」の基礎調査となる「子どもと子育て家庭の生活実態調査」を実施し、子育て世帯の経済状況、生活状況、子どもへの影響、支援ニーズ等を把握
（実態調査の概要）

1. 市立小学校5年生の児童とその保護者、市立中学校2年生の生徒とその保護者及び5歳児の保護者を対象に、アンケート調査を実施
2. 日頃から子どもや子育て家庭の支援に関わっている教員や保育士、施設職員、NPO法人等を対象に、ヒアリング調査を実施

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

藤沢市子ども・子育て会議における協議

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市市政運営の総合指針2020】

- ・藤沢市市政運営の総合指針2020における重点事業の位置づけ

【将来にわたる効果】

子どもの健やかな育ちに対する支援を、生まれる前の妊娠期から就学前、就学後、さらに青年期に至るまで切れ目なく継続的に行うことができる。

【事業概要】

子どもの健やかな育ちに対する支援を、生まれる前の妊娠期から就学前、就学後、さらに青年期に至るまで切れ目なく継続的に行うことを目的に、藤沢市子ども・子育て支援事業に関する実施計画を策定する。

1. 藤沢市子ども・子育て支援事業に関する実施計画策定業務委託 9,316 千円

- ・第二期「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の策定
- ・「（仮称）藤沢市子どもの貧困対策実施計画」の策定

<事業スケジュール（予定）>

- 平成31年3月 子どもと子育て家庭の生活実態調査結果報告書の刊行
- 5月 第二期「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の基礎調査となる「利用希望把握調査」を実施し、幼児教育・保育、放課後児童クラブやファミリー・サポート・センターなどの子育て支援に関する利用状況や潜在的需要、今後の利用意向等を把握
- 12月 第二期「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の素案
「（仮称）藤沢市子どもの貧困対策実施計画」の素案
- 平成32年1月 第二期「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」パブリックコメントの実施
「（仮称）藤沢市子どもの貧困対策実施計画」パブリックコメントの実施
- 2月 第二期「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の案
「（仮称）藤沢市子どもの貧困対策実施計画」の案
- 3月 第二期「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の策定
「（仮称）藤沢市子どもの貧困対策実施計画」の策定

2. その他事務経費

5,604 千円

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
		5,707		5,707	H31年度から重点事業

民生費

事業名	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 23 説明 01		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード	4-1-11		まちづくりテーマ 健康で豊かな長寿社会をつくる		重点施策名 多様な主体による支援の充実	
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	2,205	582				1,623
平成30年度	1,135	582				553
対前年度	1,070	0				1,070
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				582
<p><拡充事業> 支えあいの地域づくりの推進に向けた疑似体験機器（VR）の活用</p> <p>【施策等を必要とする背景】 超高齢社会がさらに進展し、複数の分野にまたがる地域課題が増加する中で、必要な支援や課題を解決するためには、市民一人ひとりが「他人事」ではなく「我が事」として様々な課題を共有し取り組むことが必要であり、その取組として疑似体験機器（VR）を活用し、認知症などの体験を通じながら、地域全体の暮らしを豊かにする支えあいの地域づくりの推進を図る。</p> <p>【提案に至るまでの経緯】 平成30年8月に市職員を対象に認知症当事者の世界を知ることと目的としたVR研修を行った。その後、受講職員による地域におけるVRの活用方法等を検討した。</p> <p>【市民参加の実施の有無とその内容】 有 各地区でのVR体験会及び講義を実施し、地域住民へ認知症等の当事者の視点や感情を自分事として強く実感できるコンテンツの提供等を行う。</p> <p>【市の策定する計画や条例との整合性】 【藤沢市地域福祉計画2020 中間見直し】 藤沢市地域福祉推進ビジョン 一人ひとりが主役 共に支えあい 安心して暮らせるまちふじさわ</p> <p>【将来にわたる効果及び費用】 1. 将来にわたる効果 VRを活用することにより、当事者意識が醸成され、住民主体の活動の推進が図られる。 2. 将来にわたる費用 本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり 平成32年度以降 685千円（拡充分）</p> <p>【事業概要】 誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることができるまちをめざし、市民、地域で活動する団体・事業者等と行政との協働により、13地区ごとの特性を活かした支えあいの地域づくりと、その取組を支える仕組み・連携体制づくりを中心とした、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた施策等に取り組む。 1. 「藤沢型地域包括ケアシステム推進会議」の開催（委員報酬） 777千円 市民、医療・福祉等の関係機関や地域団体の代表者、藤沢市社会福祉協議会や行政の職員で構成する審議会を開催し、藤沢型地域包括ケアシステムの推進における多機関との連携体制やネットワークづくりに向けた意見交換、情報共有を図る（年4回）。 (拡) 2. 藤沢型地域包括ケアシステムの普及啓発 1,428千円 藤沢型地域包括ケアシステムの基本理念を共有し、市民一人ひとりが地域社会の一員として地域づくりについて考え、取り組むきっかけづくりとして、身近なテーマを切り口としたシンポジウムや、VR講座等を開催する。また啓発リーフレット等の作成・配布による普及啓発を図る。 [事業費（事務事業中の重点事業分）]</p>						
平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考	
1,091	1,135	2,205	1,704	6,135		

民生費

事業名	生活困窮者自立支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	49,561	27,897				21,664
平成30年度	119,821	79,536				40,285
対前年度	△ 70,260	△ 51,639				△ 18,621
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				2,499
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				25,398

<拡充事業> 一時生活支援事業の新設

【施策等を必要とする背景】

住居のない生活困窮者であって所得が一定水準以下の者に対する支援について、これまでは生活保護制度を活用した支援に限定されるため、自立するまでに時間を要する傾向にある。

【提案に至るまでの経緯】

一時生活支援事業については、平成29年度に県主導での広域実施をするよう要望書を提出している。それを受け、県は、平成31年度から本事業の実施を希望する市との共同実施を決定した。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市地域福祉計画2020（中間見直し）】

「包括的な相談・支援体制の推進」において、生活困窮者等の自立に向けた生活・就労支援の推進を位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

一時生活支援事業の実施により、生活保護制度の活用だけでなく、多様な支援が可能となる。また、県と共同実施することで、市が事業を単独で行うよりも費用負担の軽減が図られる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり
平成32年度以降 1,786千円（拡充分）

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

1. 自立相談支援事業（必須事業） 5,374 千円
 《事業内容》生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、さまざまな社会資源と連携・協働しながら、相談支援を一体的かつ計画的に行う。
 《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）
 本庁（福祉総合相談支援センター）及び北部福祉総合相談室で実施

2. 住居確保給付金の支給（必須事業） 1,056 千円
 《事業内容》離職者の住居を確保し、就職活動を支えるため、家賃相当額を支給する。
 《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）

3. 就労準備支援事業（任意事業） 14,437 千円
 《事業内容》就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会自立の段階から支援を行う。
 《実施方法》委託事業として実施

4. 家計改善支援事業（任意事業） 8,938 千円
 《事業内容》家計管理に関する相談と指導、及び家計改善の意欲を高める支援を行うとともに、必要な貸付のあっせん等の支援を行う。
 《実施方法》委託事業として実施

5. 学習支援事業（任意事業） 17,970 千円
 《事業内容》市内3地区（北部・東部・西部）を拠点にして、生活困窮家庭の子どもへの学習支援、居場所づくり、及び不登校等の課題を有する子どもに対する支援を、学校等の支援機関と連携して行う。また、保護者を対象とした相談等による生活環境の向上を図るための支援を行う。
 《実施方法》委託事業として実施

- (新) 6. 一時生活支援事業（任意事業） 1,786 千円
 《事業内容》住居のない生活困窮者であって、所得が一定水準以下の者に対し、宿泊場所等を提供するとともに、入所者への自立に向けた相談支援を行う。
 《実施方法》県及び市による広域・共同により、委託事業として実施

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
100,309	119,821	49,561	49,561	319,252	

民生費

事業名	地域生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 01			障がい福祉課		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	605,393	144,786	86,985		7,914	365,708
平成30年度	624,480	143,186	88,181		7,836	385,277
対前年度	△ 19,087	1,600	△ 1,196		78	△ 19,569
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				144,786
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				72,394
	(県支出金)	障がい者地域生活支援関連事業費補助金				14,591
	(その他)	障がい福祉事業所建物賃貸料収入				5,814
	(その他)	地域活動支援センター利用他市負担金				2,100

<拡充事業> 日中一時支援事業の充実

【施策等を必要とする背景】

生活介護サービスの終了後、利用者が夕方に帰宅することになるが、自宅での介護者が就労等により不在である場合、活動終了後の障がい者の安全な過ごし方が課題となっている。

家族の共働きや高齢化を背景として、夕方以降の障がい者の居場所を確保するサービスが求められている。

【提案に至るまでの経緯】

平成29年度に「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」策定のために実施した「パブリックコメント」において、生活介護サービス利用終了後に同一事業所における日中一時支援サービスの利用を可能とし、夕方以降の支援制度を充実させることが求められており、家族会からも同様の要望が提出されている。

また、平成29年度12月議会一般質問や2月議会予算等特別委員会での質問等で度々取り上げられている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」策定における「当事者・家族団体等および福祉事業者向け聞き取り調査」及び「パブリックコメント」

【市の策定する計画や条例との整合性】

「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」第6章「第5期ふじさわ障がい福祉計画」

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- ・夕方以降の支援の場を確保することで、障がい者の日常生活の安定が期待できる。
- ・夕方以降の支援サービスを提供することで、介護者の負担軽減が期待できる。
- ・柔軟な事業運営を可能にすることで、サービス提供事業所の新規参入が促され、社会資源の確保につながる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成32年度以降 50,610千円

【事業概要】

障がい者の自立のため、障がい者総合支援法に基づき、地域の特性や利用者の状況に応じた事業（地域生活支援事業）を実施する。

- | | |
|---|------------|
| 1. 手話通訳等の派遣・設置
聴覚障がい者等に対し、手話通訳者又は要約筆記者の派遣及び配置を行う。 | 8,688 千円 |
| 2. 障がい者相談支援事業の実施
障がい児者及びその家族の地域生活を支援するための相談支援事業を実施する。 | 90,898 千円 |
| 3. 日常生活用具の給付
重度の障がい児者に対して、日常生活を円滑に行うための用具を給付する。 | 98,801 千円 |
| 4. 移動支援事業の実施
屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援を行う。 | 172,548 千円 |
| (拡) 5. 日中一時支援事業の実施
障がい児者の日中活動の場を確保し、一時的な支援を行う。新たに障がい者の夕方以降の支援の場を確保することにより、日常生活の安定と介護者の負担軽減を図る。 | 50,610 千円 |
| 6. 訪問入浴事業の実施
自宅での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴サービスの支援を行う。 | 43,189 千円 |
| 7. 手話講習会事業等の実施
手話講習会、要約筆記体験会を実施する。 | 1,837 千円 |
| 8. 障がい児者一時預かり事業
緊急時に障がい児者を受け入れる一時預かり事業に対して助成を行う。 | 26,943 千円 |
| 9. 障がい者虐待防止センターの運営等
障がい者虐待防止法にかかる普及啓発等を行う。 | 6,969 千円 |
| 10. 地域活動支援センターへの運営費等の助成 | 101,370 千円 |
| 11. 市外の地域活動支援センター利用に対する負担金 | 2,100 千円 |
| 12. 居室確保事業
介護者の不在等、緊急的に宿泊を伴う支援の必要が生じた際の一時的な居室を提供する。 | 1,440 千円 |

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
81,986	89,452	90,588	107,831	369,857	

民生費

事業名	介護人材育成支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01	介護保険課				
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	15,023					15,023
平成30年度	15,023					15,023
対前年度	0					0

<拡充事業> 介護ロボット導入及びレベルアップ研修支援の充実

【施策等を必要とする背景】

介護サービスの見込量等により国が推計した介護人材の必要数については、2025年までに毎年6万人程度の確保が必要とされている。

そのため、国では、人材確保に向けた取組として、介護現場における介護ロボットの活用を推進させていくとともに、多様な人材の参入を促進するため、外国人が介護業務に従事するなどして在留資格が得られる仕組みづくり等の取組を進めている。

【提案に至るまでの経緯】

支援の充実に向けて、国の動向を注視しつつ、介護サービス事業者に対するアンケート調査や藤沢市高齢者施策検討委員会等での意見等を踏まえながら検討してきた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

- ・いきいき長寿プランふじさわ2020
- ・藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- (1) 介護ロボットの導入に伴う介護従事者の負担軽減を図ることで、働きやすい職場環境が整備され、介護従事者の離職防止へとつながる。
- (2) 外国人に対する日本語能力等の向上に向けた研修を支援することにより、介護サービスの向上と働きやすい職場環境づくりにつながり、介護人材の確保及び定着が図られる。

2. 将来にわたる費用

労働環境改善のため、ロボット導入を希望する事業者が増えると見込まれ、また介護従事者のレベルアップ研修支援が必要とされるため今後も継続した財政負担が必要となる。

【事業概要】

高齢者一人ひとりの状況に応じた適切な介護サービスを継続的に提供できる体制づくりを支援するため、介護職員初任者研修の受講者支援及び特別養護老人ホーム、地域密着型サービス事業所等の介護職場における介護人材の確保と技能の向上を目的に、各種助成事業を行う。

1. 介護職員初任者研修受講料助成事業 400千円
介護職員初任者研修受講者を対象として、研修修了後、一定の就労要件を満たした場合に受講料の一部を助成する。(研修受講料の2分の1以内・上限2万円)
2. 特別養護老人ホーム等人材育成定着事業 11,855千円
市内で特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び介護老人保健施設を運営する法人に対し、介護職員の資格取得や研修への参加、職員募集に関する事業及び介護ロボットの導入に係る費用の一部を助成する。(1施設当たり上限100万円)

- (1) 介護職員等資格取得支援事業 (費用の3分の1以内)
- (2) 介護職員等レベルアップ研修支援事業 (費用の2分の1以内)
- ※外国人職員の質的向上に向けた研修の実施
- (3) 介護職員等募集支援事業 (費用の2分の1以内・上限30万円)
- (4) 介護ロボット導入支援事業 (費用の2分の1以内・上限30万円)

3. 地域密着型サービス事業所人材育成定着事業 2,768 千円
 地域密着型サービス事業所を運営する法人に対し、介護職員の資格取得、研修への参加及び介護ロボットの導入に係る費用の一部を助成する。(1事業所当たり上限10万円)

- (1) 介護職員等資格取得支援事業 (費用の3分の1以内)
- (2) 介護職員等レベルアップ研修支援事業 (費用の2分の1以内)
- ※外国人職員の質的向上に向けた研修の実施
- (3) 介護ロボット導入支援事業 (費用の2分の1以内)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
12,046	15,023	15,023	15,328	57,420	

民生費

事業名	成年後見制度等推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 19 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード	4-1-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
重点施策名		多様な主体による支援の充実				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	37,433	3,875	6,441			27,117
平成30年度	29,711	1,584	4,672			23,455
対前年度	7,722	2,291	1,769			3,662
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				3,804
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				71
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				1,902
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金(介護分)事業費補助金				4,539

<拡充事業> 成年後見制度利用促進に向けた中核機関としての機能の充実

【施策等を必要とする背景】

高齢化が急激に進み世帯構成が大きく変わりつつあるなかで、高齢者や障がいのある人の単身世帯や障がいのある子と高齢の親等の世帯も増えていることから、誰もが医療・介護・福祉等、生活の基本となるサービスを適切に利用できるよう、地域で支える必要が生じている。

こうした、自ら声を上げにくい人の権利擁護や意思決定のための支援を充実させ、自分らしい生活を続けるための支援体制の構築が重要である。

また、平成29年3月に閣議決定された「成年後見制度利用促進基本計画」においては、市町村は国の計画を勘案した施策推進のための計画を定め、平成33年度までに権利擁護支援のための地域連携ネットワークの構築とその中核機関を設置するよう努めることが求められている。

本市においては藤沢市社会福祉協議会に設置されている「ふじさわあんしんセンター」と役割分担をしながら、成年後見制度利用促進のための中核機関や地域連携ネットワークとしての基本的な取組がされていることから、これを土台とした機能充実を図る必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成29年4月 国、県等からの情報収集、家庭裁判所との意見交換によるニーズ把握
- 平成30年6月 藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会、藤沢市地域福祉計画推進委員会で、検討の方向性について説明
- 平成30年7月 藤沢市権利擁護ネットワーク連絡会に検討会を設置・検討

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

関係機関、弁護士等の士業関係者、当事者家族等からなる「藤沢市における成年後見制度利用促進に関する検討会」を藤沢市社会福祉協議会ふじさわあんしんセンターとの協働により設置し中核機関や地域連携ネットワークのあり方について検討

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市地域福祉計画2020(中間見直し)】

藤沢市地域福祉計画2020において、施策の方向性として成年後見制度の充実を位置付け、施策の展開に、利用促進に向けた取組や地域連携ネットワークづくりを進める、としている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

認知症や障がいなどによって判断力が不十分となった場合でも、本人と成年後見人等を関係者・関係機関等によりチームで支援できる体制をつくることで、安全で安心かつ本人の意思を尊重した生活が継続できるようになる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

平成32年度以降 7,591千円(拡充分)

【事業概要】

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発、また相談・支援体制の充実を図ることにより、判断能力が十分でない高齢者や障がいのある人が、適切にサービスを利用し、安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的とし、成年後見制度利用支援事業の実施及び藤沢市社会福祉協議会内に設置している「ふじさわあんしんセンター」への助成等を実施する。

1. 市民後見人養成事業業務委託 4,683 千円
 適正かつ安定的に権利擁護の推進を図るため、市民後見人の育成及び活用に向けた基盤整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施

- (拡) 2. 成年後見制度利用促進事業業務委託 7,591 千円
 中核機関としての機能である権利擁護の地域連携ネットワークの充実やチーム支援のモデル実施など、成年後見制度利用促進に向けた体制整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施

3. ふじさわあんしんセンターに対する人件費補助 19,342 千円
 ふじさわあんしんセンターにおける成年後見制度利用支援体制の構築に係る補助

4. 日常生活自立支援事業に対する補助 500 千円
 ふじさわあんしんセンターで実施している、日常生活自立支援事業に対する事業費補助

5. 障がい者を対象とする成年後見制度利用支援事業 5,317 千円
 市長申立てによる審判請求
 親族等の申立てによる審判請求に係る手続費用の支援
 成年後見人等への報酬助成

※ 高齢者を対象とする成年後見制度利用支援事業は、介護保険事業費特別会計にて実施

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
		7,591	7,921	15,512	H31年度から重点事業

事業名	(新) 包括的支援体制推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 02			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード	4-1-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	84,140	60,683				23,457
平成30年度	0	0				0
対前年度	84,140	60,683				23,457
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				34,448
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				26,235

【施策等を必要とする背景】

「藤沢型地域包括ケアシステム」では、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等すべての市民を対象とすることを基本理念の一つとし、13地区の特色にあわせそれぞれの地域の課題に対するきめ細かな対応を掲げている。そのため、各地区においてその特色を生かし、地域のニーズに即した支えあいの地域づくりを関係機関・地域団体等と協力して進めていくコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置地区の拡大が必要となっている。

【提案に至るまでの経緯】

- 平成28年4月 藤沢市社会福祉協議会に自立相談支援事業を委託し、「バックアップふじさわ社協」を開設するとともに、3地区（六会、湘南大庭、鶴沼）にモデル配置
- 平成29年4月 新たに2地区（村岡、長後）に配置し、計5地区に配置
- 平成30年4月 新たに3地区（善行、辻堂、御所見）に配置し、計8地区配置

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市地域福祉計画2020（中間見直し）】

「地域福祉を推進するためのコーディネーターとなりうる人材の育成・確保」「地域における福祉相談窓口の充実」にCSWの配置、活動を位置づけている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果
CSWの配置を拡充することにより、困難を抱えた人の早期把握と各地区の様々な支援機関との連携による包括的な相談支援が可能となるとともに、支えあいの地域づくりにもつながり地域の特性を生かした藤沢型地域包括ケアシステム推進の一助となる。
2. 将来にわたる費用
CSWの配置拡充にともない事業費の増額が見込まれる。

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を藤沢市社会福祉協議会への業務委託により実施する。
 なお、本事業の実施により、CSWを11地区に配置する。

- (拡) 1. 自立相談支援事業 (必須事業) 45,932 千円
 《事業内容》生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、地域の中で孤立する世帯に対しても専門的な支援につなげる個別支援を行うとともに、地域の様々な活動団体に対する支援を行うことで、地域の特性を生かした地域づくりを行う。
 《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ社協」
2. 共助の基盤づくり事業 (任意事業) 9,686 千円
 《事業内容》身近な地域で誰もが安心して生活していくために、住民相互の支えあいによる共助の取組を活性化し、これらを地域全体で支える基盤を構築する。
3. 多機関の協働による包括的支援体制構築事業 (任意事業) 18,198 千円
 《事業内容》多分野にわたる相談支援機関の連携体制及び多職種間の連携・協働の体制を構築し、複合的な課題を抱える者に対する支援をコーディネートする。
- (拡) 4. 地域力強化推進事業 (任意事業) 10,324 千円
 《事業内容》住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりを支援し、その活動を通して把握された個別課題を包括的に受け止め、必要に応じて支援機関につなぐことができる体制を構築する。

(参考) 本委託業務の実施体制

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
主任相談支援員	1 人	1 人	1 人	1 人
相談支援員 (※)	3 人	5 人	8 人	11 人
配置地区	3 地区	5 地区	8 地区	11 地区

※相談支援員はCSWとして配置し、平成31年度からは第2層生活支援コーディネーター(介護保険事業費特別会計)を兼務する。

(前年度の生活困窮者自立支援事業費及び地域の縁側等地域づくり活動支援事業費から分離した事業)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
		84,140	91,640	175,780	H31年度から重点事業

衛生費

事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01	健康増進課				
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	96,368	7,242	2,441			86,685
平成30年度	79,586	1,313	2,441			75,832
対前年度	16,782	5,929	0			10,853
特定財源の内訳	(国庫支出金)	受動喫煙対策促進事業補助金				1,340
	(国庫支出金)	地方創生推進交付金				4,614
	(国庫支出金)	国民健康・栄養調査委託金				1,288
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441

【事業概要】

健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

1. 健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うための会議の開催 1,772 千円
健康づくり推進会議、タバコ対策協議会、食育推進会議、歯科保健推進会議
2. がん対策や健康づくり、生活習慣病予防等に関する各種事業の実施 71,682 千円
健康増進計画（第2次）等に基づき、身体活動・運動、栄養・食生活、歯・口腔等、健康づくりに関する7分野の普及啓発、人材育成等の各種事業を実施する。
 - ・健康づくりに関する健康教育や健康相談の実施
 - ・保健医療センターの専門職による健康増進事業の実施
 - ・市民活動団体の育成及び健康づくり応援団事業の実施
 - ・健康づくりに関する普及啓発の実施
3. 健康増進計画（第2次）の中間評価及び食育推進計画の改定 8,718 千円
4. 健康増進法に基づく国民健康・栄養調査の実施 1,306 千円
- (拡) 5. 健康増進法に基づく受動喫煙防止対策及びタバコ対策事業の実施 3,221 千円
- (拡) 6. 健康寿命日本一をめざすリーディングプロジェクトの推進 9,669 千円
 - ・ふじさわ夢チャレンジ2020の実施

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
75,576	79,586	96,368	86,477	338,007	

衛生費

事業名	がん検診事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03			健康増進課		
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
区分	事業費	重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	673,007	2,361				670,646
平成30年度	676,466	2,434				674,032
対前年度	△ 3,459	△ 73				△ 3,386
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				2,361
【事業概要】						
<p>がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。</p> <p>特に女性のがんについては、国の補助による無料クーポン券の配布を継続するとともに、検診車によるマンモグラフィ検診の実施により普及啓発を図る。</p>						
<p>1. 胃がん検診（実施期間4月～3月） 87,743 千円 40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。 自己負担額は3,000円（70歳以上は無料）</p>						
<p>2. 胃がんリスク検診（実施期間6月～10月） 13,585 千円 40・45・50・55・60・65・70歳の市民を対象に採血による検診を行う。 自己負担額は1,000円</p>						
<p>3. 子宮頸がん検診（実施期間4月～3月） 187,904 千円 20歳以上の女性市民を対象に細胞診検診を行う。 自己負担額は2,000円（無料クーポン券対象の20歳と70歳以上は無料）</p>						
<p>4. 乳がん検診（実施期間4月～3月） 114,979 千円 40歳以上の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。 自己負担額は40歳～49歳まで（2方向撮影）は3,000円（無料クーポン券対象の40歳は無料）、50歳以上（1方向撮影）は1,800円（70歳以上は無料）</p>						
<p>5. 肺がん検診（実施期間6月～10月） 138,276 千円 40歳以上の市民を対象に胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。 自己負担額は600円（70歳以上は無料）</p>						
<p>6. 大腸がん検診（実施期間6月～10月） 47,417 千円 40歳以上の市民を対象に便潜血反応検査による検診を行う。 自己負担額は600円（70歳以上は無料）</p>						
<p>7. 前立腺がん検診（実施期間6月～10月） 31,137 千円 50歳以上の男性市民を対象にPSA検査による検診を行う。 自己負担額は1,000円</p>						
<p>8. マンモグラフィ検診車による集団検診の実施 3,001 千円</p>						
<p>(新) 9. がん検診デジタル読影の実施 18,888 千円 胃がん、乳がん、肺がんの各検診の二次読影においてデジタル化を導入し、精度管理の向上を図る。</p>						
<p>10. その他事務経費 30,077 千円 賃金、消耗品費、印刷製本費他</p>						
〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕						
平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考	
14,989	14,769	13,585	13,582	56,925		

土木費

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	339,370	18,000		210,500		110,870
平成30年度	185,283	16,000		39,000		130,283
対前年度	154,087	2,000		171,500		△ 19,413
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				18,000
	(地方債)	公園建設事業債				78,600
	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				131,900

【事業概要】

市民が公園を安全・安心に利用できることを目的とし、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、「藤沢市健康増進計画」に基づき、健康遊具を増設する。

また、土砂災害警戒区域内に位置する公園の法面について、利用者等の安全確保のため、対策工事を行う。

1. 公園施設の老朽化等対策 207,403 千円
 - (1) 委託料 5,278 千円
 - ・都市公園遊具点検業務委託（269公園）
 - 遊具に起因する事故の発生を未然に防ぐため、国の指針に基づき定期点検を行う。
 - (2) 工事請負費 155,276 千円
 - ・遊具改修工事（唐池公園他5公園）
 - ・施設改修工事（新林公園他2公園）
 - ・公園内健康遊具増設工事（高根公園他8公園）
 - (3) 施設修繕費 31,079 千円
 - 劣化が進んでいる遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
 - (4) 役務費 11,479 千円
 - 市の花であるフジについて、剪定等の管理を実施し、保護及び育成を図る。また公園の適正な維持管理を行うために、老朽化した施設の撤去や樹木の剪定などを行う。
 - (5) 事務経費 4,291 千円
2. 法面对策 131,967 千円
 - 工事請負費
 - ・法面对策工事（大庭城址公園）
 - 土砂災害警戒区域内の法面について、対策工事を行う。



施工前



施工後

(参考) 遊具改修工事施工イメージ

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
156,095	185,283	339,370	296,972	977,720	

総務費

事業名	市民活動支援施設運営管理費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 02	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	59,682				66	59,616
平成30年度	59,124				60	59,064
対前年度	558				6	552
特定財源の内訳	(その他)	光熱水費実費収入				60
	(その他)	その他雑入				6

【事業概要】

市民活動の自立を推進し、市民活動が活発に行われることを目的として、公益的な市民活動を行い、または行おうとする市民活動団体及び個人を対象に、市民活動の場の提供、情報提供、相談、人材育成等を行う。

- 1. 市民活動推進センター（本館）運営管理 44,744 千円
 - ・賃借料 21,182 千円
 - ・指定管理者による管理運営（指定管理料） 21,000 千円
 - ・その他管理運営費（光熱水費、電信電話料等） 2,562 千円
- 2. 市民活動プラザむつあい（分館）運営管理 14,938 千円
 - ・指定管理者による管理運営（指定管理料） 14,759 千円
 - ・その他管理運営費（電信電話料等） 179 千円



市民活動推進センター



市民活動プラザむつあい

（市民活動に関する学習機会の開催「プラザde学ぶ」）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
59,331	59,124	59,682	73,394	251,531	

総務費

事業名	公益的市民活動助成事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 04	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	2,295					2,295
平成30年度	2,000					2,000
対前年度	295					295

【事業概要】

市民活動の活性化を図るため、市内で活動する市民活動団体等の組織基盤を強化する取組を対象に、公開プレゼンテーション等による審査選考により団体を選定し、助成を行う。

1. 公益的市民活動に係る助成のための経費 1,500 千円
 市民を対象とした公益的な市民活動を行う団体の組織基盤の強化を図る取組を対象として助成を行う。1団体2回まで。

〔一般の団体〕

限度額30万円、補助率は団体の予算額の50%以内。

ただし、設立3年未満で初めて助成を受けようとする団体については、補助率は団体の予算額の80%以内。

〔若者を中心とする団体〕

限度額15万円、補助率は団体の予算額の90%以内。

2. 活動中の支援のための経費 795 千円
 助成団体に対し、先進事例を視察するための経費の助成や組織基盤強化に向けた伴走支援を行う。
- ・視察補助金（限度額5万円） 300 千円
 - ・伴走支援業務委託 495 千円



公開プレゼンテーションによる中間報告会



伴走支援講座

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
2,000	2,000	2,295		6,295	

総務費

事業名	市民協働推進関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 06	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	9,898					9,898
平成30年度	7,967					7,967
対前年度	1,931					1,931

【事業概要】

多様な主体との共感によるマルチパートナーシップの考え方に基づいて、市民活動団体等と行政との協働による施策・事業を進めるため、市民活動団体等から事業アイデアの募集を行うとともに、これまでに採択した事業を実施する。

- 協働によるまちづくりの推進 105 千円
・協働コーディネーター謝礼
- 「藤沢市まちづくりパートナーシップ事業」提案制度の実施 9,793 千円
市民活動団体等の公共サービスへの参入機会拡充を目的として、地域課題等を解決するための事業アイデアの募集を行うとともに、提案団体と市が協働して採択事業を実施する。

(実施事業)

平成30年度～平成31年度（平成29年度採択）

種別	事業名	実施団体	担当課
テーマ設定型	予告篇で盛り上げる東京2020オリンピック競技大会セーリング競技江の島開催	NPO法人 湘南遊映坐	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室
自由提案型	藤沢市ジュニアアスリートスポーツ栄養講座～めざせ東京2020オリンピック・パラリンピック～	特定非営利活動法人 湘南栄養指導センター	スポーツ推進課

平成31年度（平成30年度採択）

種別	事業名	実施団体	担当課
テーマ設定型	大学生と市民協働 藤沢地域の魅力・課題発見 映像制作プロジェクト	特定非営利活動法人 湘南市民メディアネットワーク	市民自治推進課
自由提案型	藤沢市内を繋ぐ「歴史的建造物と景観を守り育てる」ヘリテージ活動推進・利活用イベント事業	湘南藤沢文化ネットワーク	郷土歴史課 街なみ景観課
自由提案型	東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、江の島における平成の強力（ごうりき）を復活させて、観光や災害時に必要なバリアフリー化の一役を担う！	特定非営利活動法人 湘南ウォーターセーフティ協会	観光シティプロモーション課
自由提案型	農福連携トレーナー育成事業 ～福祉・医療分野に農作業を～	特定非営利活動法人 農スクール	地域包括ケアシステム推進室 農業水産課

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
9,021	7,967	9,898		26,886	

民生費

事業名	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード	4-3-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	30,530	9,209				21,321
平成30年度	36,002	12,598				23,404
対前年度	△ 5,472	△ 3,389				△ 2,083
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				9,209

【事業概要】

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。また、「地域の縁側」の目標数は、基幹型（既存4カ所）を含め、基本型、特定型を合わせた40カ所とし、支援を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 26,614 千円
(単位：千円)

補助メニュー		団体数	予算額
(括)	地域の縁側事業 「基本型」…誰もが気軽に立ち寄り、交流や相談ができる居場所	22 (5)	10,378
	「特定型」…特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	9 (0)	
	地区ボランティアセンター事業 地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした地域支えあい活動の拠点	12	13,786
	安全・安心ステーション事業 地域における防犯意識の高揚、地域住民による防犯活動の拠点	7 (1)	2,450

団体数のうち、() は新規団体の見込み数

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 3,916 千円

- (1) 地域の縁側ポイント支援金 137 千円
地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対してポイントを付与し、活動者からの申請に基づき1ポイント100円で支給する。(上限5,000円)
- (2) 地域の縁側周知用リーフレットの作成 20 千円
- (3) 地域の縁側活動支援事業 3,759 千円
地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を藤沢市社会福祉協議会と協働して支援するため、活動支援業務を委託する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
38,003	36,002	30,530	33,605	138,140	

総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01	六会市民センター				
指針体系コード	4-3-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,576					1,576
平成30年度	1,224					1,224
対前年度	352					352

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、地域力を生かした様々なまちづくり事業を行う。

1. 花の植栽活動による美しいまちづくり事業 278 千円
 地区内の公園、小・中学校、特別支援学校及びボランティア団体への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」を行い、自然とのふれあいを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。
 ・花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）
2. 交通不便地区解消検討事業 10 千円
 西俣野地区で運行する予約型乗合タクシーの利用者拡大を図るためチラシを作成する。
 ・チラシ作成（消耗品費）
3. 六会人材センター推進事業 1,053 千円
 地域の人材発掘を行うとともにボランティア先とのコーディネート事業等を行い、住民相互のつながりを深め、地域活動の推進を図る。
 ・六会人材センター運営（委託料）
4. 六会まちおこし活動支援事業 235 千円
 地域の子どもから高齢者・障がい者まで楽しめるイベント等の掘り起こしや支援を行い活気あるまちづくりを目指す。また、六会日大前駅ロータリーに12月から1月にかけてイルミネーションを設置する。
 ・イルミネーションの設置（光熱水費・手数料）

 [他の予算科目に計上]

- 公園提案事業 (8,877 千円)
 子どもから高齢者・障がい者まで安心して遊び、憩うことができる公園にするため、郷土づくり推進会議から提案された公園改修工事を行う。
 ・田島山公園：遊具等の改修（工事請負費）
 ※予算は、公園改修費に計上

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
1,534	1,224	1,576	1,723	6,057	

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	4-3-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	2,140					2,140
平成30年度	2,524					2,524
対前年度	△ 384					△ 384

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,652 千円
 地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動をつなぐコーディネート事業やボランティア活動への関心を醸成する機会となる講演会などを企画・実施する。
 ・コーディネーター謝礼、事務費（委託料）
2. まちかど相談事業 206 千円
 子育て世代や高齢者などの生活支援の充実を図るため、身近な地域の居場所等を活用し臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。
 ・臨床心理士謝礼、交通費（補助金）
3. 民俗文化財等継承事業 46 千円
 制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、更なる普及・発展を図るため、体験会や大会用のこまを購入する。
 ・片瀬こま（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 52 千円
 日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。
 ・花苗、肥料、上下水道代等（消耗品費・光熱水費）
5. 江の島道の整備事業 184 千円
 旧江の島道の史跡の周辺整備等を実施し、景観の向上を図る。
 ・史跡周辺の整備（施設修繕費）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
3,204	2,524	2,140	2,758	10,626	

総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 03	明治市民センター				
指針体系コード	4-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,101					1,101
平成30年度	1,140					1,140
対前年度	△ 39					△ 39

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、明治地区のまちづくり事業を実施する。

1. 歴史・文化継承事業 753 千円
 明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し実施する。
 明治地区の郷土の偉人である小笠原東陽の書物、書簡を調査し、その内容を記録して現代人にもわかりやすい形で報告書としてまとめることで、地域、次世代への継承を図る。
 ・明治郷土史料室の運営（委託料）
 ・小笠原東陽に係る書物等資料の調査（報償金・消耗品費・通信運搬費郵便料）
2. 明治地区マナーアップ推進事業 82 千円
 自転車運転、歩きタバコ、ごみのポイ捨て等、様々な分野で地域のマナー向上を図るため、地域団体や住民・学校等が連携し、地域一丸となり街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を実施する。
 ・啓発グッズ、ポスター等（消耗品費）
3. 子育て支援充実事業 216 千円
 明治地区内の子育てグループやフリースペースにここに、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。
 ・シンポジウム謝礼、ポスター作成等（報償金・消耗品費・印刷製本費）
4. 明治地区健康体操推進事業 50 千円
 明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。
 ・チラシ作成（消耗品費）



歴史・文化継承事業
(企画展「わがまちの文化展」)



子育て支援充実事業
(明治発！子育て応援メッセ)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
1,617	1,140	1,101	1,907	5,765	

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 04	御所見市民センター				
指針体系コード	4-3-81	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	995					995
平成30年度	598					598
対前年度	397					397

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、地域資源を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 田園パーク構想推進事業

995 千円

御所見地区の活性化を促進するため、地域団体やボランティアと連携して、少年の森を拠点とした散策ルートの整備を進めるとともに、地区内の農畜産物を使用した「御所見グルメ」の更なる定着及び新たな「御所見ブランド」の創出を目指す。

また、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備を進める。

- ・花の植栽活動（消耗品費）
- ・環境整備に関するチラシの作成（印刷製本費）
- ・地域の魅力発信に向けたふるさとマップの作成（印刷製本費）
- ・散策ルートの整備、御所見グルメのPR活動等（補助金）



花の植栽活動（少年の森入口付近）



御所見グルメPR活動

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
598	598	995	598	2,789	

総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	4-3-91	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	694				337	357
平成30年度	892				309	583
対前年度	△ 198				28	△ 226
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				337

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「人と自然がいきづくまち」夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりを推進する。

1. 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 89 千円
 高齢者が地域で安心して暮らし続けられるように構築した「高齢者見守りネットワーク」を広く地域住民・関係機関等に周知するため、リーフレットを作成し、配付する。
 ・リーフレット作成（印刷製本費）
2. 自然環境推進事業 89 千円
 地域と市が一体となり都市公園として整備したいけのかしら公園において、遠藤の農産物等をPRするとともに地域交流の場とするため、遠藤朝市を開催する。
 環境保全活動等の後継者を育成するため、児童生徒やその保護者等を対象に、地区の自然に触れあいながらの散策及び環境美化等の環境保全活動を行う。
 ・遠藤朝市の実施（補助金）
 ・環境保全活動の実施（報償金・消耗品費）
3. 遠藤魅力アップ推進事業 366 千円
 2市1町広域連携による小出川彼岸花まつりをはじめ、竹炭祭、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計11基）を設置する。
 ・仮設トイレ設置、汲み取り（賃借料・手数料）
4. 地域活動の広報充実事業 150 千円
 遠藤地区のPRを行うため、地区内児童生徒の視点で描く遠藤の自然や風景、農産物、お祭等をテーマとしたポスターを募集して「わがまち遠藤ポスターコンクール」を開催する。
 ・わがまち遠藤ポスターコンクールの実施（補助金）



高齢者見守りネットワーク体制推進事業
(高齢者見守りネットワークリーフレット)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
244	892	694	794	2,624	

総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	4-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,316					1,316
平成30年度	1,395					1,395
対前年度	△ 79					△ 79

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

1. 健康づくり普及事業 150 千円
 地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施する。
 ・健康づくりに関する講座の実施（報償金・消耗品費）
2. 長後すくすく応援事業 120 千円
 子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が一堂に会し、長後版の子育てメッセを実施する。
 ・「長後子育てメッセ」の実施（補助金）
3. 地産地消推進事業 160 千円
 地元農家や飲食店等と協力し、地場産の野菜や果実を用いた食品を販売する地産地消イベントを行うことで、商店街の活性化及び地産地消の推進に取り組む。
 ・地産地消イベント「長後を食べよう！」の実施（補助金）
4. 地域人材発掘・育成事業 40 千円
 地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成といった課題を解消するため、地域活動・ボランティア活動に係る情報交換の場をつくり、調査研究する。
 ・人材発掘・育成に関するイベントの実施（報償金）
5. ちよご見守りネットワーク事業 160 千円
 住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図る。
 ・チラシの作成（印刷製本費）
6. 観光・歴史資源開拓事業 531 千円
 地区内の名所、旧跡の説明板の整備等を行う。
 ・名所・旧跡説明板の設置、リーフレットの作成（施設修繕費・印刷製本費）
7. 交通手段支援事業 35 千円
 長後地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行う。
 ・住民ニーズの調査（消耗品費）
8. 花いっぱい運動推進事業 120 千円
 花フェスタの開催、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等を行い、花があふれる地域づくり活動を行う。
 ・花の広場の管理、プランターへの植栽等（補助金）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
1,541	1,395	1,316	1,315	5,567	

総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 07	辻堂市民センター				
指針体系コード	4-3-111	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	942					942
平成30年度	942					942
対前年度	0					0

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち”湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施する。

1. 辻堂交流事業 209 千円

地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施する。

- ・環境美化活動に関する用具、花苗等（消耗品費）
- ・伝統文化継承に関する講座講師謝礼（報償金）
- ・チラシ作成（消耗品費）

2. 暮らし安心・安全事業 733 千円

地域住民の不安解消、健康増進及び新たなまちの魅力を創出するための活動支援等を実施する。

- ・防災に関する講演会講師謝礼（報償金）
- ・福祉、健康に関する講演会講師謝礼（報償金）
- ・まちづくりに関する講演会講師謝礼（報償金）
- ・こども見守り啓発物品（消耗品費）
- ・チラシ作成（消耗品費）



辻堂交流事業
(住民参加による環境美化活動の実施)



暮らし安心・安全事業
(津波避難体験の開催)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
942	942	942	942	3,768	

総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 08	善行市民センター				
指針体系コード	4-3-121	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,211					1,211
平成30年度	1,098					1,098
対前年度	113					113

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、地域の特性を生かしたまちづくり事業を推進する。

1. 広報・地域活動ネットワーク構築事業 693 千円
郷土づくり推進会議の活動を地区住民に周知する。また、地域で活動する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援するとともに周知・啓発を図る。
・地区内への広報、情報発信に要する紙代等及び広報紙作成（消耗品費・印刷製本費）
・地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）
2. 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業 151 千円
坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる人に対する移動手段の運営を支援する。
・地区内への交通不便解消に向けた情報発信に要する紙代等（消耗品費）
・地域移動支援情報リーフレットの作成（印刷製本費）
3. 地域共生社会の構築事業 31 千円
藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支え合いの地域づくりに向けて、地域における様々な福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行う。
また、こうした活動を通じて、良い取組を地区内に広げていくことを推進していく。
・地区内への地域福祉に関する情報の発信や広報に要する紙代等（消耗品費）
4. 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業 336 千円
市民センターの改築、善行駅周辺のバリアフリー化、県立体育センターの再整備等のハード整備や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、善行地区の活性化を図るための取組を支援・推進する。
・地区内への活性化事業の周知や啓発のためのチラシなどの紙代等（消耗品費）
・地域活性化事業の周知ポスター等の作成（印刷製本費）
・地域活性化に向けた啓発案内表示等の設置（手数料）



地域活性化に向けた取組の支援・推進事業
地域の魅力を発信する事業を検討、実施
(写真はイメージ:「おばあの市場」)



地域共生社会の構築事業
地域における福祉推進への取組
(写真は「団地の井戸端会議」)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
1,513	1,098	1,211	2,000	5,822	

総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	4-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	459					459
平成30年度	447					447
対前年度	12					12

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現を目指して、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 健康なんでも相談事業 270 千円
 地域における健康長寿社会の実現に向けて、健康増進への意欲を高め、生き生き健康のまちづくりを推進するため、医療相談支援事業を行う。
 - ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの人件費及び運営に関する経費（委託料）
 - ・健康増進講習会の講師謝礼（報償金）
2. 地域のゴミゼロ運動推進事業 160 千円
 地域内の3つの関係団体が連携しながら一緒に実施している地域の環境美化活動「ポイ捨て無くし隊」を支援し、参加者の拡充を図る。
 - ・消耗品、事務費等（補助金）
3. 健康体操普及推進事業 29 千円
 健康体操の自主グループの育成・支援を行い、地域における健康体操の普及を図る。
 - ・CDラジカセ購入等（消耗品費）

 [他の予算科目に計上]

- 歩行空間バリアフリー事業 (2,192 千円)
 高齢者・障がい者など誰にでも優しい歩行空間を整備するため、歩道の段差の解消とバリアフリー化を進める。
 - ・歩車道境界ブロック改修（施設修繕費）
 ※予算は、道路改修舗装費に計上
- 街路樹景観保全事業 (3,351 千円)
 辻堂駅遠藤線（中央けやき通り）の景観を長く維持保全するため、けやきを良好な状態に保つ景観保全事業を実施する。
 - ・けやき並木の剪定、落枝防止（手数料）
 ※予算は、道路維持管理業務費に計上
- 健康増進公園改修事業 (2,717 千円)
 生き生き健康のまちづくりを推進するため、日頃から健康づくりを身近なところで行えるよう健康増進公園の整備を図る。
 - ・舟地藏公園に健康遊具を設置（工事請負費）
 ※予算は、公園改修費に計上

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
553	447	459	940	2,399	

総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	4-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,271				1,271	
平成30年度	1,301				1,301	
対前年度	△ 30				△ 30	
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,271

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」の実現に向けた取組として、湘南台地域まちづくり事業を実施する。

1. ようこそ先輩 in 湘南台事業 19 千円
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、先輩講師との交流事業「ようこそ先輩 in 湘南台」を開催する。
 ・ ようこそ先輩 in 湘南台開催経費（報償金・消耗品費）
2. 緑の回遊路事業 94 千円
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業を開催する。
 ・ ウォークイベント開催経費（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育てネットワーク事業 238 千円
 地域の子育て環境の向上を図るため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、各種子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行う。
 ・ 湘南台子育て応援メッセ開催補助（補助金）
4. 地域サポーター育成事業 220 千円
 地域活動を支える人材不足の解消を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、さまざまな地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座「ゆめまる地域塾」を開催する。
 ・ 地域サポーター養成講座開催業務委託（委託料）
5. 文化創造事業 700 千円
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組の一つとして、湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図りながら、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを開催する。
 ・ 駅地下イベント広場活用運営等業務委託（委託料）



地域サポーター育成事業
(ゆめまる地域塾の開催)



文化創造事業
(湘南台マンガてんこ盛り展の開催)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
1,241	1,301	1,271	3,770	7,583	

総務費

事業名	鶴沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鶴沼市民センター				
指針体系コード	4-3-151	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,415					1,415
平成30年度	1,431					1,431
対前年度	△ 16					△ 16

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鶴沼」を実現するため、地域力を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. 鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業 756 千円
 地域のボランティアとの温かいふれあいを通じて、子どもたちの豊かな感性を育むため、学習・遊び・運動等を取り入れて、小学生の放課後の居場所づくりを行う。
 対象は、地域の小学3～6年生で、それぞれ週1回実施する。
 ・スタッフ謝礼、施設入場料、イベント時の昼食・交通費、教材、チラシ等作成
 (報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費・使用料)
2. 鶴(くぐい)まつり事業 431 千円
 地域活性化や地産地消を進めるため、鶴沼運動公園芝生広場において、地域団体や地元サークル、物販・飲食店等が参加する地域住民主体のまつりを行う。
 ・チラシ・ポスター作成、会場運営費(印刷製本費・補助金)
3. 認知症対策事業 228 千円
 認知症になっても安心して住み続けることができる地域づくりを進めるため、認知症への理解を深めるための講演会や啓発等を行う。
 ・講演会等講師謝礼、啓発物品、チラシ作成(報償金・消耗品費・印刷製本費)

〔他の予算科目に計上〕

- 公園見直し事業 (2,098 千円)
 地区内で早期に整備され、設備が老朽化した公園をより利用しやすくするため、水飲み場の改修など、バリアフリー化を行う。
 ・下沢まちかど公園等の出入口段差解消、秩父公園の水飲場改修(施設修繕費)
 ※予算は、公園改修費に計上



鶴まつり事業
(地元サークルのステージ出演)



認知症対策事業(認知症講演会)

〔事業費(事務事業中の重点事業分)〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
1,431	1,431	1,415	1,415	5,692	

総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	4-3-161	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,390					1,390
平成30年度	2,233					2,233
対前年度	△ 843					△ 843

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、地域の特性を生かした各種事業を実施する。

1. 藤沢宿活性化事業 1,390 千円
 藤沢宿の歴史的資源を活用した地域イベントを支援する。また、浮世絵などをラッピングしたトランスボックスラッピングが掲載された「藤沢宿まつぷ」の増刷を行う。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。
- ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）
 - ・「藤沢宿まつぷ」の増刷（印刷製本費）

 [他の予算科目に計上]

- 地域緑化運動事業 (4,500 千円)
 地域の緑化推進及び緑地の整備を実施する。
 ・樹木伐採等（手数料）
 ※予算は、公園改修費に計上

- 地域の魅力発見事業 (941 千円)
 伊勢山公園における桜の植樹など、地域の魅力あるスポットの整備を実施する。
 ・桜植樹等（手数料）
 ※予算は、公園改修費に計上



藤沢宿活性化事業（藤沢宿まつり）

[事業費（事務事業中の重点事業分）]

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
2,591	2,233	1,390	3,850	10,064	

総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	4-3-171	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	2,657					2,657
平成30年度	2,574					2,574
対前年度	83					83

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、地域の特性を生かしたまちづくり事業を実施する。

1. マナーアップ啓発事業 367 千円
 自転車の乗り方、ごみやたばこのポイ捨て、ペットの飼い方等のマナー向上を目指し、ポイ捨て等禁止看板の作製、及びスタントマンを活用した自転車交通安全教室を実施する。
 ・啓発看板の作製、スタントマンへの謝礼（消耗品費・報償金）
2. 村岡あいさつ運動事業 322 千円
 あいさつ運動の充実を図るため、キャンペーン活動及びポスター・標語コンクールを実施する。
 ・啓発物品等の作製、コンクール景品及び審査員謝礼（消耗品費・報償金）
3. 地域防災力強化事業 497 千円
 地域防災力の強化を図るため、地区内の公共施設等に防災啓発看板、雨水貯留槽、海拔表示板を設置するとともに、災害時に自治会・町内会等と地区防災拠点本部との通信手段となる通信機器の利用を確保する。
 ・防災啓発看板、雨水貯留槽、海拔表示板の設置（消耗品費・施設修繕費・委託料）
 ・電波利用料（負担金）
4. 村岡美化活動事業 311 千円
 美しく住みよい地域環境を築くため、環境に対する意識の向上を図る事業及び村岡地区独自の一斉清掃を実施する。
 ・講習会指導謝礼、ごみ袋の購入、ごみの収集運搬（報償金・消耗品費・手数料）
5. 史跡案内板設置事業 605 千円
 地域の歴史的資産の有効活用を図るため、村岡地区内史跡案内板等の改修等を実施する。
 ・史跡案内板の改修、歴史ガイドマップの増刷（施設修繕費・印刷製本費）
6. 高齢者等見守り事業 294 千円
 高齢者等の社会的孤立を防止するため、見守り事業を実施する。
 ・村岡地区便利帳の増刷（印刷製本費）
7. 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 261 千円
 まちの防犯力を高めるため、「村岡わんわんパトロール」事業を実施する。
 ・パトロールグッズ（バンダナ等）の作製（消耗品費）

 [他の予算科目に計上]

- 歩道等通行環境整備事業 (2,021 千円)
 すべての人が安全に安心して歩くことができるまちづくりのため、歩道等の段差などを改修し、歩行者等の道路環境を向上させる。
 ・歩道の段差解消修繕（施設修繕費）
 ※予算は、道路改修舗装費に計上

- 公園環境整備防犯対策事業 (1,262 千円)
 犯罪防止及び地域防災力の向上を図るため、停電時にも使用できるソーラー蓄電池型の照明灯を設置する。
 ・ソーラー蓄電池型LED照明灯の設置（施設修繕費）
 ※予算は、公園改修費に計上



マナーアップ啓発事業
 (スタントマンによる自転車交通安全教室)



村岡あいさつ運動事業
 (ポスター・標語コンクール)



村岡美化活動事業
 (寄せ植え講習会)



史跡案内板設置事業
 (村岡ふるさとマップ)



犯罪のない安全安心まちづくり対策事業
 (村岡わんわんパトロール)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
2,709	2,574	2,657	2,657	10,597	

総務費

事業名	庁舎等整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 8 細目 06 説明 01			管財課		
指針体系コード	5-1-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	3,496,447			2,338,300	782,776	375,371
平成30年度	452,480			325,500	126,980	0
対前年度	3,043,967			2,012,800	655,796	375,371
特定財源の内訳	(地方債)	新庁舎建設事業債				2,338,300
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				782,776

【事業概要】

2カ年度継続事業の最終年度となる分庁舎整備事業については、平成32年1月の供用開始に向けて整備工事及び工事監理を進める。

また、本庁舎と同様に、分庁舎におけるユニバーサルレイアウトの導入のため、事務机・デスクワゴン等の什器備品を新規に購入し、執務空間の有効活用を進めるほか、組織改正等に伴い発生していたインフラ整備等に要するランニングコストの抑制を図る。

1. 分庁舎整備事業 3,496,447 千円
- (1) 分庁舎整備工事（平成30・31年度の継続費） 3,065,840 千円
 - (2) 分庁舎整備工事監理委託（平成30・31年度の継続費） 52,102 千円
 - (3) 什器備品購入費用（消耗品費、備品購入費） 375,371 千円
 - (4) その他経費（手数料、印刷製本費ほか） 3,134 千円

<スケジュール>



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
14,743,138	452,480	3,496,447	0	18,692,065	

総務費

事業名	善行市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 04 説明 01	市民自治推進課・善行市民センター				
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,166,908			838,900	279,827	48,181
平成30年度	227,465			166,300	60,668	497
対前年度	939,443			672,600	219,159	47,684
特定財源の内訳	(地方債)	善行市民センター改築事業債				838,900
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				279,827

【事業概要】

善行市民センター・公民館は、昭和54年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも建て替えを行う。

平成30年度から3カ年度で進めている改築工事（第1期工事）の2年目として、市民センター棟の建設工事を行う。

1. 事業費

- (1) 改築工事：第1期工事（平成30年度～平成32年度の継続費） 1,099,966 千円
市民センター棟・地域利用倉庫の建設、西側駐車場の整備、現市民センターの解体
- (2) 工事監理委託（平成30年度～平成32年度の継続費） 18,761 千円
- (3) 事務経費（初度調弁に係る経費を含む） 48,181 千円

<継続費年割額>

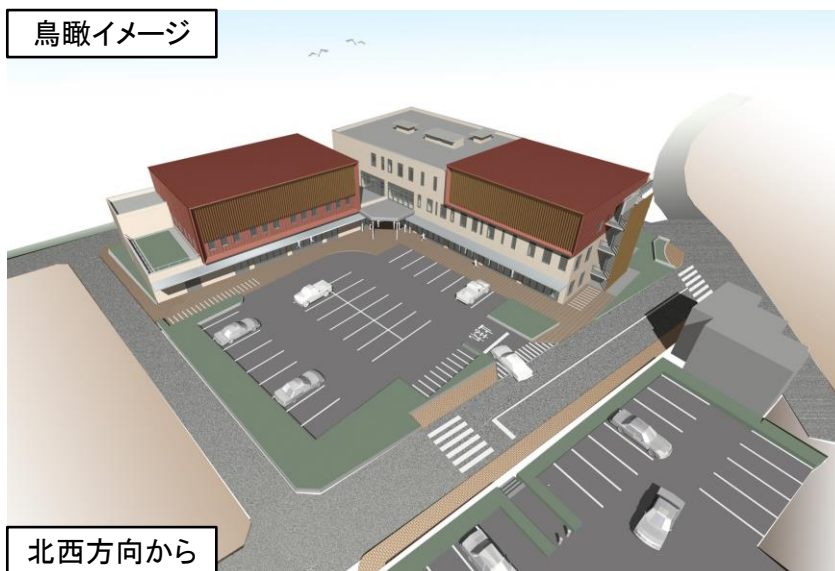
(単位：千円)

	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
工事請負費	189,371	1,099,966	81,000	1,370,337
工事監理委託費	3,030	18,761	1,516	23,307

<スケジュール概略>

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
	改築工事(第1期) 市民センター棟・地域利用倉庫建設、西側駐車場整備、現市民センター解体		改築工事(第2期) 健康プラザ棟建設
	市民センター棟供用開始 ★	文化財調査	健康プラザ棟供用開始 ★

鳥瞰イメージ



北西方向から

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
79,982	227,465	1,166,908	85,916	1,560,271	

総務費

事業名	辻堂市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 05 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	262,739			197,000	65,739	
平成30年度	96,995			72,200	24,795	
対前年度	165,744			124,800	40,944	
特定財源の内訳	(地方債)	辻堂市民センター改築事業債				151,700
	(地方債)	消防施設整備事業債				45,300
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				65,739

【事業概要】

辻堂市民センター・公民館は、昭和53年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点から、南消防署辻堂出張所は、より迅速な出動態勢の確立などの観点から、ともに移転し、合築により建て替えを行う。

平成28年度から3カ年度で進めてきた改築設計に基づき、市民センター・公民館及び消防出張所を平成31年度からの3カ年度で改築する。

1. 事業費

- (1) 改築工事（平成31年度～平成33年度の継続費） 258,677 千円
- (2) 工事監理委託（平成31年度～平成33年度の継続費） 4,062 千円

2. 施設概要

- (1) 構造等 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 3階建て
- (2) 延床面積
市民センター公民館 : 約4,080㎡
消防出張所 : 約1,091㎡
- (3) 付帯施設
テニスコート2面、駐車場（公用車含む21台分）、
駐輪場（消防出張所用含む62台分、バイク・スクーター置場8台分）

<継続費年割額> (単位：千円)

	平成31年度	平成32年度	平成33年度	合計
工事請負費	258,677	2,217,231	1,219,477	3,695,385
工事監理委託費	4,062	34,815	19,149	58,026

<スケジュール概略>

平成31年度	平成32年度	平成33年度
<div style="background-color: #00aaff; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> 建設工事・テニスコート整備		
		★供用開始

<鳥瞰イメージ>



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
561,312	96,995	262,739	2,252,046	3,173,092	

衛生費

事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01	北部環境事業所				
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	974,208	147,029		646,700	178,887	1,592
平成30年度	195,421	17,604		106,700	71,089	28
対前年度	778,787	129,425		540,000	107,798	1,564
特定財源の内訳	(国庫支出金)	循環型社会形成推進交付金				147,029
	(地方債)	焼却施設整備事業債				646,700
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				178,887

【事業概要】

廃棄物を円滑に処理するため、藤沢市焼却施設整備基本計画に基づく北部環境事業所新2号炉の建設工事を行い、専門的知識を有するコンサルタントに設計・施工監理業務を委託する。

また、石名坂環境事業所の整備に向けた準備のため、石名坂環境事業所各棟内壁及び外壁のアスベスト含有の調査を行う。

1. 工事請負費 950,616 千円

- ・北部環境事業所新2号炉建設工事
- 期間 平成30年度から平成34年度
- 総額 11,383,578千円(契約金額)

<工事概要>

敷地面積：約15,058㎡ 施設規模：150t/日
平成31年度は、旧2号炉の解体工事を行う。

2. 委託料 22,000 千円

- ・北部環境事業所新2号炉設計・施工監理業務委託
- 期間 平成30年度から平成34年度
- 総額 180,360千円(契約金額)

<委託内容>

設計監理、各種申請・許可等届出、現場監理、工場検査、性能試験等

3. 役務費 1,562 千円

- ・石名坂環境事業所アスベスト調査手数料

4. その他事務経費 30 千円

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業に関するスケジュール

事業名称	主な内容	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	～	H54年度
建設業務		H30年2月 契約								
既設解体工事	旧2号炉解体		■■■■■■■■■■							
建設工事	新2号炉建設				■■■■■■■■■■					
試運転	プラント単体 総合試運転						■■■■			
外構工事	新2号炉建屋 周辺工事						■■■■			
新2号炉 運営・維持管理業務	焼却炉運転 施設の点検等							■■■■■■■■■■		
新2号炉 設計・施工監理業務	設計監理 工事監理	H30年3月 契約	■■■■■■■■■■							

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
34,455	195,421	974,208	827,388	2,031,472	

教育費

事業名	鵜南小学校改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	131,456			87,900	43,556	
平成30年度	74,822			0	74,822	
対前年度	56,634			87,900	△ 31,266	
特定財源の内訳	(地方債)	大規模改造事業債				87,900
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				43,556

【事業概要】

老朽化が著しい鵜南小学校を全面改築し、施設の安全性確保と教育環境の向上を図る。また、近隣施設である浜見保育園及びよつば児童クラブについても、施設の老朽化とともに津波避難対策に課題があるため、複合化により一体整備し、あわせて近隣住民を含めた津波避難対策の強化を図る。

- 1. 基本・実施設計委託 117,321 千円
 <継続事業2年目>
- 2. 事前家屋調査 14,135 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

	平成30年度	平成31年度	合計
鵜南小学校改築基本・実施設計委託	50,279	117,321	167,600

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
8,522	74,822	131,456	633,640	848,440	

教育費

事業名	六会中学校屋内運動場改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課・教育指導課		
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	601,064	125,680		366,000	100,873	8,511
平成30年度	311,395	44,237		200,600	66,558	0
対前年度	289,669	81,443		165,400	34,315	8,511
特定財源の内訳	(国庫支出金)	公立学校施設整備費負担金				82,498
	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				43,182
	(地方債)	大規模改造事業債				366,000
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				100,873

【事業概要】

屋内運動場の老朽化の解消及び生徒数に対して著しく面積の不足が生じている状況の改善により、教育環境の向上を図るため、六会中学校の屋内運動場を改築し、あわせて武道場、部室及び開放用施設を新設する。また、防災備蓄倉庫を新たに併設し、防災機能強化を図る。

- 1. 屋内運動場改築工事 592,553 千円
＜継続事業2年目＞

- 2. 屋内運動場改築に伴う初度調弁 8,511 千円
 - ・消耗品 7,020 千円
 - ・備品 1,491 千円

＜継続費年割額＞

(単位：千円)

	平成30年度	平成31年度	合計
屋内運動場改築工事	253,951	592,553	846,504



施設完成イメージ（北側）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
44,135	311,395	601,064	85,168	1,041,762	

総務費

事業名	公共施設再整備関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 02	企画政策課				
指針体系コード	5-1-81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	5,500				5,500	0
平成30年度	5,400				0	5,400
対前年度	100				5,500	△ 5,400
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				5,500

【事業概要】

旧藤が岡職員住宅、旧市民病院看護師寮及び藤が岡保育園の敷地を一体的に活用し、周辺地区で賃借している施設及び当該地域に不足している行政サービス機能を含めた複合施設としての再整備を行う。

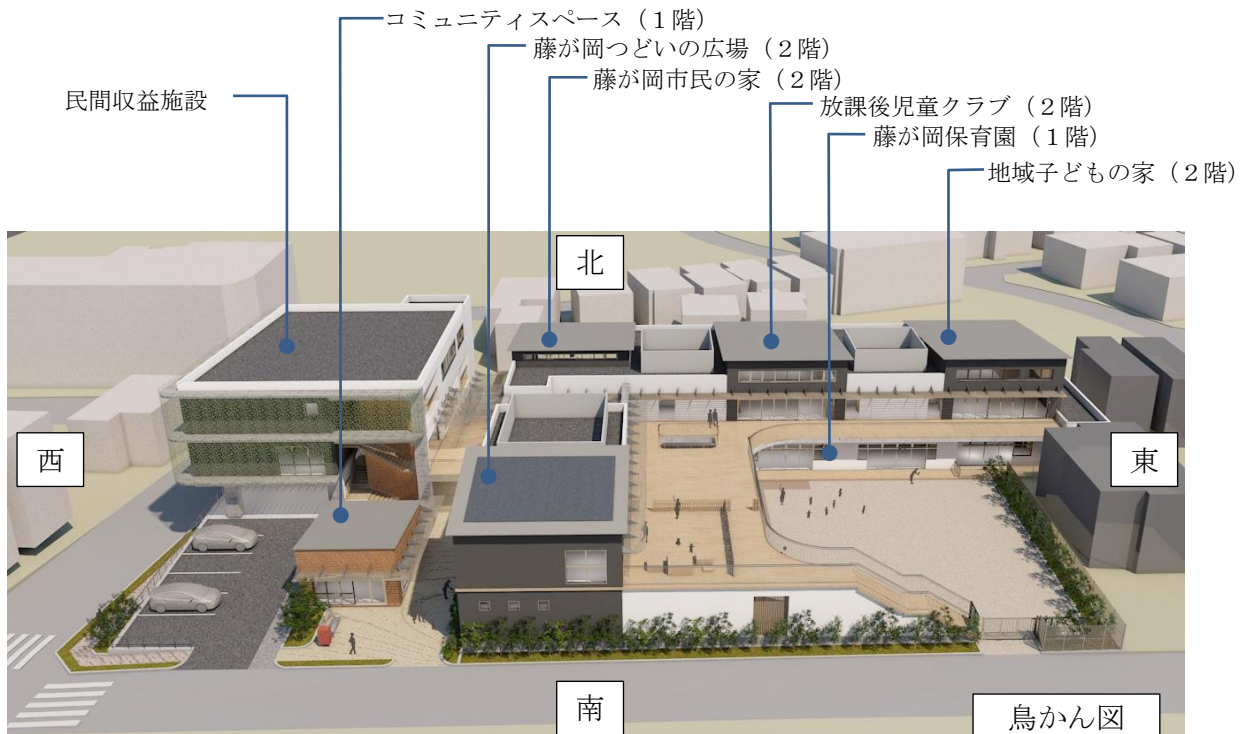
本再整備に当たっては、民間事業者の資金、運営能力及び技術力などのノウハウ等を導入し、運営方法を含め、より効果的かつ効率的なサービスの提供が可能となるPFI事業として構築することにより財政支出の削減及び平準化を図る。

1. 藤が岡二丁目地区再整備PFI事業モニタリング業務 5,500千円

PFI事業として整備するに当たり、当該事業が解体工事、施設整備工事等における要求水準書、提案書及び事業契約書に従って実施されていることを確認するため、その期間におけるモニタリング業務を専門業者に委託する。

施設供用開始は平成33年4月予定

(藤が岡保育園については、平成33年5月に新園舎への移転・供用開始を予定)



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
	5,400	5,500	5,500	16,400	

土木費

事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01			藤沢駅周辺地区整備担当		
指針体系コード	5-1-111	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	815,666	35,810		527,000	11,005	241,851
平成30年度	1,183,253	109,638		671,500	0	402,115
対前年度	△ 367,587	△ 73,828		△ 144,500	11,005	△ 160,264
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				35,810
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				527,000
	(その他)	藤沢駅北口デッキ高質化工事負担金				11,005

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化に向け、交通結節機能の更新を核とした駅周辺街区の再整備について、現在実施中の藤沢駅北口デッキ高質化工事の完成を目指すとともに藤沢駅南北自由通路の拡幅に向けた基本設計を実施する。

さらに、藤沢駅北口交通広場再整備工事に着手する等、各プロジェクトの推進を図る。

1. 委託料 67,571 千円
 - ・ 藤沢駅東西地下通路リニューアル詳細設計委託
 - ・ 藤沢駅周辺地区再整備に伴う推進支援業務委託 等
2. 工事請負費 705,146 千円
 - ・ 藤沢駅北口デッキ高質化工事【継続費】
 - ・ 藤沢駅北口交通広場再整備工事【継続費】
3. 負担金 36,793 千円
 - ・ 藤沢駅街区エリアマネジメント設立準備会運営支援負担金
 - ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備基本設計負担金【継続費】
4. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費 6,156 千円

<継続費年割額>

(単位：千円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
藤沢駅北口デッキ高質化工事	604,066	978,292	359,266	—	1,941,624
藤沢駅自由通路拡幅整備基本設計負担金	—	46,585	23,293	—	69,878
藤沢駅北口交通広場再整備工事	—	—	345,880	103,767	449,647



<藤沢駅北口ペデストリアンデッキ完成イメージ>

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
666,956	1,183,253	815,666	2,092,995	4,758,870	

土木費

事業名	健康と文化の森整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01			西北部総合整備事務所		
指針体系コード	5-1-121	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	174,020	17,535		92,500		63,985
平成30年度	39,007	0		14,800		24,207
対前年度	135,013	17,535		77,700		39,778
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				17,535
	(地方債)	健康と文化の森整備事業債				92,500

【事業概要】

本市の都市拠点に位置づけられている健康と文化の森地区では、いずみ野線延伸の計画において新駅の設置が想定されていることから、現在、鉄道延伸の計画を見据えながら、地権者をはじめとする関係者とともに、本地区のまちづくりの検討を進めている。今後も引き続き、本市の新たな活力創造の場を創出する都市拠点としてふさわしいまちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、平成28年度に策定した「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づく地区内の浸水対策を行う。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 健康と文化の森地区まちづくりの事業化に向けた検討 | 33,891 千円 |
| ・まちづくり事業化推進業務委託 | 14,993 千円 |
| ・現況測量委託 | 18,898 千円 |
| 2. 健康と文化の森地区浸水対策 | 140,129 千円 |
| ・雨水調整施設築造工事 | 137,555 千円 |
| ・仮設調整池維持管理費 | 2,574 千円 |

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
51,319	39,007	174,020	214,287	478,633	

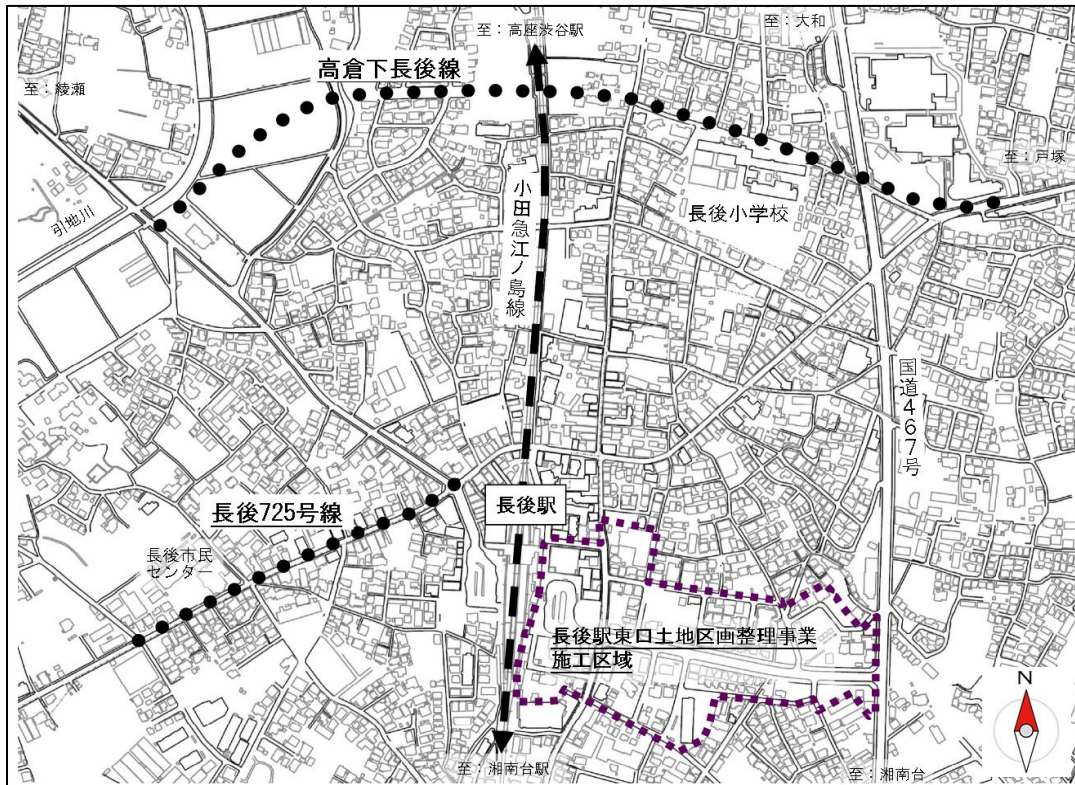
土木費

事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02	都市整備課長後地区整備事務所				
指針体系コード	5-1-131	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	112,718	40,290		42,200		30,228
平成30年度	24,845	0		0		24,845
対前年度	87,873	40,290		42,200		5,383
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				40,290
	(地方債)	道路整備事業債				42,200

【事業概要】

長後駅周辺の交通混雑緩和を図るため、高倉下長後線の都市計画変更に向けた関係機関協議及び事業化に向けた検討を行う。また、歩行者等の安全性向上を図るため、長後725号線の道路北側の歩道整備に向け、長後市民センター東側区間における一部の土地について用地買収を行う。平成29年度に清算金の分割徴収を完了した長後駅東口土地区画整理事業は、事後評価を行う。

1. 高倉下長後線整備事業
委託料（予備修正設計） 14,509 千円
2. 長後725号線歩道整備事業 94,173 千円
 - ・ 役務費（不動産鑑定・分筆登記） 1,844 千円
 - ・ 委託料（移転補償算定） 1,124 千円
 - ・ 公有財産購入費（用地） 17,639 千円
 - ・ 補償補填及び賠償金（移転補償） 73,566 千円
3. 長後駅東口土地区画整理事業
委託料（事後評価資料作成） 1,980 千円
4. 長後地区整備事業事務経費 2,056 千円



<事業位置図>

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
75,556	24,845	112,718	65,000	278,119	

土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	5-1-141	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
	5-1-151	重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	729,967	90,584	110,000	341,000	0	188,383
平成30年度	625,047	77,178	18,333	375,000	629	153,907
対前年度	104,920	13,406	91,667	△ 34,000	△ 629	34,476
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				90,584
	(県支出金)	県立体育センター西側昇降機建設負担金				110,000
	(地方債)	道路整備事業債				341,000

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、バリアフリー化、無電柱化などの道路整備を行う。

- 1. 道路の新設改良事業 254,500 千円
 - (1) 戸中橋線（工事、補償）
 - (2) 藤沢駅辻堂駅線（工事、用地取得、補償）
 - (3) 藤沢652号線（建物等調査、負担金）
 - (4) 六会554号線（工事、補償）
 - (5) 宮原百石線（埋蔵文化財調査、用地取得、補償）
 - (6) 御所見537号線（工事）
- 2. バリアフリー化事業 323,891 千円
 - (1) 善行駅周辺地区
善行長後線及び善行駅西口駅前広場（工事）
県立体育センター西側昇降機（工事、建物等調査）
教育センター南通り線他（測量）
- 3. 無電柱化事業 96,523 千円
 - (1) 藤沢394号線外1路線（工事、負担金）
 - (2) すばな通り（予備設計、測量）
- 4. 自転車走行空間整備事業 34,954 千円
 - (1) 鵜沼海岸線（工事）
- 5. その他の事業 9,020 千円
 - (1) 藤沢287号線（用地取得）
- 6. 市道新設改良事務経費 11,079 千円

<継続費>

(1) 六会554号線道路改良工事 (単位：千円)

年割額	平成31年度	平成32年度	合計
	57,070	5,707	62,777

(2) 藤沢394号線外1路線道路改良工事 (単位：千円)

年割額	平成31年度	平成32年度	合計
	16,015	46,135	62,150

(この事業は平成30年度6月及び9月補正で増額した事業)

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	事業費合計	備考
	予算額	予算額	見積額	見積額		
藤沢652号線	456,387	124,074	31,350	120,000	731,811	
バリアフリー事業費	244,513	255,578	323,891	104,400	928,382	

教育費

事業名	村岡公民館改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 04 説明 01			村岡公民館		
指針体系コード	5-1-161	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,703				0	1,703
平成30年度	11,947				10,908	1,039
対前年度	△ 10,244				△ 10,908	664

【事業概要】

村岡公民館は、昭和41年に旧耐震基準で建築され、その後増改築した施設のため、老朽化とともに、バリアフリー対策が十分ではないことなどから、再整備を行う。

平成31年度は、浸水対策を含む基本設計に向けて、地域活動団体の代表者や公募委員等で構成される村岡公民館再整備建設検討委員会の運営を行うとともに、地域住民及び公民館利用団体への情報提供等を行う。

1. 村岡公民館再整備建設検討委員会の運営及び地域住民等への情報提供等 1,703 千円
 - ・報償費 9 千円
 - ・消耗品費 250 千円
 - ・印刷製本費 1,444 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
	11,947	1,703	812,872	826,522	

総務費

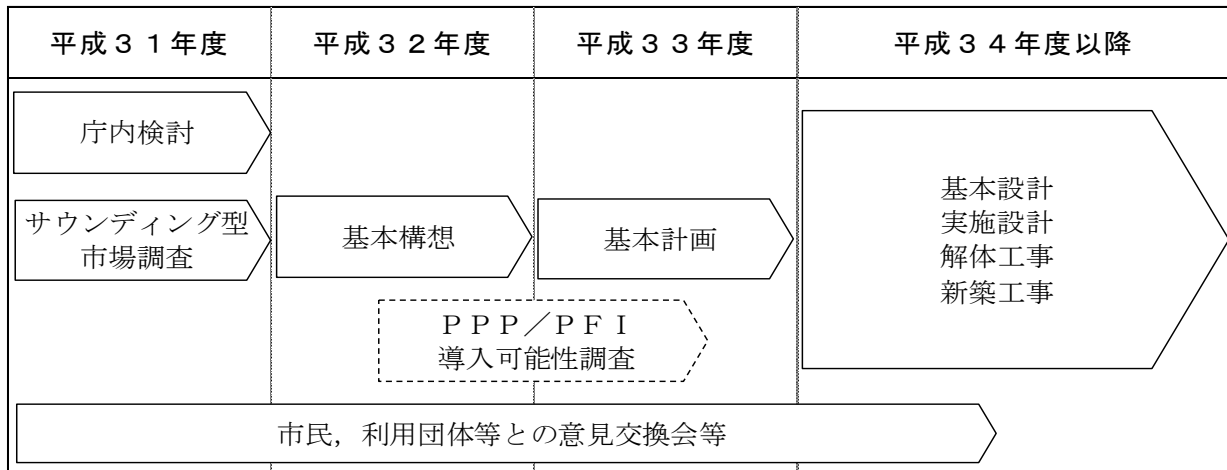
事業名	市民会館整備費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 4 細目 02 説明 01	文化芸術課				
指針体系コード	5-1-171	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	5,242					5,242
平成30年度	19,644					19,644
対前年度	△ 14,402					△ 14,402

【事業概要】

利用者に快適な施設環境を提供するため、経年劣化している市民会館の施設修繕を実施するとともに、市民会館等再整備の基本構想策定に向けたサウンディング型市場調査を実施する。

1. ホール座席修繕 405 千円
大・小ホールの劣化や摩耗の著しい座席を修繕する。
2. サウンディング型市場調査業務委託 4,837 千円
市民会館等再整備の基本構想策定に先立ち、サウンディング型市場調査を実施する。

市民会館等再整備 事業スケジュール（案）



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
		5,242		5,242	H31年度から重点事業

土木費

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01			都市計画課		
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	60,816					60,816
平成30年度	38,850					38,850
対前年度	21,966					21,966

<新規事業> 福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシー含む）導入補助事業等の実施

【施策等を必要とする背景】

超高齢社会の進展に伴い、誰もが移動しやすい交通体系の構築に向け、道路や鉄道駅等の施設に加えて、バスやタクシー車両を含めた交通環境全般に対し、一体的、総合的なユニバーサルデザイン化の推進が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

国は、移動等円滑化の促進に関する基本方針において、平成32年度までに全国で約2万8千台の福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシー含む）の導入を目標とし、補助制度を創設して導入を進めている。

本市においては、国の補助制度の活用に必要な生活交通改善事業計画を立案するなど支援策を講じているものの、市内への導入は平成29年度末で6台に留まっている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

本市では、藤沢市交通マスタープランの推進方策として、ユニバーサルデザインによる交通環境の整備・充実を図るため、福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシー含む）の導入を支援することとしている。

また、藤沢市交通アクションプランにおいて、平成32年度までに市内導入台数32台を目指している。

【将来にわたる効果及び費用】

本補助制度の創設・運用（平成32年度までの2カ年を基本とする）により福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシー含む）の導入を促進することで、誰もが移動しやすい交通体系の構築に寄与できる。



（福祉タクシー（スロープを装備する車両）の例）

【事業概要】

都市環境の向上と市民生活の利便性向上を図るため、超高齢社会を支える地域に根ざした公共交通網の整備を進めるなど、総合交通体系の構築を目指す。

1.	負担金補助及び交付金	13,826 千円
	・神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費	180千円
	・地域提案型交通システム導入支援補助	3,046千円
	・ノンステップバス導入補助	8,400千円
(新)	・福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシー含む）導入補助	2,200千円
	リフトを装備する車両2台、スロープを装備する車両12台	
2.	委託料	30,822 千円
	・藤沢市地域公共交通検討他業務委託	8,470千円
	・湘南ライフタウンバスターミナル効果検証委託	5,808千円
	・いずみ野線延伸地域における新駅周辺の交通及び土地利用に関する検討業務委託	8,580千円
(新)	・藤沢市交通アクションプラン等調査検討委託	7,964千円
	平成27年3月に策定した、藤沢市交通アクションプラン（計画期間10年）について、中間年として進行管理を行うとともに、計画見直しに向けた検討を行う。	
3.	工事請負費	12,122 千円
(新)	・神台公園前交差点車両感知器復旧工事	3,729千円
	辻堂駅北口から湘南ライフタウン方面へ連節バスを導入し、神台公園前交差点の停止線を変更したことに伴い、車両感知器の復旧工事を行う。	
(新)	・辻堂浄化センター内バス転回場撤去工事	8,393千円
	辻堂浄化センターの一部をバス転回場として暫定利用することで、辻堂駅南口から地域提案型バスが運行されていたが、辻堂団地内にバスロータリーが整備され機能が移転したことから、辻堂浄化センター内のバス転回場の撤去工事を行う。	
4.	総合交通体系推進業務事務経費	4,046 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
49,990	38,850	60,816	87,780	237,436	

土木費

事業名	健康の森保全再生整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 05			西北部総合整備事務所		
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	7,166			0		7,166
平成30年度	27,757			7,400		20,357
対前年度	△ 20,591			△ 7,400		△ 13,191

【事業概要】

市内三大谷戸の一つである健康の森（遠藤笹窪緑地）の保全を図るため、平成28年度に策定した「遠藤笹窪緑地保全計画」に基づき市民活動団体との協働により緑地の保全・再生を行う。

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1. 健康の森の里山保全・再生に向けた取組 | 5,471 千円 |
| ・市民活動団体からの提案活動交付金 | 2,500 千円 |
| ・施設修繕費 | 1,320 千円 |
| ・樹林地管理作業 | 1,651 千円 |
| 2. 健康の森保全再生整備事業事務経費 | 1,695 千円 |



市民活動団体等による緑地の保全再生活動風景（植樹体験イベント）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
36,090	27,757	7,166	140,460	211,473	

環境保全費

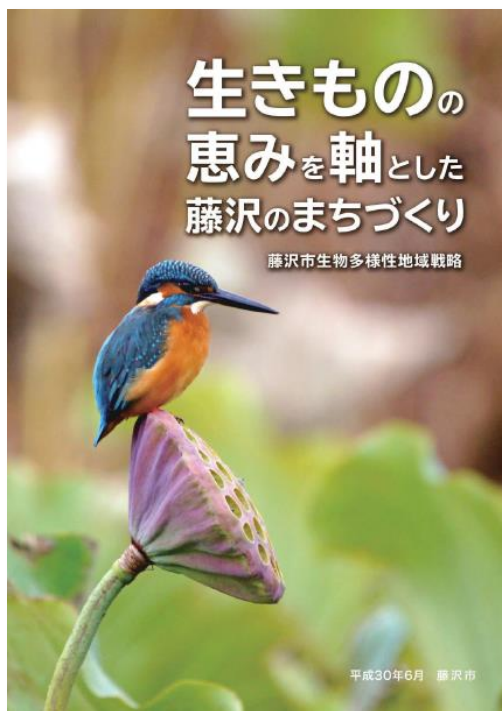
事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 04	みどり保全課				
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	6,088				5,086	1,002
平成30年度	12,673				9,136	3,537
対前年度	△ 6,585				△ 4,050	△ 2,535
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				5,086

【事業概要】

藤沢市環境基本計画に位置づく事業として、平成30年度に策定した藤沢市生物多様性地域戦略に基づき生物多様性の保全及び持続可能な利用に資する取組を進めるとともに、市民等を対象に自然保護意識の高揚、普及啓発を図る。

また、ヒートアイランド現象の緩和、緑豊かな都市景観の創出などを目的として、市民や事業者を対象とした建物緑化に対する助成及び普及啓発等の建物緑化事業を推進する。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業 | 3,707 千円 |
| ・ 生物多様性実行プラン印刷製本 | 110 千円 |
| ・ 生物多様性人材育成講座 | 150 千円 |
| ・ ビオトープ維持管理作業等 | 3,166 千円 |
| ・ 自然環境実態調査（継続調査） | 181 千円 |
| ・ 調査箇所のカルテ作成 | 100 千円 |
| 2. 建物緑化事業 | 2,381 千円 |
| ・ 建物緑化への助成 | 2,000 千円 |
| 建物緑化助成事業交付金 | |
| ・ 緑のカーテン普及啓発 | 381 千円 |
| 緑のカーテン用絵袋種子（ゴーヤ等）の配布 | |



〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
9,351	10,217	3,707	4,000	27,275	

環境保全費

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	36,754				30,450	6,304
平成30年度	36,986				30,600	6,386
対前年度	△ 232				△ 150	△ 82
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				30,450

【事業概要】

地球温暖化に対応するため、市民、事業者及び行政が一体となって、住宅用等太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

1. 環境に優しいエネルギーシステム普及推進 22,800 千円
再生可能エネルギー及び新エネルギーへの転換を推進するため、太陽光発電システム又はエネファームの設置者に費用の一部を補助し、両システムを同時に設置する場合は補助額を増額する。
 - ・住宅用太陽光発電 1kWあたり15千円で上限額50千円
 - ・エネファーム 1件あたり50千円
 - ・両システム同時設置 1件あたり上限額150千円
 - ・共同住宅、自治会館及び町内会館用太陽光発電
1kWあたり100千円で上限額300千円
2. 雨水貯留槽普及推進 450 千円
水資源の循環利用を推進するため、雨水貯留槽の購入者に費用の一部を補助する。
 - ・雨水貯留槽購入者への補助金 1件あたり本体価格の1/2で上限額15千円
3. 電気自動車普及推進 4,000 千円
電気自動車の普及推進に向け、電気自動車の導入者に費用の一部を補助する。
 - ・電気自動車導入者への補助金 1台あたり100千円
4. 定置用リチウムイオン蓄電池普及推進 2,500 千円
エネルギーの効率的な利用を推進するため、蓄電池の設置者に費用の一部を補助する。
 - ・蓄電池設置者への補助金 1件あたり50千円
5. 燃料電池自動車普及推進 700 千円
燃料電池自動車の普及推進に向け、燃料電池自動車の導入者に費用の一部を補助する。
 - ・燃料電池自動車導入者への補助金 1台あたり350千円
6. 地球温暖化対策関係団体等との連携 90 千円
地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。
7. 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進
茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。
8. 地球温暖化対策関係事務経費 6,214 千円
非常勤職員報酬、臨時職員賃金ほか

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
0	0	0	0	0	

土木費

事業名	住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	1,262	126				1,136
平成30年度	7,183	124				7,059
対前年度	△ 5,921	2				△ 5,923
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				126

【事業概要】

少子超高齢社会、本格的な人口減少社会を迎える中で、長期的な視野に立ち、総合的な住宅政策を計画的に推進する。

1. 藤沢市住宅マスタープランの推進 735 千円
 藤沢市住宅マスタープランに基づき、各課との連携を図り、事業の進捗管理を行う。またマスタープランで定めた重点施策に取り組む。

- 重点施策 - 1 居住支援協議会による住宅確保要配慮者への支援
 重点施策 - 2 空き家の適正管理の促進と利活用の推進
 重点施策 - 3 市営住宅の長寿命化等による居住性の向上と活用の推進
 重点施策 - 4 団地再生に向けた地域と連携した取組の推進

- ・ 藤沢市住宅マスタープラン印刷製本費 735 千円

2. 高齢者住まい探し相談会の実施 381 千円
 民間賃貸住宅への入居に困窮している高齢者等に対し、居住の安定を図るための藤沢市高齢者円滑入居支援事業を行う。

- ・ 高齢者円滑入居支援事業業務委託 281 千円
- ・ 公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会年会費 100 千円

3. 住宅政策推進事業事務経費 146 千円

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
6,177	7,183	1,262	527	15,149	

土木費

事業名	空き家対策関係費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 02			住宅政策課		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	15,869	5,455				10,414
平成30年度	9,516	900				8,616
対前年度	6,353	4,555				1,798
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				5,455

【事業概要】

藤沢市空き家対策基本方針に基づき、空き家の適正管理の促進、特定空き家の認定と措置及び空き家の利活用の推進などの空き家対策を行う。

- (括) 1. 空き家の適正管理の促進 10,777 千円
 空き家の全戸調査を実施し、実態把握、データベース化、所有者意向調査を行い、空家等対策計画の策定のための基礎資料を作成する。また、管理不全の空き家の所有者に適正管理のための助言・指導を行う。
- ・ 空き家全戸調査業務委託料 10,010 千円
 - ・ 訪問等調査に係る旅費 61 千円
 - ・ 研修会参加負担金 90 千円
 - ・ 空き家の適正管理の促進に係る事務経費 616 千円
2. 特定空き家の認定及び特定空き家審査会の開催 977 千円
 放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空き家を特定空き家として認定し、所有者等に対し法に基づく指導を行い是正を促す。
- ・ 特定空き家審査会委員報酬 570 千円
 - ・ 審査会会議録筆耕翻訳料 277 千円
 - ・ 特定空き家の認定と措置に係る事務経費 130 千円
3. 空き家の利活用の推進 1,674 千円
 藤沢市空き家利活用マッチング制度、藤沢市空き家利活用事業補助制度の実施により、空き家の利活用の推進を図る。
- ・ 空き家利活用事業補助金 (1,000千円×1件) 1,000 千円
 - ・ 空き家利活用事業審査会委員報酬 127 千円
 - ・ 審査会会議録筆耕翻訳料 185 千円
 - ・ 空き家の利活用の推進に係る事務経費 362 千円
4. 推進体制の整備 2,441 千円
 ・ 空き家対策専門員報酬及び費用弁償

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
12,354	9,516	15,869	9,070	46,809	

商工費

事業名	新産業創出事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 04 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	40,967					40,967
平成30年度	40,752					40,752
対前年度	215					215

【事業概要】

新しい産業や雇用機会を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官連携（市内企業・起業家等と市内4大学・近隣大学等の連携）を進めるとともに、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援する。

1. 湘南新産業創出コンソーシアム事業 24,772 千円
 産学官で構成する「湘南新産業創出コンソーシアム」が中心となり、ベンチャー企業育成及び既存企業の新事業進出を支援するための各種事業を展開する。
 - ・湘南ビジネスコンテスト事業
 - ・都市拠点型起業家育成施設運営事業（湘南藤沢インキュベーションセンターの運営）
 - ・創業機運醸成フォーラム事業
 - ・海外事業展開等支援事業
 - ・コミュニティビジネス支援事業（セミナー・事例発表会等） など

2. 大学連携型起業家育成施設支援事業 9,705 千円
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の運営のため、インキュベーションマネージャー等を派遣し、入居者に対する総合的支援を行う。

3. 大学連携型起業家育成施設入居支援事業 5,077 千円
 大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の入居者に対し、賃料の一部を補助する。（補助単価は1,000円/m²）

4. コミュニティビジネス支援事業（創業補助） 663 千円
 コミュニティビジネスの創業時に要する経費（賃借料及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の40%以内、女性やシニア世代の事業者の賃借料は45%以内）

5. ポストインキュベーション支援事業 750 千円
 市内公的インキュベーション施設を退去後、市内に新たに事業所等を開設する際に要する経費（敷金相当額及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の50%以内）

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
39,669	40,752	40,967	41,008	162,396	

商工費

事業名	ロボット産業推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 07 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	32,117		1,334			30,783
平成30年度	21,973		1,082			20,891
対前年度	10,144		252			9,892
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				1,334

< 拡充事業 > 行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業の実施

【施策等を必要とする背景】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」の新たな施策の柱である「ロボット利活用の推進」において、「行政サービスでの活用」を具体的な取組分野として位置付けている。また、介護予防・健康増進や災害対策分野についても、新たな事業を検討するための手法が必要とされている。

【提案に至るまでの経緯】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」の推進体制の一つである「ロボット施策庁内連携推進会議」において各課の関連事業の推移を調査するとともに、庁内に向けて事業テーマの募集を行った。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」に基づき実施する。

【将来にわたる効果及び費用】

本事業の実施によりロボット利活用の推進に資するとともに、行政課題を解決する一助となる。平成32年度以降も庁内に事業テーマを募集し、必要に応じて拡充を図る。

【事業概要】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」に基づき、生活支援ロボットの普及啓発等を図るとともに、市内企業のロボット産業への参入を支援する。

- (拡) 1. 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 24,801 千円
 地域経済団体と連携し、生活支援ロボットの展示ショールーム「ロボテラス」において、展示するロボットや開催するイベント等をより一層充実させ、ロボットが生活の中で身近に感じられるよう普及啓発等を行う。
- 2. ロボット産業に対する参入支援・人材育成 3,202 千円
 地域経済団体等と連携し、市民等を対象に先端的なロボットに関する基調講演などを行う「ふじさわロボットフォーラム」、市内企業等を対象にロボット産業に関する理解を深めることを目的とした「藤沢ロボット産業研究会」、子どもたちがモノづくりの楽しさを体験し、ロボットのメカニズムを通して工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- 3. ロボット産業推進事業補助金 2,114 千円
 市内中小企業のロボット産業への参入、及びロボットに関する研究開発の促進を図るため、ロボットの試作開発等に要する経費に対し助成を行う。
- (新) 4. 行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業 2,000 千円
 行政が抱えるさまざまな課題を把握し、その課題を解決するために適したロボット（AIなど要素技術を含む）を実証的に活用することで、ロボットの利活用における先進的な取組を行う。



(生活支援ロボットの展示ショールーム「ロボテラス」)



(少年少女ロボットセミナー)

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
25,127	21,973	32,117	40,155	119,372	

商工費

事業名	地域密着型商業まちづくり推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	5-4-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	18,315					18,315
平成30年度	18,415					18,415
対前年度	△ 100					△ 100

【事業概要】

多様化する消費者ニーズに対応した商業集積を進めるため、指導事業及び商店街団体が商店街の活性化を目的に行う特色づくり等への支援のほか、「ふじさわ元気バザール」事業及び「まちゼミ」事業の実施に対し支援する。

1. 商店街にぎわいまちづくり支援事業 10,595 千円
 商店街ににぎわいや直接の消費をもたらすため、商店街が実施する特色づくりの取組に対し、専門家派遣により事業の企画・実施・効果検証までの一連を支援するとともに、販売促進イベントによるにぎわいづくり等の事業に対し事業費の一部を助成する。
2. ふじさわ元気バザール事業 6,720 千円
 地域経済の活性化に向け、にぎわいの創出、市内での経済循環などを図るため、市民が主役の産業振興を目指す「ふじさわ元気バザール」事業に対し事業費の一部を助成する。
3. まちゼミ事業 1,000 千円
 商店街を中心とする地域商業の活性化に向け、地域住民とのコミュニケーションの場から、地域コミュニティの核となる商店街の構築と集客力向上を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会が実施する「まちゼミ」事業に対し事業費の一部を助成する。

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
17,415	18,415	18,315	18,315	72,460	

農林水産業費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-4-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	25,161		24,160			1,001
平成30年度	22,190		21,100			1,090
対前年度	2,971		3,060			△ 89
特定財源の内訳	(県支出金)	農業人材力強化総合支援事業補助金				24,160

【事業概要】

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

1. 市内若手農業者に対する講習会、研修会支援 15 千円
 対象者：さがみ農協藤沢市青少年藤友会
 支援内容：パソコン簿記講習会や優良事例視察研修会等講師謝礼

2. 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施 689 千円
 ・景観形成事業
 委託先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会
 委託内容：遊休農地において景観作物(コスモス等)を栽培し摘み取りイベントを行う。

3. 援農ボランティア養成講座の開催 100 千円
 期間：5～11月
 対象者：援農ボランティア活動を希望する市民 40人程度

4. 新規就農者に対する支援 24,160 千円
 ・農業次世代人材投資資金の交付 24,000 千円
 次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有する新規就農者に対して、国が実施する農業人材力強化総合支援事業に基づき補助金を交付する。
 対象者：経営開始から5年以内で50歳未満の独立自営就農者
 支援内容：年間最大150万円の補助金を交付
 ・新規就農指導員謝礼 160 千円
 農業次世代人材投資資金交付対象者に対し支援を行う「サポート体制」の活動に参加する農業者に対し、謝礼を支払う。

5. 農業後継者研修受入支援事業 150 千円
 農業後継者の育成のため、新規就農希望者に対して農業技術及び経営に関する研修を行う団体に対し補助金を交付する。
 対象者：藤沢市農業経営士協議会
 支援内容：研修生1人当たり3万円の補助金を交付

6. 担い手育成支援事業事務経費 47 千円
 ・旅費、消耗品費

〔事業費（事務事業中の重点事業分）〕

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
24,240	22,190	25,161	25,161	96,752	

事業名	(新) 藤沢ものづくりブランド応援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 05 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成31年度	2,756					2,756
平成30年度	0					0
対前年度	2,756					2,756

【施策等を必要とする背景】

本市には輸送機械器具製造業を中心に技術力の高い中小製造業者が数多く集積しているが、大規模工場の市外転出や海外生産比率の上昇が進んでいる状況下にあることから、中小企業では新製品・新技術開発をし、積極的に市域外への販路を拡大することが必要となっている。

市では、平成27年度から平成29年度まで販路拡大支援事業として、単独出展への助成を実施していたが、販路拡大の成果は見込まれるものの、毎年、同じ事業者が同じ展示会へ出展してしまう課題も生じていた。

他市の事例では、共同出展によりこれまでノウハウがなく出展できていなかった事業者が出展できる、事業者間の交流の場となり協業や事業取引につながったといった効果が上がっている。

【提案に至るまでの経緯】

平成29年度「藤沢市産業振興等に関する提言」（藤沢商工会議所要望）において、市単独による展示会出展事業の検討の要望がなされ、検討を行った結果、事業概要のとおり提案することとした。

なお、平成30年度同提言においても同様の要望がなされている。

【将来にわたる効果及び費用】

- ・市内中小企業の販路拡大につながり、地域経済の活性化が図られる。
- ・共同出展により展示スペースの立地優遇が受けられ、さらに装飾の統一もできるため、出展効果が大きくなる。
- ・出展者同士の連携が強化され、協業や事業取引にもつながる。
- ・市のPRができることにより、「ものづくりのまち」としての知名度が上がり、市内外からの引き合いが増え、ビジネスマッチングの拡大につながる。

平成32年度以降 2,756千円

【事業概要】

藤沢商工会議所が実施する市内中小企業を対象とした展示会共同出展支援事業に対して、市が出展料、装飾費用、事務経費の一部を補助する。

このことにより、多くの来場者が集う展示会において一定のブース面積や優位なエリアを確保することができ、販路拡大及び藤沢市の「ものづくりのまち」としてのブランド価値を高めることを図るもの。

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 1. 補助金の交付 | 2,756 千円 |
| ・補助対象者 | 藤沢商工会議所 |
| ・対象展示会 | 出展効果及び出展業種を勘案し、年2回出展する。 |
| ・出展事業者数 | 1展示会あたり8者 |
| ・補助対象経費 | 出展料：出展料の最大3分の2以内 2,052 千円 |
| | 装飾費用：共同出展にかかる装飾費用 600 千円 |
| | 事務経費：藤沢商工会議所の事務経費に対して2分の1を補助 104千円 |

【事業費（事務事業中の重点事業分）】

平成29年度 予算額	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	平成32年度 見積額	事業費合計	備考
		2,756	2,756	5,512	H31年度から重点事業

5 地域づくり

各地区での取組として、市民センター・公民館が郷土づくり推進会議と実施する事業について示します。

各地区の事業は、市が実施、支援等を行うものであり、地区集会等での意見を踏まえ、毎年見直しを行いながら進めます。

- ① 六会地区まちづくり事業
- ② 片瀬地区地域まちづくり事業
- ③ 明治地区まちづくり事業
- ④ 御所見地区地域まちづくり事業
- ⑤ 遠藤まちづくり推進事業
- ⑥ 長後地域活性化事業
- ⑦ 辻堂地区地域まちづくり事業
- ⑧ 善行地区まちづくり事業
- ⑨ 湘南大庭地域まちづくり事業
- ⑩ 湘南台地域まちづくり事業
- ⑪ 鵜沼地区まちづくり事業
- ⑫ 藤沢地区まちづくり事業
- ⑬ 村岡いきいきまちづくり事業



六会地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

素的なふるさと 六会

まちづくり事業

1 花の植栽活動による美しいまちづくり事業

地区内の公園、小・中学校、特別支援学校、花のボランティア団体等への花の植栽活動の支援を行い、自然とのふれあいを深めるとともに美しいまちづくりを進めます。

また、近隣の人々が共同作業をすることで、地域のコミュニケーション（あいさつや声かけ）や連帯感を深めます。

- (1) 幼苗の育成と苗配付による地域の花の植栽活動支援
- (2) 「六会の美しい庭・風景の写真展」の開催
- (3) あいさつ運動の推進
- (4) ボランティア団体「六会グリーンクラブ」の支援

2 交通不便地区解消検討事業

西俣野地区で運行する予約型乗合タクシー「おでかけ六会」の地域住民への周知及び利用者拡大を図ります。

3 六会人材センター推進事業

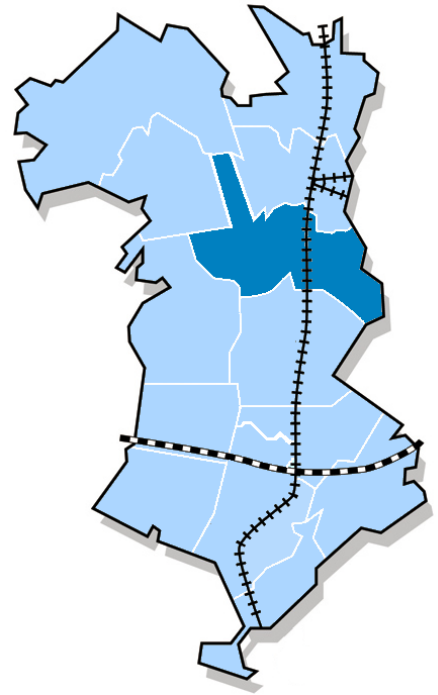
地域の人材発掘を行うとともに、地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティアと依頼団体とのコーディネート事業等を行います。

- (1) 六会人材センターの支援
- (2) 地域の人材発掘
- (3) コーディネート事業

4 六会まちおこし活動支援事業

駅前空間の賑わいやまちの美化向上のため、12月から1月にかけて六会日大前駅東口ロータリーにイルミネーションを設置します。さらに、地域の子どもから高齢者・障がい者まで楽しめるイベント等の支援を検討し、六会地区のまちおこしを図っていきます。

- (1) イルミネーション点灯式及びコンサートの開催
- (2) 活気あるまちづくりに寄与するイベント等の支援の検討



5 公園提案事業

地区内には28の公園があります。立地条件・規模・利用者の状況等それぞれ特徴がありますが、子どもから高齢者・障がい者まで安心して遊び、憩うことができる公園にするため、地域の要望（自治会・町内会、公園愛護会連絡協議会等）も踏まえ多方面から検討し、地域の特性を生かした提案をします。

- (1) 地区内の公園に関するニーズ調査の検討
- (2) 実効性のある公園改善提案の検討

6 引地川自然環境向上事業

円行新橋から引地川親水公園までの引地川両岸の美化を維持しつつ、市に提出した「引地川の環境改善に関する提言」のフォローをします。

- (1) 引地川両岸の清掃活動と不法投棄防止活動
- (2) 引地川、一色川両岸の美化活動をするボランティア団体「引地川・一色川さわやかクラブ」の支援
- (3) 引地川の環境改善提言のフォロー

7 バリアフリー化支援活動事業

市のバリアフリー化計画(六会日大前駅周辺道路)にあわせ、高齢者、障がい者も安心して通行できる道路環境を、市との連携により具現化します。

- (1) 六会349号線（駅前東口ロータリーから六会2号踏切付近まで）工事完了後の検証

8 踏み切り安全対策事業

六会日大前駅南側踏切の問題は、地区の長年の課題です。六会349号線（駅前東口ロータリーから六会2号踏切付近まで）のバリアフリー化工事にあわせて張出歩道を廃止しました。それに伴う駅南側踏切付近の歩車道の安全性について検証を行います。

- (1) 駅南側踏切付近の歩車道の安全性について調査

9 文庫&居場所づくり事業

子どもや子育て世代が本に親しめ、また誰もが集える場所づくりを推進します。

10 地域の縁側事業等「地域ふれあい事業」の設立支援事業（平成25年度～平成30年度実施）

地域の縁側事業に限らず、広く地域の高齢者等のふれあい（心の交流）に係る事業の設立支援を行いました。

- (1) 公民館登録サークル「六会雀友会（健康麻雀サークル）」の設立

11 「多世代学び場」づくり支援事業（平成25年度～平成30年度実施）

公や民間の施設（場所）を活用して、高齢者に限らず、またテーマも福祉に限定せずに幅広く日常生活に役立つ事を気楽に学べる「場」の設立を支援しました。

- (1) 日本大学生物資源科学部の環境教育ボランティアサークル「キララ」を講師とした小学生向けの講座の開催（公民館共催事業）

12 六会まちの相談室事業（平成27年度～平成30年度実施）

幅広い層を対象に将来を安心して暮らすためのライフプランセミナー事業を行いました。また、資格を持った相談員が家計管理や相続等の相談を受けました。

- (1) セミナー事業の推進，講師の拡充
- (2) 相談受付事業の推進，相談員の拡充

長期的に取り組む地域課題等

六会のまち全体としての魅力（誘因力）を創る「六会まちづくりプランの検討」を将来的な課題としています。

また，藤沢型地域包括ケアシステムの理解を深め，取組を推進していきます。

片瀬地区地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

歴史の薫りと潮の香りがただよう ふれあいのまち 片瀬・江の島

まちづくり事業

1 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業

地域の活動と人をつなぎ、人材の流通と地域活動の活性化を推進するため、地域活動情報、人や団体の情報などを蓄える人材・情報バンクセンターを設置するとともに専属のコーディネーターを配置し、人と団体と情報とを結びつける業務などを実施します。

- (1) 地域の情報収集（関係づくり）、登録者・情報の蓄積
- (2) コーディネーターによる相談対応、コーディネート
- (3) 地域情報の発信（広報紙発行、ポータルサイト掲載）
- (4) 活動参加へのきっかけづくり（講演会等イベント開催）

2 まちかど相談事業

誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するため、子育て・思春期・老後・介護などに関する相談を行政窓口より身近な地域の居場所を活用し、地域ボランティア・地域包括支援センターなどが連携し実施します。

- (1) 行政窓口より身近な相談場所の設置
- (2) 臨床心理士等専門家の連携による相談の実施

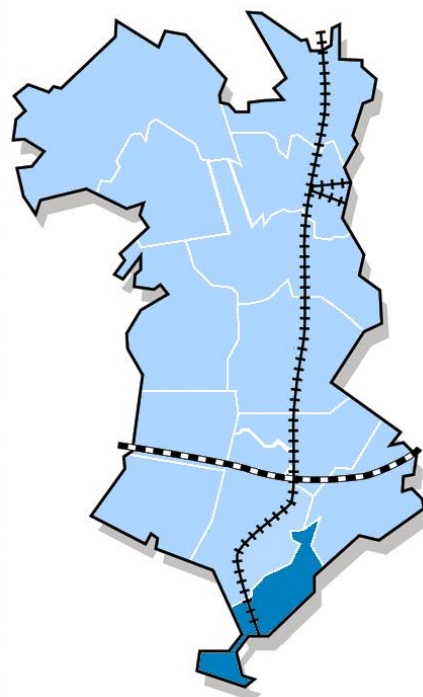
3 民俗文化財等継承事業

片瀬地区で300年前から唄いつがれ市無形民俗文化財として指定されている片瀬餅つき唄や伝統的な片瀬こまなど、地域にゆかりのある民俗文化財等継承活動の支援を実施します。

- (1) 片瀬餅つき唄保存会及び片瀬こま保存会の活動発表や展示事業等の開催
- (2) その他片瀬ゆかりの文化の継承・発展を図るための事業の実施

4 緑と花いっぱい推進活動事業

全国有数の観光地であり、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセ



ーリング会場にもなる片瀬・江の島地域としてふさわしい景観の確保並びに環境の浄化を図るため、江の島弁天橋植栽帯花植え等のボランティア活動を支援します。

5 江の島道の整備事業

旧江の島道を歴史探訪の道としての整備を実施するとともに、歴史継承のための周知及び有効活用についての検討を実施します。

- (1) 杉山検校の道標をはじめとする旧江の島道の道標・史跡の整備
- (2) 江の島道の周知と有効活用

6 小学生ふれあい事業

子どもたちを見守り、育む地域づくりの推進を図るため、地域の小学生を対象に、宿題・勉強支援と見守り活動を実施します。

- (1) 指導者等事業運営体制の整備
- (2) 小学生を対象とした勉強会等事業の実施

7 ボランティアセンター事業

人と人とのつながりを広げ、支えあう地域の実現を図ることを目的に、地域福祉活動の拠点として、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れる居場所「片瀬地区ボランティアセンター（愛称 ひだまり片瀬）」の充実に向けた取組を実施します。

- (1) 居場所・ひだまり、かたせ・にこにこ広場の開設
- (2) 機関紙の発行

8 公民館活用事業

公民館事業の活性化及び公民館の有効活用の推進を図るため、地域の皆さんの意見や要望を公民館評議員会と協力して公民館運営に反映させ、さらに公民館と地域活動の連携を促進させ、課題の把握と解決の検討を実施します。

- (1) 公民館事業と各地域団体事業の計画を効率的で効果的にするための調整
- (2) 各種イベントの実施が一目でわかるような情報集約とその表示の検討
- (3) 公民館施設のメンテナンス必要箇所の抽出とその改修の提言

9 地域広報事業

多くの人々が交流し、地域の魅力にあふれるまちの実現を図るため、広報紙及び片瀬地区ポータルサイトによる地域活動等情報の発信・広報を実施します。

- (1) 広報紙「片瀬・江の島まちづくり通信」の発行
- (2) 片瀬地区ポータルサイトの充実
- (3) 地域情報の整理と共有の推進

10 青少年居場所事業（平成23年度～平成30年度実施）

子どもたちを見守り、育む地域づくりの推進を図るため、片瀬しおさいセンターでの青少年の居場所づくり・対話・見守りを実施しました。

- (1) 公民館を利用した青少年の居場所の確保
- (2) 青少年を見守るボランティアの配置

11 まちかどミニベンチ設置事業（平成29年度実施）

ふれあいのあるやさしいまちづくりを目指し、ニーズを把握してまちかどの小さなスペースを活用したミニベンチの設置を進めました。

- (1) ミニベンチ設置場所の調査・検討・土地所有者等調整
- (2) ミニベンチの設置

長期的に取り組む地域課題等

片瀬・江の島地域には、少子超高齢化が進んでいることでの課題、歴史ある旧道や昔からの狭い道路が現在も生活道路や通学路として使われていることでの課題、また、全国有数の観光地として多くの観光客が訪れる地であるとともに、住民の生活地として両立するための安全・安心や環境面での問題点など、地域の特色ゆえに浮彫になってくる日常生活での課題が数多くあります。これらのうち、ひとつの地域団体による活動では対応が困難な地域課題について、片瀬地区郷土づくり推進会議（片瀬・江の島まちづくり協議会）が検討し、まちづくり事業として事業化したものも多くあります。

一方では、市、県、関係機関や団体等の動向を見据えていく必要がある地域課題、並びに、片瀬山市民の家再整備を踏まえた公的資産の有効活用、地域の居場所のあり方、廃屋への対応、より身近な高齢者相談窓口、生活支援ボランティアの推進、ひとり暮らし高齢者・障がい児者の見守りや移動手手段の課題、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のセーリング会場となる地元地域として、地域の魅力や特色を来訪者や転入者も含めた次世代へ継承するなど、長期的に取り組んでいく必要のある地域課題があることも、片瀬地区郷土づくり推進会議として認識をしています。

なお、今後も地区集会等の機会を捉えて、引き続き地域課題を集約していき、片瀬地区郷土づくり推進会議が中心となって、地域としての取組を検討していきたいと考えております。

明治地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

明るく楽しい未来を創るまち、めいじ

まちづくり事業

1 歴史・文化継承事業

明治地区には、「耕余塾」、「旧三觜八郎右衛門家住宅」などの歴史・文化資産が数多くあります。それらを活用して明治地区の歴史文化を広く周知し、次世代へ伝えていくための活動を推進します。

- (1) 郷土史料室での史料展示
- (2) 歴史講座等の開催
- (3) 歴史・文化資産の調査及び活用

2 明治地区マナーアップ推進事業

歩行喫煙・自転車交通・ごみのポイ捨て・日常の挨拶など、明治地区全体のマナー向上を図るため、明治地区マナーアップ週間等を設定し、地域団体・学校等が一体となった取組・活動を実施し、住みよい生活環境づくりを推進します。

- (1) 駅周辺での街頭キャンペーンの実施
- (2) 市民センター・学校等におけるキャンペーン期間中の「のぼり旗」の掲示
- (3) 地域内回覧によるマナー向上の呼びかけ
- (4) 市民センター・学校等にポスターの掲示

3 子育て支援充実事業

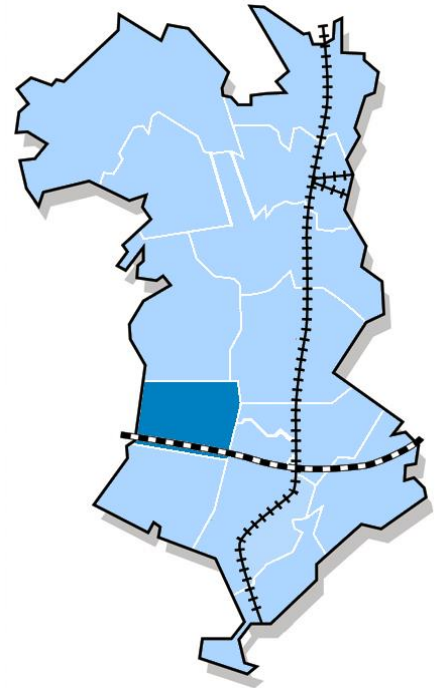
新たなマンションの建設等に伴い、増加している子育て世代に必要な情報の提供を行うとともに、地域の子育て環境の充実を図るため、子育てグループや子育て支援団体が連携した事業を行います。

- (1) 明治発！子育て応援メッセの開催及び子育て支援事業の充実
- (2) 地区内子育て支援グループの交流促進

4 明治地区健康体操推進事業

明治地区内住民の健康維持と住民同士の交流を促進し、健康でいきいきと生活できる環境づくりを目指し、健康体操の普及を図ります。

- (1) 自治会・町内会及び老人会等と連携した参加者の促進
- (2) 地区内で実施されている健康体操の案内
- (3) 健康体操を広めるため「健康体操サポーター講習会」の実施



(4) 健康体操を実施している団体や健康体操サポーターに必要な支援の実施

5 避難行動要支援者支援体制推進事業

自主防災組織（自治会・町内会）を中心に、災害時に自主的避難が難しく支援を必要とされる方に対し、災害時の迅速な支援体制を構築するため、自治会・町内会等との協力体制を強化するとともに、地区民生委員との連携等を図ります。

- (1) 避難行動要支援者支援体制の構築
- (2) 自治会・町内会、自主防災会と民生委員等との連携

6 小・中学生地域活動参加促進事業

地域の自然、景観、歴史、文化を継承し、地域アイデンティティを受け継ぐ、地域における将来の担い手を育成するため、小・中学生の地域活動への参加を促進します。

- (1) 地域団体等の活動、事業への参加の呼びかけ
- (2) 学校との連携

7 大学生と小・中学生の交流促進事業

地域の未来を担う人材を育成するため、小・中学生を対象に、大学生ボランティア等と地域団体の協働による講座、事業等を開催するなど、世代を超えた交流と学習機会を創出します。

8 道路バリアフリー化促進事業

だれもが安全に道路を利用できるよう、地区内の主要な道路のバリアフリー化について検討し、必要に応じて担当部署に要望していきます。

9 子どもの安全を守る「不審者情報共有化」事業

子どもの安全を守るため、不審者情報をパトロール団体等が共有し、効果的に巡回を行う等対応する仕組みを構築します。

- (1) 不審者情報を共有するネットワークの構築並びに効果的な巡回の調整
- (2) 子どもへの声かけ等、抑止効果を高める活動の実施

長期的に取り組む地域課題等

大型商業施設の進出や圏央道の開通による通過交通の増加等により、地区内で、土日、祝祭日を中心に慢性的な交通渋滞が発生している現状があります。

御所見地区地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見

まちづくり事業

1 田園パーク構想推進事業

「少年の森」と、隣接する「健康の森」を結ぶことにより北部観光の振興拠点とすることの検討を進めるとともに、富士山・大山を望む観光ルートや荒廃農地利用について庁内関係課との協議を進めます。また、地区の農畜産物の付加価値を高め、「御所見ブランド」の創出を目指します。

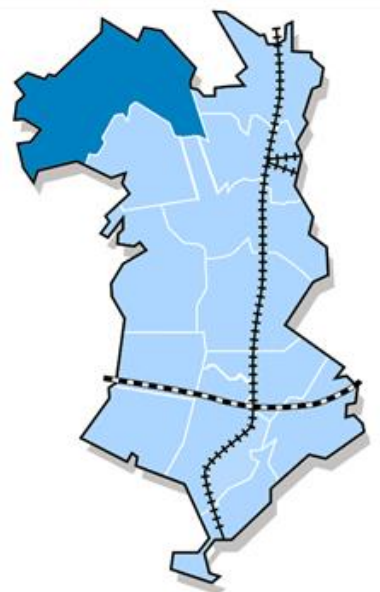
さらに、花桃の里、れんげの里、彼岸花、ざる菊などの地域を彩る花々を中心に、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備や高齢者が活躍できる場の提供を、地域団体やボランティアと協働して進めます。

- (1) 「少年の森」と「健康の森」を結ぶルートの整備や、拠点としての「少年の森」及び周辺整備の検討
- (2) 地区内の農畜産物を使用した「食」の提供促進と「御所見ブランド」の創出、加工施設の検討
- (3) 地域団体、ボランティアと連携し地区内の花の植栽を進めるとともに、高齢者の活躍の場を創出

2 情報発信推進事業

地域の歴史、身近な話題など地域に密着した情報を提供するとともに、地域の魅力を外部に発信していきます。

- (1) ホームページによるリアルタイムな情報提供と発信
- (2) 広報誌等による地域情報の提供



長期的に取り組む地域課題等

「少年の森」を地域の拠点施設として位置づけていますが、青少年健全育成施設であることから、その活用においては管理主体との調整が必要となります。

従来の青少年健全育成施設の機能に加えて、外部からの誘客施設、中高年者も自然に触れ、憩える施設とすることを目指し、具体化に向け関係課と協議を進めます。また、「御所見ブランド」としての地元食材を使用した料理の提供や、高齢者の智慧を活用した伝統的工芸品の復活・販売により自主運営できる施設の建設なども視野に入れた周辺整備についても、更に研究を進める必要があります。

遠藤まちづくり推進事業

まちづくりのテーマ

新たな時代を拓く「健康と文化の森」を創造し “人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤を目指します

まちづくり事業

1 高齢者見守りネットワーク体制推進事業

地域団体やボランティア団体と行政とが連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、健康づくりや交流事業を通じた見守り活動の推進と居場所づくり、地域人材の育成に向け高齢者見守りネットワーク体制を構築し、支えあう地域社会づくりを推進します。

2 自然環境推進事業

地域の資産である健康の森や小出川などの良好な自然を保全し、郷土愛あふれる地域づくりを推進するため関係団体や学校、慶應義塾大学、行政等と連携し、清掃活動や自然体験学習等を通して、意識啓発と保全活動に取り組む人材の育成を図ります。

3 遠藤魅力アップ推進事業

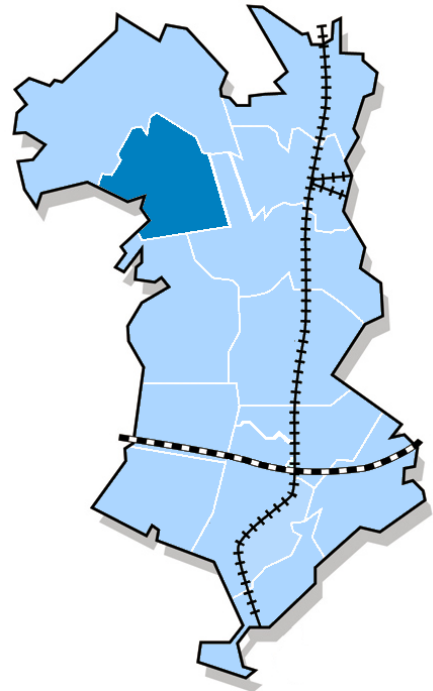
健康の森や小出川に残る良好な自然や史跡、果樹園等を巡る散策路（フットパスネットワーク）の整備を推進し、自然や農業、お祭りなどの地域資源を結び、関係団体や関係機関と連携して地域の魅力を高める取り組みを進め、観光や農業の振興を図ります。

4 地域活動の広報充実事業

「遠藤まちづくりニュース」等の広報紙について地域活動の紹介やイベント情報を充実し、豊富な内容にするとともに、遠藤地区ポータルサイトを活用した地域イベント情報の積極的な発信や、慶應義塾大学との情報連携を推進するなど、各種媒体を用いた効果的な地域情報の提供と地域のPRに取り組めます。

5 避難行動要支援者支援体制整備事業

「避難行動要支援者」をはじめ避難支援を要する全ての人が、災害時に近隣住民が声をかけあい、支えあい、手を差し伸べることで安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、関係団体と連携し避難行動要支援者支援体制の構築に向け、自治会への支援を推進します。



6 道路環境整備事業

歩行者及び車両が安全に通行できる，安全安心な道路環境を推進するため，地域と行政が一体となって地区内の狭あい道路など交通危険箇所の改良整備を進めます。

また，地区内の交通不便地域の解消に向け，調査研究を進めます。

7 魅力と活力あふれるまちづくり推進事業

「藤沢市都市マスタープラン」や「健康と文化の森地区まちづくり基本計画」に基づき，今後予定される新たなまちづくりの方向性について，地域団体や関係機関，慶應義塾大学や行政等と連携し，地区の将来的発展を見据えた土地利用や交通，景観等について検討し，都市拠点機能や観光拠点機能を高め，魅力と活力あふれるまちづくりの実現に向けた取組を進めます。

8 伝統文化継承事業

遠藤地区には，本市の無形文化財に指定された「遠藤ささら盆おどり」や「焼き米搗き唄・臼引き唄」があり，地域に伝わる貴重な文化資源となっています。これらの民俗芸能を次世代に引き継ぎ，歴史や文化を語り継ぐことで郷土に対する愛着を深めていくことが大切です。そのため，子ども達の体験や学習の場，民俗芸能保存団体の活躍の場を広げ，広報活動に積極的に取り組むことで，担い手の育成と伝統文化の継承に向けた支援を図ります。

長期的に取り組む地域課題等

相鉄いずみ野線延伸に伴う新駅周辺のまちづくりについては，都市拠点として都市機能の充実を図り，地域活力を高める重要な事業であり，地域が行政と連携協力し長期的に取り組む課題となっています。

また，集中豪雨による浸水被害が度々発生しており，地域住民が安全安心に生活できる環境の整備に向け，浸水対策は長期的に取り組む課題となっています。

超高齢化社会が進行するなかで，誰もが住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができるよう，地域資源のつながりと連携を深め，住民一人一人が互いに支えあう地域社会の実現が，長期的に取り組む課題となっています。

長後地域活性化事業

まちづくりのテーマ

さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環

地域活性化事業

1 健康づくり普及事業

地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施します。

(1) 健康づくりに関する講座の実施

2 長後すくすく応援事業

子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が一堂に会する長後版の子育てメッセを開催し、子育て世代の親子の仲間づくりと子育てに役立つ情報の提供、意見交換など地域で子育てを支援していく体制を推進します。

(1) 「長後子育てメッセ」の実施

3 地産地消推進事業

地元農家や飲食店等と協力し、地場産の野菜や果実を用いた食品を販売する地産地消イベントを行うことで、商店街の活性化及び地産地消の推進に取り組みます。

(1) 地産地消イベント「長後を食べよう！」の実施

4 地域人材発掘・育成事業

地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成といった課題を解消するため、地域活動・ボランティア活動に係る情報交換の場をつくり、調査研究を行います。

(1) 人材発掘・育成に関するイベントの実施

5 ちよご見守りネットワーク事業

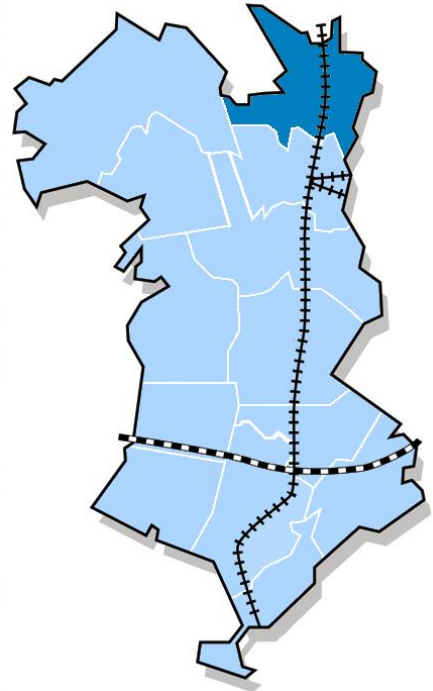
住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちよご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図ります。

(1) いきいきサポートセンター（地域包括支援センター）と連携した、見守り・声かけなどの推進

6 観光・歴史資源開拓事業

地区内の名所、旧跡の説明板の整備や観光資源の開拓等を行います。

(1) 名所・旧跡説明板の設置, ふるさと観光マップ「長後めぐり」の作成



7 交通手段支援事業

地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行います。

- (1) 住民ニーズの調査

8 花いっぱい運動推進事業

花フェスタの開催、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等を行い、花があふれる地域づくり活動を行います。

- (1) 花の広場の管理、プランターへの植栽等

9 長後子ども安全ネットワーク事業

児童生徒が登下校時に安心して通学できるよう、スクールガードリーダーを中心とした子どもを守るネットワークの強化と情報交換等を行い、防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図ります。

- (1) 安全安心ネットワーク会議の開催
- (2) 安全パトロールの実施

10 安全・安心ステーション運営事業

防犯情報の共有や情報交換、防犯パトロールなど地域防犯活動の拠点施設である「安全・安心ステーション」の運営に対して支援を行います。

- (1) 今後の事業展開を含めた有効活用策の検討等

長期的に取り組む地域課題等

都市計画道路の早期整備により長後駅周辺の通過交通を排除し、慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、狭あいな生活道路の解消や駅周辺から離れた地区の交通手段の確保等都市基盤整備の不足を解消する取組が課題となっています。

また、長後駅入口交差点から長後市民センターに至る市道長後725号線の歩道整備により、地域の住民が安全に通行できる環境整備を進めることが急務となっています。

都市基盤整備以外の課題としては、地域コミュニティの高齢化・希薄化が進む中、次世代を担う人材の発掘や育成による地域活動の活性化への取り組みが必要となっています。

辻堂地区地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち ” 湘南辻堂 ”

まちづくり事業 (平成30年度委員改選に伴い事業再編)

1 辻堂交流事業

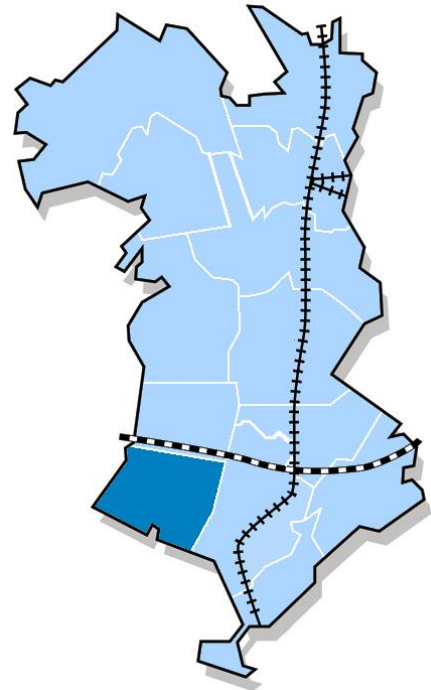
地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施します。

- (1) みんなで美化キャンペーン
(辻堂駅南海岸線周辺の除草、花苗植栽等)
- (2) 辻堂朝市
(地産地消の取組)
- (3) 伝統文化継承講座
(地区に伝わる伝統文化についての情報発信等)

2 暮らし安心・安全事業

地域住民の不安解消、健康増進、並びに新たなまちの魅力を創出するための活動支援等を実施します。

- (1) 防災啓発事業
(災害に対する正しい知識情報の発信を目的とした防災対策講演会の実施)
- (2) 辻堂グリーン回廊ウォーキング
(地域の名所旧跡や自然環境を周遊するグリーン回廊の周知)
- (3) 福祉・健康推進講座
(地域で健康な生活を続けていくことをめざした講座の実施)
- (4) マナーアップ活動
(地域住民や来訪者、観光客のマナーの向上を図るキャンペーン等の実施)
- (5) 子どもの見守り
(地域で子どもを見守る環境づくりや見守りボランティアの育成)
- (6) まちづくり講座
(地域の安心・安全を推進するための講座開催)



長期的に取り組む地域課題等

海岸線に面している辻堂地区は、東日本大震災を契機として、津波避難対策や防災対策などへの関心が高まっています。

また、辻堂駅北口に大型店舗が進出したことにより、南北の交通渋滞が進んでいるため、この解消を図る南北線の早期開通が望まれています。

道路や公園といった地域資源に対する意見や要望等については、まちづくり講座や勉強会などを通して理解を深めるとともに、要望書や提言書としてまとめていきたいと考えます。

善行地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち

まちづくり事業（平成30年度委員改選に伴い事業再編）

1 広報・地域活動ネットワーク構築事業

郷土づくり推進会議の活動を地区内に周知するとともに、地域で活躍する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援し、周知・啓発を図ります。

- (1) 地域団体の様々な活動を発信する広報紙の発行等
- (2) 地域で行う様々な事業に対する支援

2 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業

坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる人に対する移動手段の運営を支援します。

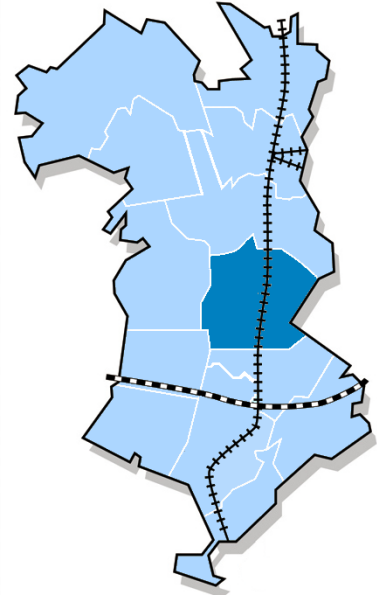
- (1) 特定非営利活動法人のりあい善行の運行に係る情報発信の支援
- (2) 善行西部地区における交通不便解消・高齢者等の移動支援（既存バス路線の改良）についての検討

3 地域共生社会の構築事業

藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支え合いの地域づくりに向けて、地域における様々な福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行います。また、こうした活動を通じて、良い取組を地区内に広げていくことを推進します。

4 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業

平成29年度までの「活気ある地域づくり事業」を発展的に整理・統合し、市民センターの改築、善行駅周辺のバリアフリー化、県立体育センターの再整備等のハード整備や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、善行地区の活性化を図るための取組を支援・推進します。



長期的に取り組む地域課題等

藤沢型地域包括ケアシステムの推進に伴い、地域で安全に安心して暮らせるよう、セーフティネットの構築に向けた取組を具体的に進めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を機に、地域活性化に向けた取組を着実に進めていくことが求められています。また、地域のまちづくりの拠点となる善行市民センター・公民館については、平成31年度中の市民センター棟供用開始に向けて改築が進んでいます。

湘南大庭地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

まちづくり事業

1 健康なんでも相談事業

生き生きと安心して暮らし続けるためには、地域住民自ら健康づくりに取り組んでいくことが大切です。健康づくりに関する講演会や相談会を開催し、健康への意識の高揚を図り、生き生き健康のまちづくりを推進します。

- (1) 地区住民の生活習慣，食事，運動などの改善を図るため，健康寿命を延ばすイベントや講演会の開催及び協力といった取組
- (2) 地区住民にとって身近な施設を利用した，健康に関する専門機関との連携による「健康相談事業」の実施

2 地域のゴミゼロ運動推進事業

地域の環境美化に取り組んでいるポイ捨て無くし隊は，地区内4小学校と石川小学校の子ども達を中心に多くのボランティアによって，道路・公園のポイ捨てゴミを無くす清掃活動を行っています。この活動への参加者の拡充を図り，地域が一体となった活動を推進します。

- (1) 年間5回実施するポイ捨て無くし隊活動を支援

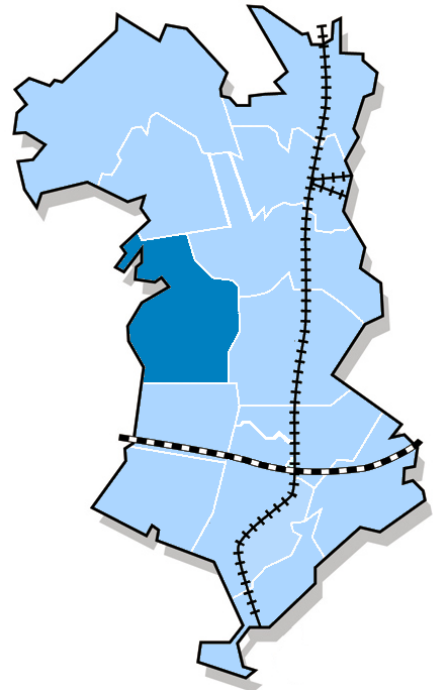
3 健康体操普及推進事業

地区住民の高齢化に伴い，高齢者の自立した生活を支えるため，ラジオ体操を中心とした「健康体操普及推進事業」を進め，地区内の公園での朝の体操風景が日常化することで，参加者同士が顔見知りになり，人と人とのつながりによる健康づくりのまちを目指します。

4 歩行空間バリアフリー事業

高齢者，障がい者の方々が外出しやすく，円滑に移動することが出来るように，交差点の歩道と車道の擦り付け約150箇所を計画的にバリアフリータイプの構造物に更新し，利便性，安全性の向上を図ることにより，誰もが安心して暮らせるまちの実現を目指します。

- (1) 歩道段差解消修繕の実施



5 街路樹景観保全事業

辻堂駅遠藤線のケヤキ並木は、まちと自然が調和している街路樹として地域住民から大変親しみを持たれています。この地域資源としても重要なケヤキ約300本の定期的な剪定を実施し、辻堂駅遠藤線の景観を長く保全し維持していきます。

(1) ケヤキ剪定作業の実施

6 健康増進公園改修事業

高齢者のみならず幅広い年齢層の市民が、日頃から身近なところで健康づくりを行えるように、地区内の公園に健康増進遊具を設置して健康増進公園として整備することにより、生き生き健康のまちづくりを推進します。

(1) 健康増進遊具設置工事の実施

7 まちづくり課題解決事業

「住みたい 住み続けたいまち、湘南大庭」のまちづくりを目指して、10年後のまちのイメージを描きつつ、「高齢者支援」、「子ども・子育て育成支援」、「コミュニティ活動の活性化」の3つのテーマを中心とする課題を解決する方策を検討し事業化に取り組みます。

また、既存の都市基盤のポテンシャルを活かしながら再生・再編を進めていくため地域の多様な主体（住民、行政、大学、事業所など）が連携し、地域の課題解決に向けての取り組みを推進します。

長期的に取り組む地域課題等

自治会の役員のみならず手が届かない、世代交代ができない、事業の継続が困難になっているなどコミュニティ活動の活性化が課題となっています。急速に進む高齢化を踏まえて、地域のなかで支援されるとともに支援する側にもなる高齢者が主役となって、子ども・子育て育成支援や高齢者の見守りなどを含めたコミュニティ活動に取り組んでいけるように、先進事例の調査・研究を行いながら具体的方向性と地区の社会資源を生かした事業化を検討していきます。

湘南台地域まちづくり事業

まちづくりのテーマ

川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台

まちづくり事業

1 ようこそ先輩 in 湘南台事業

地区内の中学生の職業意識を育てることを目的に、主に湘南台中学校を卒業し様々な分野で活躍する先輩を講師として中学生との交流会を開催し、中学生が自分の将来を考える機会をつくります。また、あわせて地域・学校・PTAが連携し、地域で子どもを育てる郷土づくりを推進します。

(1) 「ようこそ先輩 in 湘南台」の開催

2 緑の回遊路事業

地区内には湘南台公園や円行公園など多くの公園があり、境川や引地川が流れ、身近に自然とふれあうことができます。さらに、今田遊水地や下土棚遊水地の上部利用計画が進められており、地区内に点在する神社仏閣や文化施設を含めた地域資産を有効に活用した緑の回遊路事業を推進し、豊かな自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる湘南台の新たな魅力づくりとその発信を進めます。

(1) 「レインボータウンわくわくマップ」の更新

(2) 緑の回遊路を発信するウォークイベントの開催

(3) 「花のまち湘南台」に向けた緑の回遊路の充実

3 子育てネットワーク事業

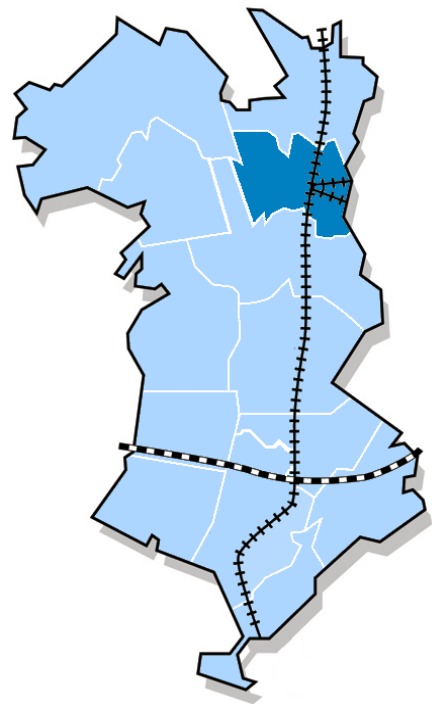
地区内に住む多くの子育て世代のために、保育園や幼稚園、子育て支援センター等の子育て関係機関や子育てサークル、地域団体等と連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行います。

(1) 「湘南台子育て応援メッセ」の開催

4 地域サポーター育成事業

地区内では様々な地域活動が行われ、地域のまちづくりに寄与していますが、担い手不足や高齢化が課題となっているため、地域貢献や社会貢献に関心を持つ方を対象に地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」を開催し、地域を担う人材の育成を行うとともに、地域活動への参加を促進することにより、地域の活性化を進めます。

(1) 地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」の開催



- (2) 地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」修了者の地域活動参加の促進

5 文化創造事業

地区の地域性や特性を生かし、人が集い活気にあふれる新たな魅力づくりを推進します。その中心的な取組として、多目的イベントを開催するなど、湘南台駅地下イベント広場を有効活用することにより、まちの活力創出を進めます。

- (1) 駅地下イベント広場での多目的イベントの開催
- (2) 駅地下イベント広場での展示ギャラリー機能の充実
- (3) 湘南台地区のマスコットキャラクター「ゆめまる・ゆめみん」の着ぐるみの活用

長期的に取り組む地域課題等

湘南台地区は、交通や居住環境での利便性や満足度が高い反面、交通渋滞や放置自転車の増加など生活環境の悪化が懸念されています。また、市北部の都市拠点として、商店街を中心とした活力の創出が求められています。満足度の高いまちづくりを推進し、将来にわたり子や孫が愛着と誇りをもてる郷土とするために、地域特性を生かした文化の創造や地域人材の育成と活用、地域コミュニティの充実などが湘南台地区の課題です。

鵜沼地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鵜沼

まちづくり事業

1 鵜沼元気塾・鵜沼元気ひろば事業

2013年（平成25年）4月から鵜沼市民センターにおいて小学生の放課後の居場所として鵜沼元気塾を開始。2016年（平成28年）4月からは地区北部への拡大を図り、鵜沼元気ひろばを開始。地域の協力スタッフとの学習や交流を通じて、子どもたちの豊かな人間性を育みます。

- (1) 学校の宿題等の学習
- (2) 地域スタッフの企画による工作や遊び、音楽等
- (3) 夏季野外活動などの体験学習

2 鵜まつり事業

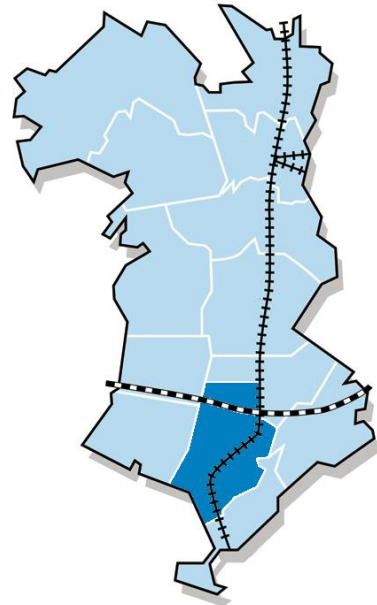
2009年（平成21年）から鵜沼のまちおこしとして鵜沼運動公園芝生広場で開催。地元の魚、野菜、雑貨、鵜沼魚醤を使った創作料理や、鵜沼公民館を中心に活動するサークルのステージ出演、フリーマーケット等、参加者全員で盛り上げ、地域のおまつりとして定着しています。

3 認知症対策事業

地域において認知症への理解を深めるために講座や講演会を開催するなど、認知症の当事者やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。

4 公園見直し事業

早期に整備され、設備が老朽化した公園をより利用しやすくするため、計画的に出入口の段差の解消、水飲み場の改修等のバリアフリー化を行います。



長期的に取り組む地域課題等

鵜沼地区では、これまでのまちづくり事業や、喫緊の課題である津波避難対策等に継続して取り組むとともに、計画道路の問題や地域を支える地域団体、ボランティア等の担い手づくり（人材の発掘や育成）などの課題解決に向け、事業に取り組んでいきます。

藤沢地区まちづくり事業

まちづくりのテーマ

歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点

まちづくり事業

1 藤沢宿活性化事業

藤沢地区には、旧東海道藤沢宿周辺を中心に、神社仏閣や史跡、蔵などの歴史的資源が数多くあります。このような歴史的資源を活用した地域イベント等を実施する活動を支援するとともに、より多くの方々が藤沢宿を訪れることによって、地区ににぎわいをもたらし、藤沢宿のさらなる活性化を図ります。

- (1) 藤沢宿まつりへの支援
- (2) 三宿連携事業への支援
- (3) トランスボックスラッピングの維持管理
- (4) 藤沢宿のPR

2 地域緑化運動事業

藤沢地区における斜面緑地などを含む都心部の緑は、地域にとって貴重な財産であり、本市の市街地中心部において良好な自然的環境や景観を形成し、市民の生活に快適さや潤いをもたらしています。

今後も緑豊かな潤いのある快適な生活環境の継続的な確保や市街地景観の形成・向上に向けて、緑の保全・緑化を推進し、身近な緑地の整備を進めます。

- (1) 地域の緑地の保全・整備

3 地域の魅力発見事業

藤沢地区は古くからの街なみが今もなお残されており、旧藤沢宿にちなんだ寺社や建物を訪ねて多くの観光客が来ています。

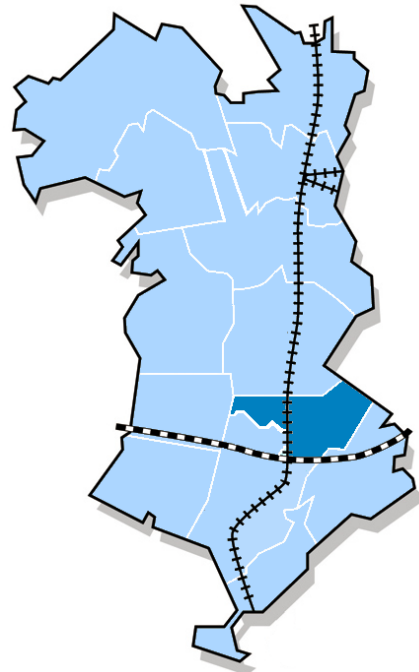
こうした歴史と文化を併せ持つ、藤沢地区の魅力をより一層アピールするため、古くから桜の名所として知られている伊勢山公園周辺の整備を行い、地域の活性化に繋げていきます。

- (1) 伊勢山公園の桜の植樹、花壇などの整備

4 交通安全対策事業

藤沢地区は、JR・小田急線藤沢駅、小田急線藤沢本町駅周辺に通勤、通学あるいは買い物を目的とした自動車・バイク・自転車が集中するとともに、地区内を国・県道等の幹線道路が通過するなど、交通事故が発生しやすい道路環境となっています。

こうしたことから、地域の交通事故の発生場所を記したマップを作成し、地域住民に



周知することにより，事故の防止を図ります。

- (1) 藤沢地区交通安全マップの更新

5 子どもの見守り活動事業

学校・家庭・地域の連携を図り，学校登下校時の子どもの見守り活動や，いきいき・のびのびとした地域交流ができる安全・安心・快適な環境づくりを進めます。

- (1) 関係団体による情報交換会の開催
- (2) 各種活動を通じた地域と学校との連携の強化

6 西富憩いの森検証事業（平成28年度～平成30年度実施）

誰もが身近に自然とふれあうことのできる憩いの場であり，地区内の貴重な緑地である西富憩いの森について，政策提言「『西富憩いの森』充実」の提言」を踏まえての再整備を行うことで，地域における多世代交流の促進を図りました。

- (1) 散策路の整備
- (2) 活用方法の検討

長期的に取り組む地域課題等

今後取り組む予定の地域課題としては，小田急線藤沢本町駅周辺の利便性の向上を図るため，藤沢本町駅周辺検証事業についてさらなる取組を検討します。

また，高齢者や障がい者が暮らしやすいまちとなるよう，地域生活改善事業についてさらなる取組を検討します。

なお，今後検討が予定される市への提言事項としては，緑地など，地域環境の向上を図ることを目的に，(仮称)大清水浄化センター周辺環境整備検証事業，公共施設のあり方検証事業などがあります。

村岡いきいきまちづくり事業

まちづくりのテーマ

ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか

まちづくり事業

1 マナーアップ啓発事業

マナーやモラルについて責任ある行動を取ることにより、迷惑行為のない生活環境の実現を目指し、ごみやたばこのポイ捨て禁止、自転車の安全な乗り方など地域生活を営む上でのマナーやモラルの向上に向けた事業を実施します。

- (1) 「ごみやたばこのポイ捨て・ペットのフンの放置・落書き」禁止看板の配布
- (2) 「自転車交通安全教室」等の実施

2 村岡あいさつ運動事業

学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちの健全やかな成長と安全・安心な環境づくりのため、これまでの地域住民による登下校時の児童や隣人に対する声掛け運動をさらに充実させるとともに、こうした声掛け・あいさつ運動を地域の中に広げ、根付かせていきます。

- (1) 地区内小中学校の登下校時にあわせ、児童・生徒に対しあいさつ運動キャンペーンを実施
- (2) ポスター・標語コンクールの実施

3 地域防災力強化事業

地域防災力を強化するため、啓発看板等による地域の防災情報の見える化や、災害ボランティアコーディネーターの育成を通じた受援力向上に取り組みます。

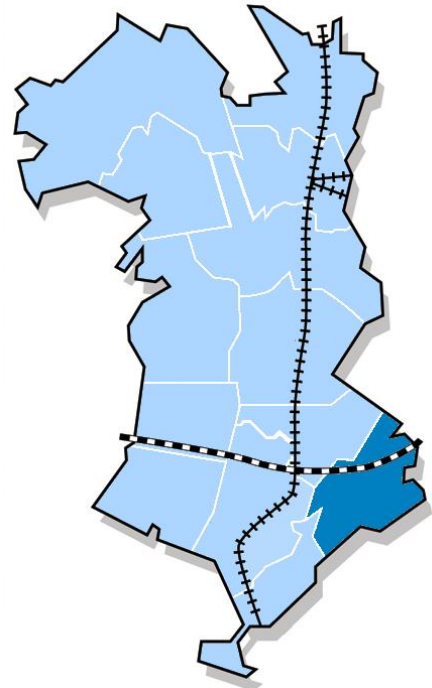
また、災害時における生活用水確保のための啓発事業を実施します。

- (1) 地域の防災情報の見える化
- (2) 災害ボランティアコーディネーターの育成
- (3) 災害時における生活用水確保のため、雨水貯留槽設置の推進

4 村岡美化活動事業

美化運動を推進するとともに緑豊かな環境づくりを進め、美しく住みよい地域社会を築き、生活環境に対する意識の高揚を図ります。

- (1) 地区年末一日清掃の実施
- (2) 緑豊かな環境づくりの推進を目的とした講演会等の実施



5 史跡案内板設置事業

地域の歴史的財産、自然的資源の素晴らしさを広く地域住民に周知を図るため、名所・史跡の所在を表す史跡案内板を設置及び歴史や魅力を知るためのパンフレットの配布を行い、郷土愛あふれた「輝ら里 むらおか」の実現を目指します。

- (1) 史跡案内板の設置
- (2) パンフレット「歴史ガイドマップ」の配布

6 高齢者等見守り事業

高齢者等が安心して暮らすことができる地域づくりのため、地域独自の事業の構築を目指します。

- (1) 地区内の住民にとって便利な情報を紹介する広報誌「村岡地区便利帳」の配布

7 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業

「地域の安全は地域で守る」を合い言葉に安全・安心なまちづくりを進めるため、防犯活動を推進します。

- (1) わんわんパトロールの推進（愛犬の散歩時に携行する防犯啓発物品の配布等）

8 歩道等通行環境整備事業

住む人、働く人、訪れる人、誰もが安心して快適に過ごせ、これからも住み続けたいと思えるようなまちづくりのため、特に子ども、高齢者、障がいのある方などの安全な通行に配慮した道路環境の整備を進めます。

- (1) 主要幹線歩道のバリアフリー化の実施（段差解消等の整備）

9 公園環境整備防犯対策事業

防犯の観点から、一時避難場所に指定されている夜間暗い公園に照明灯を整備します。

- (1) 災害時にも有効で環境にもやさしいソーラーシステム蓄電池LED照明灯の整備

10 健康づくり推進事業

子どもから高齢者、障がいのある方まで、地域の誰もが心豊かで健康に過ごすため、地域での健康づくり事業を推進します。

- (1) 各自治会・町内会で公園体操の推進

11 自治会加入促進事業

自治会・町内会の様々な活動は、防犯・防災などに大きな力を発揮することから、自治会・町内会への加入促進を図り、地域の連帯と助け合いの精神を醸成します。

- (1) 自治会・町内会未加入世帯に対し、加入促進リーフレットの配布

長期的に取り組む地域課題等

平成22年3月に、村岡新駅を中心としたまちづくりの実現に向けて取り組むための指針として策定した「村岡地区まちづくり計画」の実施に向けた取組及び県道横浜藤沢線の川名以南の延伸を将来的な長期課題としています。

また、村岡公民館については、老朽化が著しく、手狭な状況であるとともに、バリアフリー対策が十分ではないことなどから、平成29年度から再整備事業に取り組んでいます。なお、平成30年度は「村岡公民館等再整備基本構想」を策定しました。

藤沢市市政運営の総合指針2020
—郷土愛あふれる藤沢をめざして—
事業集

(平成31年度版)

企画政策部 企画政策課

〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1

電話 0466(25)1111 (代表) 内線 2175

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp>